

設置の趣旨等を記載した書類

目次

①	設置の趣旨及び必要性.....	1
②	学部・学科等の特色	5
③	学部・学科等の名称及び学位の名称.....	7
④	教育課程の編成の考え方及び特色	8
⑤	教員組織の編成の考え方及び特色	11
⑥	教育方法、履修指導方法及び卒業要件	12
⑦	施設、設備等の整備計画.....	16
⑧	入学者選抜の概要.....	20
⑨	取得可能な資格	26
⑩	管理運営	27
⑪	自己点検・評価	29
⑫	情報の公表.....	30
⑬	教育内容等の改善を図るための組織的な取組.....	34
⑭	社会的・職業的自立に関する指導等及び体制.....	36
	資料目次	39

① 設置の趣旨及び必要性

(1) 設置の背景

本学の淵源は、天正 8 年（1580）日蓮宗の教育機関として創立された、下総の檀林にさかのぼることができる。明治維新後、諸制度の改革にともない、明治 5 年（1872）に檀林を廃止して東京芝二本榎に日蓮宗小教院を設立した。これをもって本学園創設の起源としている。

立正大学は日蓮聖人が著した『立正安国論』の教えを建学の精神とし、具体的な立正精神とは、「正しきを立て、人々の安穏と社会の恒久平和の実現を願うもの」とされている。また、立正大学の教育理念・目標は「高い教養と知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、特に立正精神に基づいて識見を涵養し人格を陶冶し、人類社会の発展に貢献しうる人材を養成する」とされている。

その建学の精神、教育理念・目標を現代的な感覚でブランドビジョンとして表したものが、「モラリスト×エキスパート」であり、現在の大学全体の教育目標は「持続可能でより良い豊かな平和社会を築くための一つの重心・芯となるべき人材として、「モラリスト×エキスパート」を養成すること」と定めている。ここでいうモラリストとは大人としての基礎的な教養を身につけ、高い倫理観とともに、自らを律することができる人間である。その上で、専門分野を究めて行動を起こす人こそが、立正大学が育成すべき人材像である。

2022 年に立正大学は創立 150 周年を迎えるにあたり、新しい時代に相応しい人材育成の器としてデータサイエンス学部の創設を決定した。

データサイエンスが具現しているものは、現在進行中のデータが駆動する「産業革命」においていわゆる汎用技術（GPT: General Purpose Technology）であり、応用可能性領域は非常に広い。日本政府も第 5 期『科学技術基本計画』¹の中で、データサイエンスの知見を活かし「人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」を未来社会の姿として共有し、その実現に向けた一連の取組を更に深化させつつ「Society 5.0」として強力に推進し、世界に先駆けて超スマート社会を実現していく」（p.11）ことを謳っている。「超スマート社会」とは「必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細かくに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、生き活きと快適に暮らすことのできる社会」（p.11）であり、人々に豊かさをもたらすことが期待されている。この「超スマート社会」とは、1980 年代に経済学者アマルティア・セン（1998 年ノーベル経済学賞受賞）が提唱したケイパビリティ・アプローチで指向された社会を表しているともいえる。

「超スマート社会」の実現に向けデータを糧として社会・経済が急速に変化の中で、デ

¹ 内閣府「科学技術基本計画」<<https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/index5.html>>

ータサイエンスという新たな学問分野が生まれた。データサイエンスは

「数理・情動的なデータ処理・分析」 × 「経済・ビジネス系の価値創造」

と定義される。データサイエンティスト協会によれば、データサイエンティストに求められるスキルは、「データサイエンス力」、「データエンジニアリング力」、「ビジネス力」であるが²、前二者は上記「数理・情動的なデータ処理・分析」、「ビジネス力」は「経済・ビジネス系の価値創造」に対応する。一口にデータサイエンティストと言っても、どのようなスキルに力点を置くかによって様々なタイプがあり、活躍する場も異なる。

「超スマート社会」の実現のためには、多様なタイプのデータサイエンティストが数多く必要とされており、高等教育機関としての大学はこうした人材養成の先頭に立つべきである。

(2) 設置の必要性

データサイエンスにはデータ処理・分析に関わる数理・情動的な基礎的知識は不可欠であるが、経済・ビジネスを通して付加価値が生み出されなければ、人々に豊かさをもたらすことはできない。データサイエンス学部にも数理・情動的な側面に力点を置く学部から経済価値の創造に力点を置く学部まで多様なパターンが考えられる。

本学のデータサイエンス学部は、「経済・ビジネス系の価値創造」に力点を置くデータサイエンス学部であり、本データサイエンス学部が養成するのは、一般の企業においてデータを用いて経済価値の創造を行う人材である。

我が国では、数理・情動的なデータサイエンティスト・エンジニア、広範な価値創造を担う経済・ビジネス系データサイエンティストのいずれもが著しく不足している。IT 企業などにおいて先端的な技術開発を担うエンジニアだけではなく、とりわけ人材不足が叫ばれているのが一般の企業においてデータを用いて経済価値の創造を行う人材である。

例えば、内閣府経済社会総合研究所が実施した『組織マネジメントに関する調査（平成 30 年度）』³によれば、「意思決定をサポートするためのデータを利用するにあたり、現在、どのような課題に直面していますか」という問いに対して、調査に回答した 6,749 事業所のうち 50%を超える 3,471 事業所が、「データ利用を行う人材が不足している」ことを問題点としてあげている。この調査は、いわゆる IT 企業ではなく、サービス業の一般企業を対象と

² 「一般社団法人データサイエンティスト協会プレスリリース」（2014 年 12 月 10 日）

<<http://www.datascientist.or.jp/files/news/2014-12-10.pdf>>

³ 『組織マネジメントに関する調査（平成 30 年度）』

<http://www.esri.go.jp/jp/prj/current_research/service/manage/2018_menu_manage.html>

するものである。

このような一般企業におけるデータ人材の不足に対応すべく、立正大学のデータサイエンス学部は、「データの収集・加工・分析に関する基本的な知識・技能を身につけ、データに基づきビジネスの現場で新たな価値創造の担い手となり得るような人材」を育成する。すなわち立正大学データサイエンス学部は、以下のようなディプロマ・ポリシーの下に、有為な人材を社会に輩出する。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

データサイエンス学部データサイエンス学科の課程を修め、下記の能力・資質を身につけた者に学位を授与します。

<関心・意欲・態度>

- ・ データサイエンスをビジネスに活かすことに関心を持ち、現代社会に貢献しようとする意欲がある。
- ・ 現代社会・経済の諸問題をエビデンスに基づいて検証する実証的態度を身につけている。

<思考・判断・表現>

- ・ データサイエンスの知識と技能を用いて、様々な分野において新たな価値を生み出すことができる。
- ・ データサイエンティストとして必要なモラルを理解し身につけたうえで、主体性を発揮することができる。

<知識・理解>

- ・ データサイエンスに必要な基本的な数理的知識を身につけている。
- ・ データサイエンスを応用し新たな価値を創造するために必要な現代社会・経済に関する知識を身につけている。

<技能>

- ・ 現代社会・経済で広く求められている、データサイエンスに基づく基礎的・応用的な技能を身につけている。

入学定員は 240 名と設定した。

我が国では、IT 企業などにおいて先端的な技術開発を担うエンジニアだけではなく、一般の企業においてデータを用いて経済価値の創造を行う人材が著しく不足している。

これは、前述のとおり、IT 企業ではないサービス業の一般企業に対する内閣府調査において、「データ利用を行う人材が不足している」とする事業者が過半を占めていることから確認できる。

本データサイエンス学部は、「経済・ビジネス系の価値創造」に力点を置くデータサイエンス学部であり、一般の企業においてデータを用いて経済価値の創造を行う人材を養成する。このような人材は、先端的な技術開発を担うエンジニアとは異なり、幅広い業種の企業の中で様々な業務に携わりながらデータ分析を担うものであり、その膨大な潜在需要に応えるためにはできるだけ多くの人材を輩出することが求められている。

実際、本学が実施した企業を対象とした調査においても⁴、データサイエンス学部の卒業生を採用したいと思うと回答した企業における毎年の想定採用人数は480名を超える。

今後、18歳人口が減少していく我が国の人口動態のもとでは、進学率が多少上昇しても日本全体で大学の志願者数は減少していかざるを得ないが、それはマクロの話であり、個別の学部への需要は別物である。企業における潜在需要の大きさに加え、データサイエンスに対する社会的な関心の高さ等を踏まえると、データサイエンス学部では今後とも定員数を上回る志願者を確保できると考えられる。

本データサイエンス学部は、「経済・ビジネス系の価値創造」に力点を置くデータサイエンス学部である。私立大学の経済学部・経営学部の学生定員は平均374名（平成31年度私立大学・短期大学等入学志願動向 日本私立学校振興・共済事業団）であるが、言うまでもなくデータサイエンス学部を卒業する学生は、統計や情報の基礎力、データに関する専門的知識・技能を修得する必要がある。本学部の教員組織はデータサイエンスや経済学等を専門とする専任教員25名から構成され、専任教員の指導の下、学生が体系的に学ぶことのできる教育研究環境を設定している。こうした環境で、授業規模に配慮した演習科目などを通じた丁寧な指導の下、数理・情動的なデータサイエンティストとしての基本的なスキルを備えた質の高い人材の育成を行っていくため、入学定員は経済系学部の平均との対比で大幅に抑制し、240名とした。

なお、本学部が設置される熊谷市について付言すれば、熊谷市をはじめ、熊谷商工会議所、熊谷市観光協会、一般社団法人さいしんコラボ産学官など、熊谷市内の複数の企業・団体よりデータサイエンス人材を育成する高等教育機関の設置を求める要望書⁵（資料1）が出されており、また本学が熊谷商工会議所加盟企業を対象に実施したアンケート調査結果（資料2）でも約6割の企業が本学データサイエンス学部の卒業生を採用したいと回答している。本学部の設置は地域経済の活性化という側面からも強く望まれるものである。

(3) 組織として研究対象とする中心的な学問分野

データサイエンス学部では、データサイエンスの応用分野での研究を中心に進めていく。

⁴ 「学生の確保の見通し等を記載した書類(2)「人材需要の動向等社会の要請」参照。

⁵ 立正大学データサイエンス学部に対する設置要望書は、熊谷市内の企業団体だけでなく、複数の企業・団体より提出されており、それらを（資料1）として添付する。

すなわち、公的統計や民間統計はもとより、地域団体や民間企業との連携協力により提供・獲得された経済・ビジネス分野でのデータを用いた実践的な応用を模索する研究を促進していく。そのために、熊谷キャンパス、品川キャンパス周辺の20件以上の地域団体や民間企業から研究面・教育面の連携協力をとりつけている。なお（資料3）として、協力承諾書ならびに包括協定書の写しを添付する。

② 学部・学科等の特色

本学のデータサイエンス学部の特色は、なによりも経済価値の創造を担うデータサイエンティストとしての資質を有する人材、すなわち「データの収集・加工・分析に関する基本的な知識・技能を身につけ、データに基づきビジネスの現場で新たな価値創造の担い手となり得るような人材」を養成するところにある。先に示したディプロマ・ポリシーを満たすような人材を輩出するために、以下のようなカリキュラム・ポリシーを設定している。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

卒業認定・学位授与の方針に掲げる能力・資質を身につけるために、教養的科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ・ データサイエンス学部データサイエンス学科は、現代社会・経済で広く求められている、データサイエンスに基づく基礎的・応用的な技能を身につけるためのカリキュラムを設けます。
- ・ 自らの興味関心に基づき主体的な学修を続け現代社会・経済に貢献しようとする意欲を育てるため教養的科目と演習科目を設置します。
- ・ データサイエンスに対する興味関心を持ち、その全体像を理解するとともに基本的な数理的知識を身につけるために、数学・統計学・情報科学分野の導入的科目を必修科目として設置します。
- ・ データサイエンティストに必要なエビデンスに基づいて検証する実証的態度やモラルを身につけるため専門基礎科目群を設置します。
- ・ 現代社会・経済の諸問題に取り組むためデータの収集・加工・分析に関する知識・技能を身につけ、様々な分野において新たな価値を創造できるようデータサイエンス科目群を設置します。
- ・ 経済価値の創造を担うために必要な現代社会・経済に関する知識・技能を身につけることを目的として価値創造科目群を設置します。

このカリキュラム・ポリシーを敷衍すると、データサイエンスの基礎となる数学、統計学、情報科学、情報倫理、プログラミング、AI、マクロ経済学、ミクロ経済学、経営学などを専門基礎科目群の必修科目として学ぶ。

カリキュラムにはデータサイエンスの知識・技能を用いて実社会での価値創造の担い手になることが出来るよう価値創造基礎科目群が用意されている。具体的には価値創造基礎・価値創造発展からビジネス、社会・観光、スポーツの3分野を学ぶことができる。ここでは、経済、経営、地理情報システム、気象、観光、会計、スポーツなどデータサイエンスをベースにした価値創造について深く学ぶことができる。このような価値創造科目の中に多くの選択肢を提供しているところが、データに基づきビジネスの現場で新たな価値創造の担い手となり得る人材を育成する本学のデータサイエンス学部の特色である。また、データサイエンスのより高度な知識を身につける場合には、データサイエンス科目群のデータサイエンス基礎・データサイエンス発展で、プログラミングの応用、機械学習、数学などの科目やビッグデータを扱う講義や実習など、幅広いデータサイエンスに関する知識・技能を高めることができる。

これらの教育を通して、本データサイエンス学部では、実社会での応用を意識し現代社会・経済の価値創造に貢献する人材を幅広く輩出していくことを目標としている。具体的には、それぞれの分野で十分な研究実績のある教員による指導と、実業界で実際にデータを用いたビジネスを展開している企業や組織との連携によるインターンシップやフィールドワークなどを通して実務上の課題を発見し、それに対する解決策を学生が主体的に提案していくという形式をとる。また、現在、社会人の再教育（リカレント教育）が話題になっているが、本学部ではデータサイエンスという技術進歩の早い分野の性質上、卒業後も大学に戻って情報交換や新知識の習得ができるような開かれた研究・教育体制を築いていく。

立正大学が私立大学として輩出していくことを目指す人材は、一般の企業においてデータを用いて経済価値の創造を行う人材である。一般企業におけるデータ人材の不足に対応すべく、立正大学のデータサイエンス学部は、「データの収集・加工・分析に関する基本的な知識・技能を身につけ、データに基づきビジネスの現場で新たな価値創造の担い手となり得るような人材」を育成する。それは、一般企業や官公庁で、さまざまなデータの分析・活用、基本的なコンピュータ、ネットワーク、データベースの管理、企業のホームページやSNSを通じた情報の発信ができる人材である。すなわち、データサイエンスを実装し一般企業・官公庁で活躍する人材を育て、卒業後も彼らの必要に応じて、情報提供や技術支援を行うことで、データの時代を主体的に担い、実社会においてデータサイエンスを価値創造に活かすことのできる人材を安定的に供給することを目指している。

データサイエンス学部の設置は、立正大学全体にも大きな影響を与える。現代社会・経済においては学部を問わず大学全体でのデータサイエンス教育が求められている。立正大学では、全学的なデータサイエンス教育に向けた第一歩として、データサイエンス学部の開設と同時に全学機関として「データサイエンスセンター（仮称）」を設置することを予定し

ている。同センターは、データサイエンス研究の推進と、全学的なデータサイエンス教育の支援および IR (Institutional Research) の支援を目的として設置されるものである。

研究面においては、データサイエンスに関連する学部横断的な共同研究プロジェクトや企業・自治体等学外組織との共同研究プロジェクトの企画・実践、データサイエンスに関するセミナーやシンポジウム等の開催、データサイエンス研究に資するデータの収集・管理を行う。

教育面では、主に教材の開発やデータサイエンス教育に関する FD プログラムの企画など、全学的なデータサイエンス教育の技術的なサポートを行う。

IR の推進という観点では、データサイエンスに関する教職員向けの SD (Staff Development) プログラムの開発や、データサイエンスの手法を用いて大学に関連するテーマについて分析する教職員共同プロジェクトの企画および情報発信などを行う予定である。

このように同センターは、今回新たに設置するデータサイエンス学部のみならず、既存学部の教員や一部の職員が参加し、データサイエンスに関する全学的な研究・教育および業務への活用を進めるものである。本学では、本学部およびデータサイエンスセンターの設置を契機として、データサイエンスに関する高度な研究・教育機能を大学の 1 つの特色とすることを計画している。

③ 学部・学科等の名称及び学位の名称

(1) 学部・学科名称とその理由

本学部の名称は、「データサイエンス学部」とする。

データサイエンスは

「数理・情動的なデータ処理・分析」 × 「経済・ビジネス系の価値創造」

と定義される。

先行する国立大学法人滋賀大学データサイエンス学部および公立大学法人横浜市立大学データサイエンス学部は、いずれもデータサイエンスのコンセプトとして、上記の定義を用いている。すなわち滋賀大学データサイエンス学部では「教育課程の特色」として、「統計や情報の基礎力を身につけるだけでなく、実際にデータの解析結果を意思決定に活かして、価値創造できる力を高めることを目的としています」と定めている。また横浜市立大学データサイエンス学部では「データサイエンス学科の特色」として、「データを読み解くために必要な数理や統計の基礎的な知識をはじめ、社会で不可欠なコミュニケーション力や、イノベーションを起こす発想力、次世代に通用するビジネス力を養成。日々データが生まれ蓄積される今、そこから新たな社会的価値を創造できる人材を育成します。」と書かれている。

「(2) 設置の必要性」で述べたように、本学のデータサイエンス学部は、データの収集・

加工・分析に関する基本的な知識・技能を身につけ、データに基づきビジネスの現場で新たな価値創造の担い手となり得るような人材を育成することを目的としている。

こうしたことから、本学部の名称は「データサイエンス学部」とし、本学部で与える教育を修了した人材に対して授与する学位名称を「学士（データサイエンス学）」とする。本学部は単一学科であり、学科名称を「データサイエンス学科」とする。

英語表記については、滋賀大学および横浜市立大学と一致していることはもとより、国際的に見ても、ウォーリック大学、オハイオ州立大学、ロチェスター大学などで同様の学位名称を用いており、国際的な通用性は確保されている。

(2) 学部・学科名称及び学位の表記

データサイエンス学部	Faculty of Data Science
データサイエンス学科	Department of Data Science
学士（データサイエンス学）	Bachelor of Data Science

④ 教育課程の編成の考え方及び特色

本学部の教育課程は次の2つの科目群によって構成される。

1. 教養的科目
2. 専門科目

（資料4）は科目と科目群の体系的な関係を示した概念図である。これらの科目を履修することによって、深い教養とデータサイエンスに関わる専門的知識・技能を活かして、それらを現代社会・経済に貢献していこうとする態度を身につけた人材の育成を目指す。

1. 教養的科目

「教養的科目」はすべての学びの土台となる教養を身につけるための科目である。

「教養的科目」は以下の5つの科目群によって構成される。

- (ア) フレッシュャーズ科目群（10単位）
- (イ) 外国語コミュニケーション科目群（48単位）
- (ウ) 一般教育科目群（66単位）
- (エ) スポーツと保健科学科目群（5単位）
- (オ) キャリア科目群（6単位）

(ア)「フレッシュャーズ科目群」は、「学修の基礎Ⅰ・Ⅱ」など大学での学びの基礎となる必修科目が置かれている。基礎的な英語力を高めるため「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」の必修科目を配置している。これらの科目を履修することによって大学における学びの基礎を修得するとともに、データサイエンティストとして成長するための素養やモラルを身につけることを

期待している。

(イ)「外国語コミュニケーション科目群」には2年次必修科目である「実践英語Ⅰ・Ⅱ」、3年次選択科目である「実践英語Ⅲ・Ⅳ」を配置し、フレッシュャーズ科目群で学んだ英語力を段階的に高める工夫がなされている。さらに、「ドイツの言語とその文化Ⅰ・Ⅱ」、「フランスの言語とその文化Ⅰ・Ⅱ」など外国語とその文化の修得を目指す科目が配置され、留学生が履修する日本語や日本文化に関連した科目も用意されている。これら外国語は教養としてだけでなく、グローバル社会における情報交換の手段としてデータサイエンスにも重要である。グローバル社会で活躍するデータサイエンティストの必要言語として外国語の修得を目指す。

(ウ)「一般教育科目群」は「人文」、「社会」、「自然」の3つに区分される。この科目群は、データサイエンスの基盤を担うような堅実かつ柔軟な人材に必要な幅広く深い教養を身につけるために用意されている。「人文」には哲学、宗教学、心理学などの分野、「社会」には法学、経済学、社会学などの分野の科目が用意され、深い教養を身につけ社会の仕組みを理解するための科目が配置されている。「自然」には近代科学、環境科学など自然現象を理解しデータサイエンスとの関係性を導き出すために必要な教養を修得するための科目が配置されている。

(エ)「スポーツと保健科学科目群」にはデータサイエンスの応用分野としてのスポーツを学ぶために必要な基礎的な知識を得るための科目が配置されている。学生として自立した生活を送るための健康管理や体力づくりに取り組むことによって、豊かな学生生活と整った生活習慣を得るための基礎的能力を培う。

(オ)「キャリア科目群」には学生がデータサイエンティストとして卒業しキャリアを形成していくために必要な科目が配置されている。1年次から履修することのできる「キャリア開発基礎講座Ⅰ・Ⅱ」など、入学直後から進路を意識した学生生活を送ることができるよう科目を配置している。

2. 専門科目

「専門科目」は本学部が独自に開講する科目である。データサイエンスの基礎・発展、それに組み合わされる価値創造へとつながる段階的な知識・技能の修得を目指すための工夫がなされている。

「専門科目」は以下の6つの科目群によって構成される。

(ア) 専門基礎科目群 (44 単位)

(イ) データサイエンス科目群データサイエンス基礎 (40 単位)

(ウ) データサイエンス科目群データサイエンス発展 (30 単位)

(エ) 価値創造科目群価値創造基礎 (52 単位)

(オ) 価値創造科目群価値創造発展 (52 単位)

(カ) 演習科目群 (16 単位)

(ア)「専門基礎科目群」はデータサイエンスを学ぶ学生に必要な数学、統計学、情報科学、情報倫理、プログラミング、AI、マクロ経済学、ミクロ経済学、経営学などの分野における専門性を高めるための必修の科目が配置されている。これらの科目で学んだ基礎的な知識や技能は、データサイエンス科目群や価値創造科目群の各科目への連続性が確保されており体系的な学びの基礎部分を構成する。

「データサイエンス科目群」は以下の通り構成されている。

(イ)「データサイエンス科目群データサイエンス基礎」は、専門基礎科目群における学びを基礎として、これらの科目群で修得した知識や技能を発展させ、さらに進んだデータサイエンスを学ぶ。そのために、統計学、統計学実習、線形代数学、線形代数学演習などが必修となっており、これらに加え情報セキュリティ、データベース、機械学習などデータサイエンティストとして社会で活躍する人材となるために必要な知識・技能を修得する。統計学実習、線形代数学演習の6クラス開設をはじめとして、カリキュラムの中でもコアとなる多くの科目で複数クラスを開設することにより、質の高い少人数教育を実施する。

(ウ)「データサイエンス科目群データサイエンス発展」は、プログラミングの応用、機械学習、数学などの科目やビッグデータを扱う統計学の科目など、幅広い範囲の知識・技能を高める。情報処理やデータ分析の知識・技能の修得に加え、インターネット上の各種データやビッグデータを用いて多面的な分析・利活用ができる人材の育成を目指す。

「価値創造科目群」は経済価値の創造につき実践的に学ぶことを目的とした分野の科目群である。具体的には、データサイエンスを実社会で応用する際に必要な知識や技能の基礎を学ぶ科目が配置されており、ビジネス、社会・観光、スポーツなど実社会で活躍するための実践的な知識修得を目的とする。

(エ)「価値創造科目群価値創造基礎」では専門基礎科目群における学びを基礎として、現代社会・経済においてデータサイエンスの知識・技能を実践的に利活用し、課題解決に応用する能力を得るための科目が配置されている。データサイエンスが具現しているものは現在進行中の「産業革命」の中では汎用技術(GPT: General Purpose Technology)とみなされ、応用可能性領域が広範囲にわたる。そのため、ビジネス、社会・観光、スポーツの3分野の基礎知識を獲得するとともに、これらの分野でデータサイエンスがどのように利活用されているのかを学ぶ。データサイエンスで社会の課題を解決するために必要な知識・技能を修得し価値創造に貢献するための基礎知識を獲得する。

(オ)「価値創造科目群価値創造発展」ではデータサイエンスの知識・技能に加え、ビジネス、社会・観光、スポーツの3分野、具体的には経済、経営、地理情報システム、気象、観光、会計、スポーツなどデータサイエンスをベースにした価値創造について深く学ぶ。価値創造に関係する知識・技能を修得することによって現代社会・経済の価値創造に貢献する人材を育成する。

(カ)「演習科目群」では演習の科目を充実させている。「フィールドワーク」、「インターンシップ」など、実社会と向き合い、実践経験を通して実務上の問題や課題を発見し、現代社会・経済の諸問題に対応できる力を身に着けるための科目が用意されている。3年次と4年次には必修科目であるゼミナールを履修する。4年次の「ゼミナール III・IV」ではデータサイエンスに関する「卒業研究・卒業論文」に取り組む。「卒業研究・卒業論文」に取り組むことによって、個々のテーマを設定しその分野におけるデータサイエンスと価値創造を理解し、データサイエンスが現代社会・経済に果たす役割を考え実行し、データサイエンティストとして「数理・情動的なデータ処理・分析」 × 「経済・ビジネス系の価値創造」を総合的に判断し主体的に実践できる人材を育成することが可能となる。

以上を具現化したカリキュラムによって、カリキュラム・ポリシーおよびディプロマ・ポリシーの整合性を確保し、深い教養とデータサイエンスに関わる専門的知識・技能を活かして、様々な分野において新たな価値を生み出すことができる人材の育成を目指す。本学部のディプロマ・ポリシーと各科目との対応関係はカリキュラムマップ（資料5）に示すとおりである。カリキュラムマップには、各科目の多様性が確保され、それらが重層的に組み合わせられていることが示されている。このカリキュラムマップを活用し、ディプロマ・ポリシーとカリキュラムマップに示される各科目の到達度を計測・検証することによって、卒業認定・学位授与の方針に掲げる能力・資質を確認する。なお、ディプロマ・ポリシーは「①設置の趣旨及び必要性」に、カリキュラム・ポリシーは「②学部・学科等の特色」に示している。

⑤ 教員組織の編成の考え方及び特色

全学の教員組織の編成方針に依拠しつつ、データ分析のエキスパートとして、現代社会・経済の諸問題をデータから発見し、データを用いて解決していくことに貢献できる柔軟で深い教養と高いモラルを身につけた人材を養成するという教育目標を実現するために、フレッシュャーズ、外国語コミュニケーション、一般教育、スポーツと保健科学などの教養分野、専門基礎分野、データサイエンス分野、価値創造分野において高度な専門的知識と技能を有する教員をバランスよく配置する。教授・准教授・講師および助教等の構成について適切なバランスをとることが求められるが、データサイエンス分野の重要な科目へ専任の教授、准教授を配置するよう配慮をしている。具体的には、「プログラミング基礎」、「プログラミング基礎実習」、「情報科学Ⅰ」、「情報倫理」、「情報セキュリティ」、「統計学Ⅰ」、「統計学Ⅱ」、「統計調査法」、「機械学習Ⅰ」、「機械学習Ⅱ」をはじめ、データサイエンス教育の要となる授業科目について専任の教授または准教授を配置している。

データサイエンスの知識と技能をもって現代社会・経済におけるさまざまな現実的、実践的課題に取り組むことが求められるため、多種多様な経歴を有する幅広い年齢の教員が

ら成る構成が求められる。理論のみならず実践をも重視する学部の特徴を反映し、データサイエンス分野において統計に関する実務経験の豊富な教員を配置している。

教育課程や学部運営について学部の教授会が基盤となるが、教授会構成メンバーは、全学ならび学部委員会のいずれかに所属してそれぞれの役割を担い、学部長と学部長を補佐する執行部が学部運営の中心的役割を果たす。加えて理論や技術の進歩、現代社会・経済の変化に即時対応をする必要から学部として FD、SD に積極的に取り組み、絶えず資質向上を図るものである。

本学部の教員組織においては、データサイエンスの応用分野での研究を中心に進めていく。研究体制としては、学部開設 2 年目の令和 4 年度を目途に、学部の附置研究所として「データサイエンス研究所（仮称）」を設置することを計画している。同研究所は、基本的にデータサイエンス学部の教員のみをメンバーとし、研究面に特化して活動を行うものである。データサイエンス学部の専任教員の中には、直接的にデータサイエンスを専門分野としていない教員もいることから、研究内容としてはデータサイエンスを中心としながらも幅広い分野を取り扱うことになる。具体的な活動としては、研究会の開催や紀要の発行、研究助成の実施等を想定している。

一方「②. 学部・学科等の特色」でも述べたように、本学では、データサイエンス学部の開設と同時に全学機関として「データサイエンスセンター（仮称）」を設置することを予定している。同センターにはデータサイエンス学部の教員だけでなく既存学部の教員や一部の職員が参加し、研究だけでなくデータサイエンスに関連する教育支援や IR 支援などの幅広い活動を通じて、全学的なデータサイエンス研究・教育支援を推進することになる。

教員の募集・採用、昇任は、所定の規程と手続にもとづき、透明かつ公正で適切になされる。教員組織の年齢構成は、学部開設時に 30 歳代が 5 名、40 歳代が 10 名、50 歳代が 3 名、60 歳代が 7 名であり、完成年度時点においても教育研究水準の維持向上および教育研究の活性化に支障がない。助教を除く専任教員は「立正大学学園定年規程」（資料 6）にもとづき満 70 歳で定年退職となる。なお、定年に関する特例を定めた規定（資料 7）に基づき完成年度までに定年を延長する者は 1 名であり、当該教員の退職後は、同教員の担当科目を担当することができる新たな教員を速やかに採用する。

⑥ 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

(1) 教育方法

本学部の定員は 240 名である。これらの学生を専任教員 25 名で教育する。

データサイエンス学部において不可欠な数理・情報系の基礎的科目については、講義科目だけではなく演習科目を設定し、一部の科目については必修科目として全ての学生に履修させる。

データサイエンスを学ぼうえで不可欠なノートパソコンについては、全ての学生に卒業

まで貸与し、それを活用した授業を展開する。本学部が利用する施設には同時に複数台で安定的な接続が可能な Wi-Fi 環境が整備されているため、それらを用いて双方向授業を取り入れることが可能である。さらに、学生が専用のノートパソコンを使用することによって e-learning、オンデマンド学修、反転授業など多様な取り組みが可能になる。本学では複数の LMS を活用し、e-learning、オンデマンド学修、反転授業の実績を積み重ねてきた。それらの学修には本学が利用実績を積み重ねてきた LMS を活用することによって、各科目の到達目標を学生が達成できるよう配慮する。既存学部から本学部に着任する教員の中には、これらの LMS の活用や反転授業への取り組みの実績のある教員がいるため、その経験と成果の蓄積を本学部において活用する。

さらに、教室備え付けのコンピュータを利用する授業では 1 クラス最大 50 名程度とし 1 学年 5 クラス程度の実習形式の授業を基本とする。授業担当教員に加えチュードントアシスタントを活用することによって学生それぞれの進度に合わせたサポートを授業において実施する。開設初年度にはこれらを備えた学生が少ないことから、情報処理関係の TA (Teaching Assistant) や SA (Student Assistant) については熊谷キャンパス既設学部 (地球環境科学部、社会福祉学部) で TA、SA として実績ある学生を活用する。また、熊谷キャンパス既設学科 (環境システム学科) では 2015 年から統計検定 (2 級・3 級) の資格取得を奨励し毎年約 50 名の合格者を輩出しており、環境統計学実習で TA、SA が活躍していることから、統計学関連の授業において活用する。

本学は 2014 年に文部科学省の「大学教育再生加速プログラム」に選定され、アクティブラーニング事業に取り組んできた。この事業ではタブレットを利用した双方向授業、予習用動画の作成と公開を用いた反転授業などに取り組み、成果を積み重ねてきた。本学部ではその成果を教育方法の 1 つとして取り入れ、双方向授業では学生と教員、学生と学生が相互に学びを深め、反転授業では授業外学修時間を有効活用し予習や復習に学生がより深く取り組めるよう配慮する。双方向授業に学生が取り組むことによってデータサイエンティストに重要なコミュニケーション能力をさらに高め、反転授業に取り組むことによってより主体的に学ぶ力を獲得する機会を多くもつことができる。

学生にはあらかじめ、カリキュラムツリーおよび履修モデルを提示し、それぞれが希望する進路を意識した科目の選択と履修を促す。(資料 8) のカリキュラムツリーはカリキュラムマップを学生にも理解しやすい形式に整理したもので、学生の興味関心に基づいた科目を学生が選択し履修登録の参考にすることを目的としている。カリキュラムツリーは、授業科目の学問分野領域に加えて学修段階を示し、学生を順次的かつ体系的な学びへと導く。「機械学習Ⅱ」、「テキストマイニングⅡ」、「データ分析のための物理Ⅱ」、「社会調査実習Ⅱ」などの科目には履修条件を設け、順次性を意識した学修ができるよう工夫している。カリキュラムツリーには科目の順次性が示されているため、学生は履修モデル (資料 9) と組み合わせることによって、進路を意識した科目の履修が可能になるよう配慮している。

それぞれの進路を意識した履修モデルは、学生の目指す進路に応じて、ビジネスモデル

(一般企業で活躍するデータサイエンティスト)、観光モデル(観光業界で活躍するデータサイエンティスト)、社会モデル(官公庁や教育現場で活躍するデータサイエンティスト)、スポーツモデル(スポーツ業界で活躍するデータサイエンティスト)、情報モデル(情報産業で活躍するデータサイエンティスト)、という5種類を提示し、それぞれの専門的知識・技能の修得を促す。

これらの取り組みによってデータサイエンスの基礎的な知識・技能を修得するとともに、データサイエンティストとして重要な素養や態度、知識・技能を身に付け、データサイエンスを深く理解し、実社会での応用を意識し社会の価値創造に貢献する人材を幅広く輩出していくことを目標とする。これらを前提として配当年次を以下のように設定している。

○1年次

教養的科目では幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養することを考慮し、多岐にわたる分野の科目を配置し応用分野への足掛かりとしている。これらを履修するとともに、フレッシュャーズ科目群の「情報処理の基礎」、「学修の基礎Ⅰ」、「学修の基礎Ⅱ」によって本学部での学びの基礎を修得する。外国語コミュニケーション科目群では、グローバル社会で活躍する人材に必要な外国語の力を向上させる。

専門科目の専門基礎科目群では数学、統計学、情報科学などに関連する必修科目などを配置し、2年次以降の学びに必要な基礎知識を修得する。専門科目ではコンピュータを活用した実習・演習を取り入れることによって、知識だけではなく技能の修得も重視する。また、「微分積分学演習」では6クラスを用意し、プレースメントテストによって習熟度を考慮し、学生の到達度に応じた補習授業などを展開することによって基礎力を確実に修得できるよう配慮する。

○2年次

教養的科目では「実践英語Ⅰ・Ⅱ」を必修とし引き続き外国語能力の向上と定着を目指す。専門科目ではデータサイエンス基礎に加え、価値創造基礎の科目を履修することによって、より高い専門性と社会の価値創造に貢献する人材に必要な知識・技能を修得する。

データサイエンス基礎では数学、統計学、データ分析、データベース、プログラミングなどに関連する必修科目を配置する。「線形代数学演習」では6クラスを用意し、プレースメントテストによって習熟度を考慮し、学生の到達度に応じた補習授業などを展開することによって個々の学生の能力を高めるよう配慮する。さらに、データサイエンスに関連する科目を配置しデータサイエンティストとして活躍するための知識・技能を涵養する。価値創造基礎ではデータサイエンスの応用分野を意識し、ビジネス、金融、観光、地理情報システム、環境、気象、スポーツなどの分野の科目を用意している。データサイエンス基礎と価値創造基礎の科目で得られた知識・技能が有機的に結びつくことによって、データサイエンスの応用分野であるマーケティング、空間情報、地図表現などに活用できる知識・技能の基礎

的内容を身につける。

○3年次

2年次までに修得した専門知識をもとに所属するゼミナール・研究室を選択し、データサイエンスや応用分野のより深い学びへと発展させる。

各科目群では、データサイエンス基礎での学びをデータサイエンス発展へとつなげ、データ解析、機械学習などデータサイエンティストに必要な専門的知識・技能を修得する。価値創造基礎での学びを価値創造発展へとつなげ、データサイエンスの応用分野へと敷衍する。データサイエンスと隣接分野の関りを学ぶことによって、データサイエンスが社会で果たす役割を理解する。

また3年次から「ゼミナールⅠ・Ⅱ」を必修とし、4年次に「卒業研究・卒業論文」に取り組むための十分な準備とより深い専門的な知識・技能の修得を目指す。

○4年次

3年次までに修得したデータサイエンスの基礎的・発展的な科目やデータサイエンスを活用した価値創造の知識を利活用し、データサイエンティストとしてデータサイエンスの成果を社会に還元できる力を獲得するために「卒業研究・卒業論文」に取り組む。4年次には「ゼミナールⅢ・Ⅳ」を必修とし、演習形式の授業で議論を深める。卒業論文は4年次に1人1人が課題に取り組み完成させるもので、卒業研究は数名のグループで課題に取り組み完成させるものである。この研究成果によって、深い教養とデータサイエンスに関係する専門的知識や技能が修得できているか、それらを現代社会・経済に貢献していこうとする思考・判断・意欲・態度・表現・知識・技能が身についているかを評価する。「卒業研究・卒業論文」については、それぞれの学生が所属するゼミナールの指導教員の分野特性を考慮する。この単位は、必修4単位とする。

(2) 履修指導方法

本学部に入学者は全学共通の必修科目である「学修の基礎Ⅰ・Ⅱ」を履修し、大学における学びの基礎やモラルを修得する。その上で履修モデルを示し、学生の興味関心に基づいて学修を深めることができるよう指導する。定員が240名となるため必修授業の中には複数クラス開講となる科目もあるが、授業内容を平準化・共通化するために専任教員が共通教材を開発し、課題や成績の評価にルーブリックを積極的に活用する。ルーブリックを用いることによって学生と教員の成績評価の観点の共有が容易になり、学生が知識・技能を十分に修得できるよう配慮する。

また、一部の科目ではブレースメントテストの導入による習熟度別クラス編成の導入、補習授業を用意し、データサイエンス学部で学ぶ学生に必要な知識やスキルを獲得できるよう配慮する。

本学では専任教員のオフィスアワーを学生に明示し、学生が教員に学修相談や履修相談ができる体制を整えている。これに加え、授業時には前述の TA や SA を活用することによりきめ細かな対応ができるよう配慮する。

本学部は学士の学位保証として 1 年次 42 単位（半期 CAP24 単位）、2 年次 44 単位（半期 CAP26 単位）、3 年次 44 単位（半期 CAP26 単位）、4 年次 38 単位（半期 CAP22 単位）の履修上限単位を設定し、成績評価の指標として GPA を導入する。さらに学位保証のため 4 年次に「卒業研究・卒業論文」を課す。

(3) 卒業要件

本学部の卒業要件は、必修科目及び選択科目を履修し、教養的科目及び専門科目から合計 124 単位以上の単位を修得することである。履修科目の登録の上限は 1 年次 42 単位、2 年次 44 単位、3 年次 44 単位、4 年次 38 単位である。

教養的科目では、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培うこと、豊かな人間性を涵養することができるように科目を配置し、24 単位以上を卒業要件の単位に含めることができる。教養的科目には、フレッシュャーズ科目群（必修 10 単位）、外国語コミュニケーション科目群（必修 4 単位）を含む。学生は幅広く深い教養を身につけた上で、データサイエンスに関わる専門科目の単位を修得することによって、社会で活躍する人材へと成長することを目指す。専門科目は 80 単位以上を卒業要件の単位に含めることができる。専門科目には、専門基礎科目群から 26 単位以上、データサイエンス科目群のデータサイエンス基礎から 14 単位以上、同科目群データサイエンス発展から 4 単位以上、価値創造科目群価値創造基礎から 6 単位以上、同科目群価値創造発展から 4 単位以上、「ゼミナール I・II・III・IV」（必修 8 単位）、「卒業論文・卒業研究」（必修 4 単位）を含む。なお、配当年次は、履修開始学年を示す。このように、卒業要件の教養的科目と専門科目の単位に幅を持たせるカリキュラム設計によって、それらの科目の柔軟な履修が可能になる。これによって専門に偏重せず本学部のディプロマ・ポリシーに合致したカリキュラム体系が構築されている。

⑦ 施設、設備等の整備計画

ア 校地・運動場の整備計画

データサイエンス学部設置予定の熊谷キャンパスは、35 万㎡を超える広大な敷地に自然環境豊かな立地での学修環境を有している。「緑のキャンパス」と「自然との共生」をコンセプトに掲げ、公益財団法人都市緑化機構の社会・環境貢献緑地評価システム (SEGES) のいわゆる「緑の認定」を大学として初めて受け、最高位の評価にまで至っている。

教育環境の拠点としてキャンパス中央に教育、事務、ラーニング・コモンズ (RiLLFore:Rissho University Library Learning Forest、延床面積 1,269.36 ㎡) 等が集約されたアカデミックキューブ (19 号館：地下 1 階地上 6 階建て、延床面積 19,382.3 ㎡) を、

その周辺に図書館（地下2階地上3階建て、延床面積5,280.75 m²）、スポーツ施設、食堂、コンビニエンスストアを配置し、キャンパスを横断するように水景が整備されている。さらにキャンパス内に700名以上を収容できる14階建ての学生寮を完備、寮内にも食堂やオープンスペース、自習室などを設けており、キャンパス全域で教育と自然、学生生活が融合した環境が学生交流の場として活用されている。今後もこれらのオープンスペースを十分に活かしたゾーニングを維持し、教育研究および学生生活に必要な整備を行っていく。

今後はこの環境下で、既存2学部のほか新たに設置予定のデータサイエンス学部が活動することとなるが、現在は品川キャンパスに拠点を置く法学部が平成29年度までの36年間、熊谷キャンパスに所属していた実績があり、新たな学部が活動する上でも法学部が使用していた資産と固有資源を活用することで十分に学修できる環境が既に熊谷キャンパスには整っている。

運動場については、主として授業ならびに課外活動で利用する陸上競技場（14,196 m²）とスポーツキューブ（20号館、延床面積5,491 m²）が、アカデミックキューブ（19号館）を中央にして共に隣接する形で配置している。スポーツキューブ（20号館）は1階に多目的ホール、トレーニングルーム、軽運動場、更衣室を完備し、2階にアリーナ（体育館）がある。陸上競技場は400mトラックが6レーン配置されており、全面人工芝が敷設されたインフィールドは多目的グラウンドとしてアメリカンフットボール部をはじめ様々なスポーツ活動振興に役立っている。どちらも授業および課外活動での利用が優先だが、申込制となっており一般学生も利用可能である。

このほか本学が強化指定している硬式野球部、サッカー部、ラグビー部の専用グラウンドに加えテニスコート、陸上競技部の駅伝チームが練習拠点としているクロスカントリーコース、一般学生がいつでも自由に利用できる多目的コート（バスケットコート）など多種多様な施設が全てキャンパス内に揃っている。これらは順次整備を実施しており今後も継続して整備を行っていく。

イ 校舎等施設の整備計画

教室については、データサイエンス学部における科目の配置状況やその授業形態、受講者数等を踏まえたうえで必要な数及び規模の教室を確保する。現在、熊谷キャンパスには、データサイエンス学部が学部・研究科を問わず利用できる施設として、講義室39室、コンピュータ教室3室及びラーニング・コモンズ3エリア（パソコン合計325台）が整備されており、これらの施設をデータサイエンス学部が既設学部等と共同で利用する予定である。もともと熊谷キャンパスに所属していた法学部は1学年の定員が300名であったのに対し、データサイエンス学部の定員は240名であり、また法学部が開設していた科目数が139講座（専門科目＋法学部開設教養科目）であったのに対し、データサイエンス学部が開設する科目数は125講座（専門科目＋データサイエンス学部開設教養科目）と、学生数・科目数ともに少ないことから、教員学生共々不自由なく講義演習・受講できる教育環境を提供できる

ものといえる。さらに、学部学生全員がノートパソコンを卒業まで貸与され必携して学修するデータサイエンス学部の特徴であるデータの解析、とりわけビッグデータの解析を行えるよう、1 学年 240 名の学生が十分に解析ソフトにアクセスできる環境として、アカデミックキューブ（19 号館）内の各階・ラーニング・コモンスに 7 台、通常教室に毎年度 6 台の教育用無線アクセスポイント増設、学生個人が貸与され卒業まで利用するノートパソコンの（故障時）代替機としてノートパソコン 20 台を準備する計画となっている。加えて、データサイエンス学部専用の講義室には、備え付けのパソコン 60 台を設置、プログラミングなどの実習を行える環境を作る。そのパソコンにはデータサイエンス各専門分野で使うソフトウェアもインストールする予定である。さらに、高度なデータ処理用のワークステーションも 10 台導入予定になっている。データベース収納用のサーバーや学生・教員が利用できる学外クラウドも導入する。さらに、機密情報処理を行うオンサイト施設も 2 部屋確保してある。その他、各研究分野で必要なハードウェア（モニター、各種センサー、ドローン等）やソフトウェアなども順次揃えていく計画である。なお、データサイエンス学部だけでなく、熊谷キャンパスの既存 2 学部（地球環境科学部、社会福祉学部）においても教育研究に支障がないことを示すために、データサイエンス学部を含む 3 学部の時間割を（資料 10）として添付する。データサイエンス学部については開設初年度の 2021 年度から完成年度である 2024 年度までの時間割案を、既存 2 学部については 2019 年度の実際の時間割を記載している。データサイエンス学部の 2024 年度時間割には使用する教室の情報も載せているが、これは既存 2 学部が 2019 年度に使用していない教室のみでデータサイエンス学部の全ての科目を問題なく開講できることを示すためであり、実際に授業を実施する段階で履修者数に応じて教室を変更する可能性がある。

また、熊谷キャンパスには、データサイエンス学部に資する施設として、法学部が品川キャンパスに移転した後のアカデミックキューブ（19 号館：地下 1 階地上 6 階建て、延床面積 19,382.3 m²）の 5 階、2 号館 1 階に研究室・演習室があり、法学部に引き続き、データサイエンス学部が活用する。（資料 11）は、これらの施設における実習室および演習室等の数を表しており、十分な数と質の施設が確保できているといえる。

ウ 図書等の資料及び図書館の整備計画

本学は、東京都品川区と埼玉県熊谷市にそれぞれキャンパスを構え、8 学部 15 学科 7 研究科に所属する約 1 万人の学生に対し、各キャンパスに設置されている品川図書館、熊谷図書館及び古書資料館、学部図書室、地図資料室等が中心となり、学修・研修支援を行っている。それぞれのキャンパスに設置されている学部（品川：仏教学部、文学部、経済学部、経営学部、心理学部、法学部 熊谷：社会福祉学部、地球環境科学部）に沿った蔵書構成を基に図書資料約 99 万冊、学術雑誌等約 10,090 種をはじめ、古書や貴重書等の資料類を所蔵している。また、電子ジャーナル 7,752 種や電子ブック、機関リポジトリといった電子情報資源に関しても構成の充実に取り組んできている。

データサイエンス学部が設置される熊谷キャンパスの図書館は、図書資料等を活用しながら学修が可能な図書館（5,280.75 m²、484 席）とグループでのアクティブラーニングが可能なラーニング・コモンズ（166 席）から構成される。既述の通り、平成 29 年度までは法学部が熊谷キャンパスに所属し、1 キャンパス 3 学部体制を維持していた。このため、新学部が設置された後の熊谷キャンパス 3 学部の学修支援を行う上での問題はない。木々に囲まれた図書館では、落ち着いた雰囲気の中で各種資料（図書・雑誌・新聞・映像・音楽・データベース類）を活用し学修活動に打ち込むことができる。データサイエンス学部に関連する蔵書については、（資料 12）の表 1 のように既存学部や課外活動のために構成してきた約 6 万 3 千冊の蔵書（冊子・電子）が品川・熊谷キャンパス（品川が約 4 万冊、熊谷が約 2 万 3 千冊）に存在する。不足する分野の書籍については、（資料 12）の表 2 や学術雑誌（Data Science Journal, International Journal of Data Science and Analytics, Journal of Big Data, Big Data Research, Computational Statistics & Data Analysis by International Association for Statistical Computing, International Journal of Business Intelligence and Data Mining 等）を含め、完成年度までに必要に応じて購入していく。具体的には、電子ジャーナルや図書・雑誌の配分を 3 年間分計上しており、それとは別に大学からデータサイエンス学部図書館費・図書資料費が計上されることになっている。

教育環境の拠点である RiLLFore は、キャンパスの中心に配置されているアカデミックキューブ（19 号館）1 階に設置されている。ここは、授業や課外活動のために学生が行きかう場所にあたり、常設のデスクトップパソコンだけでなく、グループや個人がノートパソコン、タブレット、プロジェクター等を貸し出して活用でき、多様な什器を自由に利用して学修できる環境になっている。

図書館と RiLLFore では、図書館カウンター、レファレンスデスク、RiLLFore インストラクターカウンター等の窓口より学内の蔵書（冊子・電子）はもとより、他大学との連携を通して多様な情報を得られる体制を整えている。また、学修・研究に対応した情報収集から学術成果の作成・公開までに必要となる学修・研究課題に対して、講習会や個別の問い合わせで対応している。

具体的には、図書館施設の利用初心者に対する有効な利用方法や、レポート・論文作成のための情報収集から作成、プレゼンテーションのための効果的なスキルやノウハウを学べる講習会等を定期的実施している。これら一部の講習会では、学部の学修傾向にも柔軟に対応しつつ、インストラクショナルデザインやゲーミフィケーションの知見等を取り入れている。これにより、学生が図書館施設・サービス・コンテンツを効果的に認識・活用でき、同時に図書館スタッフが講習会プログラムの改善と講習会結果を教員と共有できる環境を構築している。また、パソコンを活用していくために必要なネット上のリテラシーやオフィスソフト等の利用方法などを学生の都合に合わせて学べるオンデマンド講習を開催している。様々な講習を通して利用者の情報リテラシー向上のための取り組みを積極的に行っている。

本学は多くの他大学と連携することにより、学生・教職員の学修及び研究の環境を充実させるための活動を行っている。学生・教職員は、SALA（埼玉県大学・短期大学図書館協議会）に加盟している45の大学・短期大学の図書館の利用が可能になっている。大学間包括連携協定を結んでいる清泉女子大学とは相互の図書館での相互利用が可能になっている。また、佛教図書館協会では東地区の加盟大学（駒澤大学、淑徳大学、大正大学、鶴見大学、東洋大学、身延山大学）の図書館での相互利用が可能になっている。

⑧ 入学者選抜の概要

(1) 求める学生像と入学者受け入れの方針

本学部では、学位授与の方針および教育課程編成実施の方針に基づき、入学者受け入れの方針を以下のように定める。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

データサイエンス学部データサイエンス学科では、学科の教育目標に共感した、下記のような者の入学を期待します。

- ・ データサイエンス学の専門的知識の修得に必要な基礎的な学力を有している者。
- ・ データサイエンスに対する強い知的好奇心と学習意欲を持つ者。
- ・ 高等学校等の学習履歴にかかわらず、データサイエンス技術とその技術を活用することが出来る諸分野（ビジネス・観光・社会・スポーツなど）に強い関心を持ち、現代社会・経済の諸問題の解決に意欲を持つ者。

〔学力の三要素に即した期待する能力〕

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度>

- ・ 現代社会・経済の諸問題を解決するために、失敗を恐れず果敢にチャレンジできる者。
- ・ 現代社会・経済の諸問題を解決するために、他者とのコミュニケーションを積極的に行う姿勢が身についている者。
- ・ 世代や国籍にとらわれることなく、自ら働きかけ協働することができる者。
- ・ 社会調査士や統計検定のようなデータサイエンティストに関わる資格を取得する意欲をもっている者。

<思考力・判断力・表現力>

- ・ 現代社会・経済の諸問題について強い知的関心を持ち、論理的に考えることができる者。

- ・ 新たに得られた知識や情報をプレゼンテーションなどの方法を用いて適切に表現し、相手に内容を正確に伝えることができる者。

<知識・技能>

- ・ 高等学校等においてデータサイエンス学に係る数学、国際的情報交換に欠かすことが出来ない外国語に関する能力・知識を身につけている者。
- ・ データサイエンス学の修得に深く関連するコンピュータやネットワーク活用の基礎的な能力を身に付けている者。

〔高等学校等で修得しておくことが望ましい能力の具体的内容〕

- ・ 外国語
データサイエンス学やそれに関連する分野の知識を獲得するために必要な英文法・語彙力・リーディング・リスニングの基礎的な能力、および新たに得られた知識や情報を発信するために必要となるライティング・スピーキングの基礎的な能力。
- ・ 数学
グラフや基礎的な数式および数理的な構造を理解し、それを応用することによって論理的な思考を展開する能力。
- ・ 国語
データサイエンス学やそれに関連する分野の専門書や学術論文などを理解し最新の知識や技術を修得するための読解力、自身の考えを正確に相手に伝えるための表現力や文章力。
- ・ 地理歴史・公民
現代社会の仕組みや諸問題に関する基礎的な知識。
- ・ 情報
データサイエンス学の修得に深く関連するコンピュータやネットワーク活用の基礎的な能力。

〔入学者選抜方法における評価の項目および該当する試験区分（入学者選抜方法と求める人物像の関係）〕

試験区分	試験制度	入学者選抜方法	<知識・技能>	<思考力・判断力・表現力>	<主体性・多様性・協働性>	
総合型選抜	総合評価型	前期・中期・後期	ES・志望理由書	○	◎	
			個人面接（口頭試問を含む）	◎	◎	◎
			小論文	○	◎	
	トップアスリート選抜		調査書	○		◎
			志望理由書	○	○	◎
			個人面接（口頭試問を含む）	◎	◎	
学校推薦型選抜	指定校制推薦選抜		調査書	○	◎	
			個人面接（口頭試問を含む）	○	○	◎

特別選抜	公募制推薦選抜	調査書	○	◎
		個人面接	○	◎
		小論文	○	◎
	付属・準付属推薦選抜	調査書	○	◎
		個人面接（口頭試問を含む）	○	◎
		調査書	○	◎
	海外帰国生徒対象選抜	個人面接（口頭試問を含む）	○	◎
		作文	○	◎
		個別学力検査（数学）	◎	○
	社会人対象選抜	個人面接（口頭試問を含む）	○	◎
		小論文	○	◎
		個別学力検査（数学）	◎	○
	専門高校(学科)・総合学科生徒対象選抜	個人面接（口頭試問を含む）	○	◎
		小論文	○	◎
		調査書	◎	○
外国人留学生対象選抜	個人面接（口頭試問を含む）	○	◎	
	日本留学試験	◎		
	個別学力検査（数学）	◎	○	
大学入学共通テスト 利用選抜	前期	大学入学共通テスト	◎	◎
	後期	大学入学共通テスト	◎	◎
全学部一般選抜	R方式	個別学力検査（教科）	◎	○
	2月前期	個別学力検査（教科）	◎	○
	2月後期	個別学力検査（教科）	◎	○
	3月	個別学力検査（教科）	◎	○

※入学者選抜方法【個別学力検査（教科）】に、記述式解答を含む場合、＜思考力・判断力・表現力＞も重視します。

※一般（2月前期・後期・3月・R方式）・センター利用において調査書は参考資料とする

※総合型選抜文化スポーツ型（トップアスリート選抜）C日程D日程E日程F日程において、外国人留学生を除く

◎：特に重視する要素

○：重視する要素

ここに示す通り、本学部ではデータサイエンス学の専門的知識の修得に必要となる基礎的な学力だけでなく、関連する外国語能力や、身につけた能力を社会の問題解決に役立てていこうとする関心・意欲を有することを求めている。

また近年、各選抜において志願者の能力・適正等のいずれの側面に比重をおいて評価するのかについても明示していくことが求められている通り（中央教育審議会『新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について』）、入学者受け入れの方針の中で「入学者選抜方法における評価の項目および該当する試験区分」を明示し、大学入学希望者に対して公表する。

(2) 募集人員および選抜方法

本学部の募集定員は240名であり、各選抜区分の募集定員は（資料13）の通りとする。選抜方法としては大きく一般選抜、大学共通テスト利用選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜、特別選抜の5種類を実施する。各選抜では、入学者受け入れの方針に示す人材確保のため、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力等の評価（中央教育審議会『学士課程教育の構築に向けて（答申）』）に基づいて実施する。募集区分に応じて知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性などの側面から評価を行い、多様な入学者の受け入れに努める。

なお、入学した者（選抜方法を問わず）に対しては入学前教育を実施し、数学および英語の基礎的な学力（高校卒業程度）の確立を目指す。また、入学後は数学や英語に関連する

講義・演習について、プレースメントテストの結果をもとに習熟度別にクラス分けするとともに、それらの講義・演習に対する各学生の進捗状況を逐一把握し、必要に応じて補習クラスを用意しフォローアップする。

① 一般選抜

一般選抜は「R方式」、「2月前期」、「2月後期」、「3月」の4区分からなる。いずれも基礎的な知識・技能を有しているかどうかの確認を主眼としており、大学独自の筆記試験による「知識・技能」の評価を主とした選抜を行う。3教科受験3教科判定を基本とするが、R方式では外部英語試験成績の活用、その他の区分では大学入学共通テストの試験結果の併用など、試験科目数や配点等に相違を設け、志願者の資質を反映した多様な入学者の確保を目指す。

筆記試験の科目については、R方式では「国語、数学、外国語」とする。

2月前期では、基本的には数理的な知識や技能を必要とする試験が主体となって構成されてはいるものの、「国語、地歴公民（日本史、世界史、地理、政治・経済から1科目選択）、外国語」、「国語、数学、外国語」、「国語・理科（物理、化学、生物、地学から1科目選択）・外国語」、「数学・理科（物理、化学、生物、地学から1科目選択）・外国語」いずれかの組み合わせから選択可能な試験形態も準備しており、現代社会・経済の諸問題の解決に意欲を持つ者に対しても積極的に受け入れを行う準備もしている。また、いずれの組み合わせにおいても、大学入学共通テスト数学（数学Ⅰ、数学Ⅱいずれかを選択）の得点を判定に用いることができることとする。

2月後期では、「国語、地歴公民（日本史、世界史、地理、政治・経済から1科目選択）、外国語」とし、3月では「国語・理科（物理、化学、生物、地学から1科目選択）・外国語」、「数学・理科（物理、化学、生物、地学から1科目選択）・外国語」いずれかの組み合わせから選択としている。後半に実施される入学者選抜においても数理的な知識・技能を持った者のみならず、多様な入学者の確保を目指す。

高等学校学習指導要領上の出題範囲としては、国語は「国語総合（現代文、さらにR方式以外の区分では選択問題として現代文・古文・漢文を出題）」、日本史は「日本史B」、世界史は「世界史B」、地理は「地理B」、政治・経済は「政治・経済」、数学は「数学Ⅰ・Ⅱ・A・B」、物理は「物理基礎、物理」、化学は「化学基礎、化学」、生物は「生物基礎、生物」、地学は「地学基礎、地学」、外国語は「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ」からそれぞれ出題する。

また、受験する教科はいずれの日程においても3教科と限定されることから、それ以外の教科の学習状況を把握するために書類（調査書等）の提出を求め、併せて知識・技能の評価に活用し、判定に用いる。

② 大学入学共通テスト利用選抜

大学入学共通テスト利用選抜は、「前期」、「後期」の2区分からなる。大学入学共通テスト利用選抜は数理的な基礎知識や技能を有しているかどうかの確認を主眼として実施する。一般選抜と異なり大学入学共通テストの得点を判定に用いる。『国語』『地歴・公民』『数学』『理科』『外国語』の中から、数学を含む3教科判定を実施するが、配点等に相違を設け、志願者の資質を反映した多様な入学者の確保を目指す。

③ 総合型選抜

総合型選抜は「前期」「中期」「後期」および「トップアスリート選抜」の区分からなる。これは志願者の自己推薦による選抜であり、入学者受け入れの方針に基づく多様な観点からの選抜を行うものである。「前期」「中期」「後期」では、主に思考力・判断力・表現力を評価するための「ES・志望理由書」および「小論文」、主にデータサイエンス学を学ぶ上で必要となる数理的な知識や外国語、コンピュータやネットワーク活用に関する基礎的な技能等を評価するための「面接、口頭試問および調査書（出願資格：英語または数学の学習成績の状況（評定平均値 3.5 以上）」）、主に大学で学ぶための主体性・多様性・共同性を評価するための「調査書」をもとに判定を行う。「トップアスリート選抜」では、主にデータサイエンス学を学ぶ上で必要となる数理的な知識や外国語、コンピュータやネットワーク活用に関する基礎的な技能および思考力・判断力・表現力を評価するための「面接および口頭試問」、主に大学で学ぶための主体性・多様性・共同性を評価するための「志望理由書」「調査書」をもとに判定を行う。また、本学の教育理念の理解等を意図し、本選抜への志願を希望する者に対しては、オープンキャンパスの際に実施する事前面談・事前説明への出席を出願要件とする。「前期」「中期」「後期」においては、思考力・判断力・表現力に、一方「トップアスリート選抜」については志願者のこれまでの課外活動等の実績等から主体性・多様性・協働性に比重を置いた評価を行い、入学者受け入れの方針に応じた志願者の資質を反映する、多様な入学者の確保を目指す。

④ 学校推薦型選抜

学校推薦型選抜は「公募制推薦選抜」、「指定校制推薦選抜」の2区分からなる。これは志願者の出身校の学校長の推薦の元、入学者受け入れの方針に基づく多様な観点からの選抜を行うものである。いずれの区分においても、「書類（調査書含む）」、「面接および口頭試問」、「小論文」を用いて判定を行う。また、本学が定める推薦基準（公募制推薦選抜においては英語または数学の学習成績の状況（評定平均値 3.5 以上）、指定校制推薦選抜においては高等学校ごとに別途指定）を満たすとともに、出身学校長の推薦を受けることを出願の条件とする。なお、高等学校における学業成績や課外活動等の成果に基づき、数理的な知識・技能や思考力・判断力・表現力、現代社会・経済の諸問題解決への意欲だけでなく、本学および本学部の教育目標のもと、主体性・多様性・協働性をもって学習に取り組むことのできる者の確保を目指す。

⑤ 特別選抜

特別選抜は「専門高校（学科）・総合学科生徒対象選抜」、「社会人対象選抜」、「海外帰国生徒対象選抜」、「外国人留学生対象選抜」の4区分からなる。これは、学力等の側面における多様性だけでなく、志願者の持つ背景の多様性にも考慮し、入学者受け入れの方針に基づく多様な観点からの選抜を行うものである。「専門高校（学科）・総合学科生徒対象選抜」、「社会人対象選抜」、「海外帰国生徒対象選抜」においては、数理的な知識・技能、現代社会・経済の諸問題の解決への意欲、大学で学ぶための主体性・多様性・協働性などを評価するための「面接および口頭試問」、主に思考力・判断力・表現力を評価するための「小論文」に加えて、これまでの学習で身につけた知識・技能や学びにおける主体性・多様性・協働性を評価するための「調査書」（出願資格：英語または数学の学習成績の状況（評定平均値 3.5以上）」を、「社会人対象選抜」「海外帰国生徒対象選抜」においては数学の筆記試験を用いて判定を行う。なお、ここで言う「社会人」とは、「立正大学学則」第33条に示す入学資格を満たすことに加え、入学する年度の4月1日時点において23歳以上である者のことを指す。

また、日本語を母語としない者を対象とする「外国人留学生対象選抜」においてはデータサイエンス学を学ぶ上で必要となる数理的な知識や外国語、コンピュータやネットワーク活用に関する基礎的な技能等に加え、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性を評価するための「面接、口頭試問および筆記試験（数学）」、基本的な知識・技能を評価するための「日本留学試験」成績を判定に用いる。日本留学試験では、「日本語」を含む2科目（「総合科目」あるいは「数学」のいずれか高得点の科目を使用）を判定に用い、それぞれの点数が平均点以上であることを合格の最低条件とする。また、入学後の就学継続のため、出願時に志願者及びその保証人の預金残高のコピー等の提出を求め、学費支弁能力の確認を行っている。加えて、「外国人留学生対象選抜」によって入学した者に対しては、事情により学費支弁が困難な者に対する私費外国人留学生授業料減免制度、入学後にGPAなどの指標により就学状況が一定の基準を下回る場合、学部において個別支援・指導の対象とする学修支援制度等、継続的な就学を可能にするための支援体制を整えている。

こうした選抜に基づき、本学の入学者受け入れ方針に一致しつつ、年齢や国籍、経歴等多様な背景を持つ入学者の確保を目指す。

(3) 選抜の体制

入学者の合否判定については学部教授会を意思決定の主体とし、その具体的な作業は学部内に設置した入選委員会が行う。ただし、開設年度となる2021年度入学者選抜においては学部組織が存在しないため、上記業務を学長直下に設置されたデータサイエンス学部入試準備委員会（仮称）が実施する。本委員会は、学部長予定者および既存学部から移籍予定の教員が構成員となっている。

また学部設置後は、学部教授会およびその下に設置された入選委員会が、入学者選抜実績や入学後の就学状況を確認しながら、入試区分ごとの募集人数、選抜方法、試験日程等の

適切性を毎年度検証し、翌年度入試の募集人数、選抜方法等の原案を作成し、最終的に大学全体の意思決定機関である全学協議会において決定する。

また本学部へ入学した学生が、すでに他大学等において単位を修得している場合は、「立正大学学則」第 18 条に定める通り、最大 30 単位を学部教授会において認定する。

⑨ 取得可能な資格

本学部では、以下の免許・資格取得を目指し準備を進めている。

(1) 高等学校教諭一種免許（情報）

卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要である。

(2) 学校図書館司書教諭

1. 国家資格
2. 資格取得可能
3. 卒業要件単位外である学校図書館司書教諭関連科目の履修が必要である。

(3) 図書館司書

1. 国家資格
2. 資格取得可能
3. 卒業要件単位外である図書館司書関連科目の履修が必要である。

(4) 博物館学芸員

1. 国家資格
2. 資格取得可能
3. 卒業要件単位外である博物館学芸員関連科目の履修が必要である。

(5) 社会福祉主事

1. 任用資格
2. 資格取得可能
3. 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得が可能である。

(6) 社会教育主事／社会教育士

1. 任用資格
2. 資格取得可能
3. 卒業要件単位外である社会教育関連科目の履修が必要である。

(7) 統計検定

1. 民間資格
2. 資格取得可能
3. 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能であるが、資格取得が卒業の必須条件ではない。

(8) GIS 学術士

1. 民間資格
2. 資格取得可能
3. 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能であるが、資格取得が卒業の必須条件ではない。

(9) G検定 (ジェネラリスト検定)

1. 民間資格
2. 資格取得可能
3. 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能であるが、資格取得が卒業の必須条件ではない。

(10) 統計調査士／専門統計調査士

1. 民間資格
2. 資格取得可能
3. 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能であるが、資格取得が卒業の必須条件ではない。

(11) 社会調査士

1. 民間資格
2. 資格取得可能
3. 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能であるが、資格取得が卒業の必須条件ではない。

(12) QC検定 (品質管理検定)

1. 民間資格
2. 資格取得可能
3. 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能であるが、資格取得が卒業の必須条件ではない。

(13) 情報処理技術者試験 (基本情報処理技術者試験、IT パスポート試験)

1. 国家資格
2. 資格取得可能
3. 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能であるが、資格取得が卒業の必須条件ではない。

(14) アクチュアリー

1. 民間資格
2. 資格取得可能
3. 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能であるが、資格取得が卒業の必須条件ではない。

⑩ 管理運営

大学の教学に関する意思決定は、「管理運営に関する方針」⁶に沿って、学部教授会の後、学部長会議で広く学部長の意見を聴取し、その後全学協議会で審議し学長が決定している。

(1) 学部長の選出

学部長は、「立正大学学則」第 68 条により、当該学部の教授中より当該学部の教授会の

⁶ 「管理運営に関する方針」 <http://www.ris.ac.jp/introduction/policy/management_policy.html>

推薦するものについて全学協議会に諮問したうえ学長が任命する。学部長の権限と責任は、「立正大学学則」第 55 条に「学部長は学長を補佐し、当該学部に関する事項を管理することと定めている。

(2) 学部教授会

学部教授会は当該学部の所属の教授、准教授および講師をもって構成し、原則として月に 1 回開催する。学部教授会は（１）学則第 94 条に定められた審議事項、（２）学長候補者の選出に関する事項、（３）全学協議員・評議員候補者の選出に関する事項、（４）各種委員選出に関する事項、（５）その他必要な事項について審議する。学部教授会の審議事項については、「立正大学学則」第 94 条に記している。

また、教授会の運営については「立正大学データサイエンス学部教授会規程」（資料 14）に定めている。

(3) 全学協議会

全学協議会は、9 学部に関する学事事項について審議する機関であり、「立正大学学則」第 88 条に、（１）名誉学長および名誉教授推薦に関する事項、（２）学部・学科その他重要機関の設置廃止に関する事項、（３）教員人事に関する事項、（４）学則および規程に関する事項、（５）学生の教育に関する重要事項、（６）教員の研究に関する重要事項、（７）各学部その他の機関の連絡調整に関する事項、（８）学長の諮問事項を審議するものとして定めている。

なお、教学に関する重要事項については、さらに役員会および理事会で決定している。各機関における議案整理等は、学長室会議および役員会にて行っている。

(4) 各種委員会

立正大学では、学部横断的に各種委員会を設置している。具体的には、学部長会議、大学予算会議、全学協議会、校務会、学長選挙管理委員会、自己点検・評価委員会、情報環境基盤センター運営委員会、図書館運営委員会、入試運営委員会・広報連絡会議、全学教育推進センター運営委員会、教職教育センター運営委員会、キャリアサポート運営委員会、学生生活委員会、国際交流委員会、学部奨学生委員会、学生健康保険互助会、キャンパス・ハラスメント防止・対策委員会、クリーンキャンパス推進委員会、FD 委員会、省エネルギー推進委員会、大学史料編纂室運営委員会、障害のある学生支援協議会、教職教育センター担当者会議、教育推進・地域連携センター運営委員会等をおき、課題分野別に教学面における管理運営を行なっている。

また、データサイエンス学部内には運営委員会、入選委員会、情報メディア委員会、FD 推進委員会、教務委員会等をおき、教学に関する議題について審議し、教授会の報告事項及び審議事項に該当するものについて、委員長から教授会に提案を行うこととする。

⑪ 自己点検・評価

(1) 実施体制・方法

本学では、「立正大学学則」第1条第2項に「教育研究の向上をはかり前項の目的を達成するために自己点検・評価を行う」ことを定めている。

全学的な自己点検・評価体制としては「立正大学自己点検・評価の実施に関する規程」（資料15）および「立正大学外部評価委員会細則」（資料16）に則り、自己点検・評価委員会および、自己点検・評価小委員会を置き、小委員会には①年次報告書部会②アンケート部会③複合部会の3部会を設置すること、自己点検・評価の妥当性と客観性を高めるための外部評価委員会を置くこととしている。

毎年度の自己点検・評価の実施については、自己点検・評価委員会における実施方針の決定、項目の指定を受け、「立正大学自己点検・評価の実施に関する細則」（資料17）第4条に定められた学部・研究科・部局等各第一次的な責任主体がその年間活動を通じて自ら行った点検・評価を取りまとめている。それをベースとしたうえで、自己点検・評価小委員会（年次報告書部会）および総合経営企画課が自己点検・評価委員会のもとで確認作業と当該第一次責任主体との意見交換を通じて全学的な点検・評価を行っている。その結果を、全学的な視点から大学全体の自己点検・評価を実施し、これを「点検・評価報告書」として毎年度作成・公表している⁷。また、この過程で発見した効果が上がっている点および課題については本学が独自で定めた「自己点検結果リスト」にまとめ、これを学内で共有し、特に課題については指定された各責任主体がその後の改善状況等を自己点検・評価委員会で報告し、全学で確認をすることで確実に改善を行えるようにしている。

これら本学が毎年行っている自己点検・評価について第三者の目で本学の教育活動・学修支援・研究活動・管理運営等について検証・評価をしていただくため、学外の学識経験者・有識者等の中から、立正大学ならびに立正大学大学院自己点検・評価委員会で選考し、学長が委嘱する7名以内の委員で構成された外部評価委員による外部評価委員会を毎年実施している。この結果についても「外部評価委員会報告書」としてまとめ、大学公式ホームページで公表している。

(2) 点検・評価項目

点検・評価の項目については、自己点検・評価の実施に関する細則第2条に定めており、自己点検・評価委員会の議に基づき対象項目の拡大・縮小を可能としているが、近年は本学も会員校である公益財団法人大学基準協会の定める以下の「10の大学基準」全てを毎年自

⁷ 「2018（平成30）年度 点検・評価報告書」 <http://www.ris.ac.jp/introduction/inspection_evaluation/110kip000001k489-att/houkokusho_2018c.pdf>

己点検・評価している。

1. 理念・目的
2. 内部質保証
3. 教育研究組織
4. 教育課程・学習成果
5. 学生の受け入れ
6. 教員・教員組織
7. 学生支援
8. 教育研究等環境
9. 社会連携・社会貢献
10. 大学運営・財務

(3) 結果の活用・公表

大学全体としての自己点検・評価の実施結果は、自己点検・評価の実施に関する細則第7条により、原則年度毎に報告書として取りまとめ、公表することとしている。学内に対しては印刷冊子を全教職員に配布するとともに事務システムにデータを配信しており、社会に対しては大学公式ホームページへ掲載することで広く公表している⁸。

なお、自己点検・評価の結果の活用については、前述の「自己点検結果リスト」の運用によって行っている。

⑫ 情報の公表

「立正大学学園情報公開規程」（資料 18）において、「学校法人としての公共性に鑑み、社会に対する説明責任を果たし、教育研究の質向上に資することを目的」とし、情報公開・閲覧に供する事項を示しており、教育研究活動等の状況に関する事項については原則大学公式ホームページを通じて社会に広く公開している。

ア 大学の教育研究上の目的に関すること

<全学>

■http://www.ris.ac.jp/rissho_school/release_information/basic_info/1_08.html

■ホーム > 学校法人立正大学学園 > 情報公開 > 1. 基本情報 > 理念と目的（建学の精神・三つの方針等）

⁸ 「自己点検・評価ホームページ」 <http://www.ris.ac.jp/introduction/inspection_evaluation/detailed_rules.html>

イ 教育研究上の基本組織に関すること

■http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/management/education_and_learning.html

■ホーム > 大学紹介 > 立正大学の概要 > 運営組織 > 教学組織

ウ 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

教職員数

■http://www.ris.ac.jp/rissho_school/release_information/education_activity/3_01.html

■ホーム > 学校法人立正大学学園 > 情報公開 > 3. 大学の教育研究活動に関する情報 > 教職員数

専任教員の年齢構成

■http://www.ris.ac.jp/rissho_school/release_information/education_activity/3_02.html

■ホーム > 学校法人立正大学学園 > 情報公開 > 3. 大学の教育研究活動に関する情報 > 専任教員の年齢構成

各教員が有する学位及び業績

■http://www.ris.ac.jp/rissho_school/release_information/education_activity/3_03.html

■ホーム > 学校法人立正大学学園 > 情報公開 > 3. 大学の教育研究活動に関する情報 > 各教員が有する学位及び業績

エ 入学者に関する受入れ方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること
入学者受入れの方針

■「ア 大学の教育研究上の目的に関すること」と同じ

障害のある学生受け入れの方針

■<http://www.ris.ac.jp/introduction/policy/disability-support.html>

■ホーム > 大学紹介 > 各種の方針 > 障害のある学生受け入れの方針

入学者数、入学者推移

■http://www.ris.ac.jp/rissho_school/release_information/education_activity/4_03.html

■ホーム > 学校法人立正大学学園 > 情報公開 > 3. 大学の教育研究活動に関する情報

> 入学者数、入学者推移

在籍学生数・収容定員

■http://www.ris.ac.jp/rissho_school/release_information/education_activity/4_01.html

■ホーム > 学校法人立正大学学園 > 情報公開 > 3. 大学の教育研究活動に関する情報
> 在籍学生数・収容定員

卒業生数と修了者数

■http://www.ris.ac.jp/rissho_school/release_information/education_activity/4_04.html

■ホーム > 学校法人立正大学学園 > 情報公開 > 3. 大学の教育研究活動に関する情報
> 卒業生数と修了者数

進学者数・就職者数・就職率

■http://www.ris.ac.jp/employment_career_support/graduate_course/higher_grade/index.html

■ホーム > 就職・進学 > 卒業生の進路 > 進学者数・就職者数・就職率

学部別の進路状況

■http://www.ris.ac.jp/employment_career_support/graduate_course/course_situation/index.html

■ホーム > 就職・進学 > 卒業生の進路 > 学部別の進路状況

オ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

シラバス検索

■<https://portal.ris.ac.jp/campusweb/slbsskgr.do>

カ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

必要単位取得数

■http://www.ris.ac.jp/rissho_school/release_information/education_activity/6_01.html

■ホーム > 学校法人立正大学学園 > 情報公開 > 3. 大学の教育研究活動に関する情報
> 必要単位修得数

取得可能学位

- http://www.ris.ac.jp/rissho_school/release_information/education_activity/6_02.html
- ホーム > 学校法人立正大学学園 > 情報公開 > 3. 大学の教育研究活動に関する情報 > 取得可能学位

キ 校地・校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

施設の紹介

- http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/introduction/index.html
- ホーム > 大学紹介 > 立正大学の概要 > 施設の紹介

交通アクセス

- <http://www.ris.ac.jp/access/index.html>
- ホーム > 交通アクセス

耐震化率

- http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/introduction/seismic_resistance_rate.html
- ホーム > 大学紹介 > 立正大学の概要 > 施設の紹介 > 耐震化率

ク 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

学費

- http://www.ris.ac.jp/campus_life/tuition_and_economical_support/tuition/index.html
- ホーム > キャンパスライフ > 学費と経済サポート > 学費

ケ 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること
キャンパスライフ 学費と経済サポート、奨学金のご案内、暮らしへのサポート、心身の健康

- http://www.ris.ac.jp/campus_life/index.html
- ホーム > キャンパスライフ

就職・進学

- http://www.ris.ac.jp/employment_career_support/index.html
- ホーム > 就職・進学

コ その他（教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報、学則等各種規程、設置認可申請書、設置届出書、設置計画履行状況等報告書、自己点検・評価報告書、認証評価の結果 等）

卒業認定・学位授与の方針

■「ア 大学の教育研究上の目的に関すること」と同じ

学則

■http://www.ris.ac.jp/rissho_school/release_information/basic_info/1_02.html

■ホーム > 学校法人立正大学学園 > 情報公開 > 1. 基本情報 > 学則（大学／大学院／附属立正中学校・高等学校）

設置認可申請書及び設置届出書、設置計画履行状況報告書

■http://www.ris.ac.jp/rissho_school/release_information/basic_info/1_12.html

■ホーム > 学校法人立正大学学園 > 情報公開 > 1. 基本情報 > 設置認可・設置届出

自己点検・評価報告書

■http://www.ris.ac.jp/introduction/inspection_evaluation/detailed_rules.html

■ホーム > 大学紹介 > 大学評価 > 自己点検・評価

授業改善アンケート(報告書) ー学部編・大学院編ー

■<http://www.ris.ac.jp/introduction/fd/questionnaire/index.html>

■ホーム > 大学紹介 > FD(Faculty Development) > 授業アンケート(報告書) -学部編・大学院編-

外部評価委員会報告書

■http://www.ris.ac.jp/introduction/inspection_evaluation/external_evaluation.html

■ホーム > 大学紹介 > 大学評価 > 外部評価

機関別認証評価 提出資料、評価結果、改善報告書検討結果

■http://www.ris.ac.jp/introduction/inspection_evaluation/attestation_evaluation.html

■ホーム > 大学紹介 > 大学評価 > 機関別認証評価

⑬ 教育内容等の改善を図るための組織的な取組

(1) 実施体制・方法等

本学では、「立正大学学則」第1条第3項に「授業の改善および教育研究水準の向上を組織的に支援するためにファカルティ・ディベロップメント活動を実施する」ことを、また同条第4項に「教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教職員に必要な知識および技能を習得させ、ならびにその能力および資質を向上させるための研修（スタッフ・ディベロップメント）を行う」ことをそれぞれ定めている。データサイエンス学部においても、全学体制の中での取組に従事しながら教育内容等の改善を図るための活動を展開していく。

全学的なファカルティ・ディベロップメント（以下FD）活動実施体制として、学長を委員長、FD担当副学長を副委員長とする「立正大学FD委員会」ならびに「立正大学大学院FD委員会」を組織しており、その主たる活動内容は以下のとおりである。

1. 授業改善のための基本方針および実施体制の構築
2. 授業評価の実施
3. 教授内容・方法等の改善のための支援
4. 各学部・研究科等が行うFDの支援
5. FDの推進・啓発を目的とした講演会および教職員の研修等の企画・実施

直近での具体的な活動内容としては、①新任教職員を対象とした教職協働ワークショップを含む研修の実施、②授業改善アンケート結果に基づく「立正大学ベスト・クラス賞」受賞教員による公開授業、③動画教材を活用した新たな授業実践支援、④外部講師を招聘してのインストラクショナルデザインに基づく授業設計研修の実施、⑤一般社団法人 日本私立大学連盟をはじめとする外部FD研修の情報発信および教職員派遣、⑥FDニュースレターを通じた学部・研究科独自の取り組みの情報発信、⑦教学組織との連携を強化した新たなFD推進体制の構築等が挙げられる。④については、令和元年度の大学院設置基準改正を受け、授業を実施するために必要な能力等を身に付けさせるための機会（プレFD）として位置付け、大学院博士後期課程在籍生も対象に実施した。

FD委員会が主催する全学FD活動に加え、各学部・研究科における独自の教育内容等の改善を図るための組織的な取組を実施しており、その内容はFD活動報告書として取りまとめられ、毎年度FD委員会にて情報共有を図っている。

専任教員に対しては、こうした各種FD活動への参加を年間1回以上求めており、全学および学部・研究科独自の研修会等を合わせて、年間5回程度の参加機会を設けるとともに、より建設的な参画を促すために、時事的なテーマや教員のニーズに応じた内容を盛り込むなど、充実化に努めている。また、教学マネジメントの観点から、学内教育政策と関連した職能開発や教育手法の研究・開発を推し進めるべく、教学組織の統括的役割を担う全学教育推進センターと連携した活動を展開する。

なお、教育内容および方法の向上を目的としたFD活動のほか、教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図ることを目的とした研修、説明会等も毎年度企画・

実施している。

(2) 活動状況の公開

FD 活動の状況については、「立正大学学園情報公開規程」（資料 18）において広く社会に公開することを定めており、大学公式ホームページへ取り組み状況を掲載するとともに、前述の「FD ニュースレター」や授業改善アンケートの集計結果をまとめた報告書を公表し、積極的な情報発信を行っている⁹。

(3) 教育研究活動等の適切かつ効率的な運営を図るための職員研修等

本学では、前述の各種学内 FD 研修を、教員だけでなく職員も対象として実施しており、適切な授業支援の遂行に供している。

また、「立正大学学園事務職員研修細則」第 2 条に「職員としての資質の向上及び事務の効率化を図るため、研修を行わせるとともに、職員各自がその知識と教養を高め、相互の融和と協力の実をあげるために研修する」ことを定め、教育研究活動等の適切かつ効率的な運営を図るためのスタッフ・ディベロップメント（以下 SD）を含む研修を実施している。

具体的には、全教職員を対象とした「キャンパス・ハラスメント防止研修」、障害学生支援室が主催する「障害学生支援に関する研修」を毎年度実施するほか、著作権法改正等の法令改正に伴うコンプライアンス研修等を適宜実施している。

さらに、業務経験を通じた能力開発の機会として、組織横断的な教職員で構成する、自己点検・評価小委員会年次報告書部会での点検・評価活動を通じた大学運営や高等教育政策等に関する知識の獲得や課題意識の共有を図ったり、入試課以外の職員を合同入試説明会へ帯同し、その事前研修において自校理解を深めたり、所属部署の業務以外の知見の獲得を目的とした活動を継続的に実施している。

こうした従来の取り組みを基礎として、教育を取り巻く社会情勢に迅速に対応できる教職員の能力開発や資質向上等に対応した研修制度を構築すべく、平成 30 年度から 5 ヶ年を事業期間とする「立正大学学園第 1 次中期計画」において取り組みを進めている。

⑭ 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

ア 教育課程内の取組について

データサイエンス学部では、専門科目として専門基礎科目群、データサイエンス科目群データサイエンス基礎、データサイエンス科目群データサイエンス発展、価値創造科目群価値創造基礎、価値創造科目群価値創造発展、演習科目群を設定している。まずデータサイエンスの基礎となる、数学、統計学、情報科学、情報倫理、プログラミング、AI、マクロ経済

⁹ 「FD ホームページ」 <<http://www.ris.ac.jp/introduction/fd/index.html>>

学、ミクロ経済学、経営学を学んだ後、データサイエンスの知識・技能を用いて実社会での価値創造の担い手になることが出来るよう価値創造基礎科目群が用意されている。具体的には価値創造基礎・価値創造発展からビジネス、社会・観光、スポーツの3分野を学ぶことができる。また、データサイエンスのより高度な知識を身につける場合には、データサイエンス科目群のデータサイエンス基礎・データサイエンス発展で、プログラミングの応用、機械学習、数学などの科目やビッグデータを扱う講義や実習など、幅広いデータサイエンスに関する知識・技能を高めることができる。

具体的には、それぞれの分野で十分な研究実績のある教員による指導と、実業界で実際にデータを用いたビジネスモデルを展開している企業や組織との連携によるインターンシップやフィールドワークなどを通して、実務上の課題を発見し、それに対する解決策を学生が主体的に提案していくという形式をとる。このような講義内容・方法を通して、本データサイエンス学部では、実社会での応用を意識し現代社会・経済の価値創造に貢献する人材を幅広く輩出していくことを目標としている。本データサイエンス学部において育もうとしている主体的に問題解決に向かう姿勢は、現代社会における職業生活で重要な姿勢である。データサイエンス学部のカリキュラムに沿って学びを深めていくことは、学生の社会的・職業的自立につながっていくものと考えている。

イ 教育課程外の取組について

学生の進路支援に関しては、「学生支援に関する方針」に基づき、キャリアサポートセンターが中心となり、学生が卒業後の職業生活にスムーズに移行できるようにキャリア教育および進路支援を行っている。キャリアサポートセンターではキャリア形成支援、就職支援、資格取得支援の3つを柱として支援を進めており、キャリアカウンセラーの配置や、1年次からキャリア開発基礎講座を設定して対処しており、スキル開発など必要とされる様々な資格講座も開設している。なお、「キャリア開発基礎講座Ⅲ」については、第一線で活躍する実務家を講師として招聘し、各業界・企業の最新動向を学ぶことができるようにしている。

キャリア形成支援におけるインターンシップは、実習前に、事前指導として企業担当者によるマナー研修や実習先についてのプレゼンテーション、個人・グループワークでのワークを通じた目標設定を全5回に分けて実施している。実習後は事後指導として、自身の業界のみならず他学生の業界における体験や学びをグループワークで共有している。また実習中は日々の実習内容や学びを日誌へ記入し指導担当者からフィードバックを得ており、学生はもとより大学側においても課題を把握し対応を行っている。教職員も実習期間中に実習先を訪問して情報共有を行っており、受入先との密な連携で学生が安心してインターンシップに参加できる体制を整えている。

ウ 適切な体制の整備について

本学では、キャリアサポートセンターが中心となり学生の進路支援を行っている。全学委員会の一つとしてキャリアサポート運営委員会が設置されており、本委員会はキャリアサポートセンター職員その他、各学部から教員 1 名が委員として選出され構成されている。委員会では年に 7 回の会議を実施している。会議では、キャリアサポートセンターが実施している行事・イベント、インターンシップ等に関する報告その他、キャリアサポートに関する日々の問題等について議論しており、キャリアサポートセンターと各学部の担当教員が連携しながら学生を支援する体制を整えている。キャリアサポートセンターが実施しているインターンシップでは、実習生に対する事前面談を担当教員が担当し、実習中にはキャリアサポートセンター職員と担当教員が企業視察を実施している。また、実習中に学生が記録した実習日誌に関しても、実習後に担当教員が確認等を行うなど、キャリアサポートセンターと教員が協働して支援を行っている。さらに、各学部内には委員会の一つとして就職進路委員会が設置されており、必要に応じて担当教員が中心となりキャリアサポートセンターと連携をとっている。

この他、障害のある学生に関する進路支援について対応する際には、障害学生支援室とも連携をとりながら支援を進めるなど、学生に合わせた進路支援を行っている。

学生に対する支援のほか、保護者を対象とした「保護者懇談会」を全国各地で開催しており、ここでは学業に関すること、学生生活や進路に関することなど、保護者を対象とした全体説明に加え、個別面談を実施している。

資料目次

- 資料 1. 学部設置要望書
- 資料 2. 熊谷商工会議所加盟企業対象データサイエンス学部に関するアンケート
- 資料 3. 協力承諾書・包括協定書
- 資料 4. カリキュラム概念図
- 資料 5. カリキュラムマップ
- 資料 6. 立正大学学園定年規程
- 資料 7. 立正大学学園特任教員規程（定年に関する特例を認めた規定）
- 資料 8. カリキュラムツリー
- 資料 9. 履修モデル
- 資料 10. 熊谷キャンパス時間割
- 資料 11. データサイエンス学部に係る施設
- 資料 12. 図書等の資料及び図書館の整備計画
- 資料 13. 入試選抜区分および募集定員
- 資料 14. 立正大学データサイエンス学部教授会規程
- 資料 15. 立正大学自己点検・評価の実施に関する規程
- 資料 16. 立正大学外部評価委員会細則
- 資料 17. 立正大学自己点検・評価の実施に関する細則
- 資料 18. 立正大学学園情報公開規程

【資料1. 学部設置要望書】

資料として要望書を添付

	企業・団体名等
1	一般社団法人 熊谷市観光協会
2	一般社団法人 五反田バレー
3	一般社団法人 さいしんコラボ産学官
4	一般社団法人 未来協育推進機構
5	NPO法人 ARUKAS KUMAGAYA
6	株式会社鹿島教育システム (M'sメディカルフィットネス)
7	株式会社GWC
8	株式会社ニセコリゾート観光協会
9	株式会社P I P O N
10	株式会社MATCHA
11	株式会社ユーフォリア
12	株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
13	熊谷市
14	熊谷商工会議所
15	公益社団法人 国土緑化推進機構
16	日本オラクル株式会社
17	三菱UFJ信託銀行株式会社
18	明治安田生命保険相互会社
19	LINE Pay株式会社
20	レオス・キャピタルワークス株式会社

熊谷商工会議所加盟企業対象データサイエンス学部に関するアンケート

アンケート結果概要

データサイエンス学部の特色はどの程度魅力に感じますか。【価値創造の人材育成について】	選択肢	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
	件数	7	13	3	0
	割合	30.4%	56.5%	13.0%	0.0%
データサイエンス学部の特色はどの程度魅力に感じますか。【データサイエンス×専門分野というダブルメジャーについて】	選択肢	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
	件数	7	13	3	0
	割合	30.4%	56.5%	13.0%	0.0%
データサイエンス学部の特色はどの程度魅力に感じますか。【課題発見型の人材養成について】	選択肢	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
	件数	7	14	2	0
	割合	30.4%	60.9%	8.7%	0.0%
データサイエンス学部を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。	選択肢	採用したいと思う		採用したいと思わない	
	件数	14		9	
	割合	60.9%		39.1%	
採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。	選択肢	10名	2名	1名	人数は未定
	件数	1	1	10	11
	割合	4.3%	4.3%	43.5%	47.8%



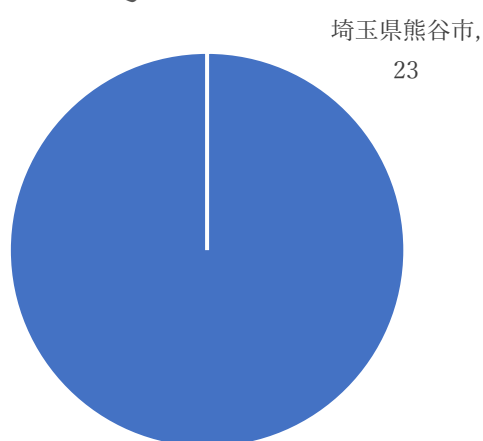
「立正大学に関するアンケート」結果

- 熊谷商工会議所を通じて案内を配布し、web サイトよりアンケートを実施
- 有効回答企業数は 23 社
- 調査票は p.9 以降に添付

Q1. 貴社・貴団体の本社（本部）所在地についてお教えてください。

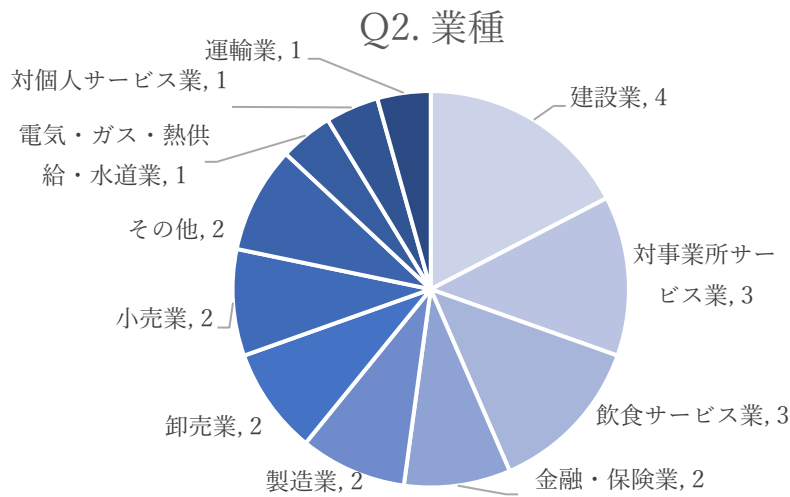
- 埼玉県熊谷市
- 埼玉県内で熊谷市外
- 関東地方で埼玉県外
- その他

Q1. 所在地



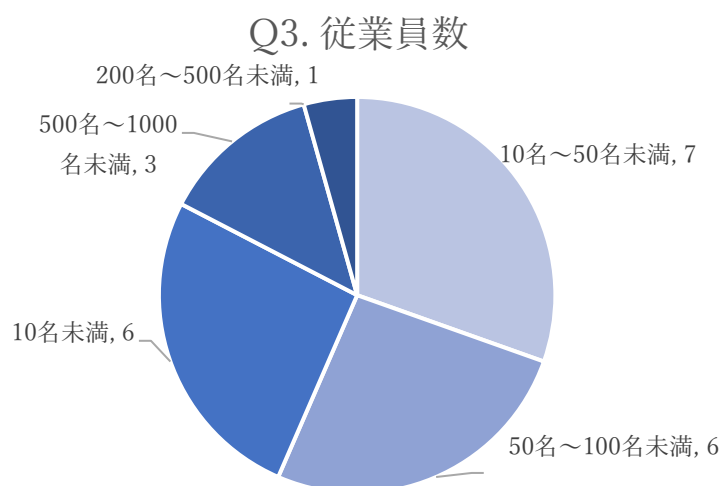
Q2. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。

- | | |
|----------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 農林漁業・鉱業 | <input type="checkbox"/> 金融・保険業 |
| <input type="checkbox"/> 建設業 | <input type="checkbox"/> 不動産業 |
| <input type="checkbox"/> 製造業 | <input type="checkbox"/> 飲食サービス業 |
| <input type="checkbox"/> 電気・ガス・熱供給・水道業 | <input type="checkbox"/> 宿泊業 |
| <input type="checkbox"/> 情報通信業 | <input type="checkbox"/> 医療・福祉業 |
| <input type="checkbox"/> 運輸業 | <input type="checkbox"/> 対個人サービス業 |
| <input type="checkbox"/> 卸売業 | <input type="checkbox"/> 対事業所サービス業 |
| <input type="checkbox"/> 小売業 | <input type="checkbox"/> その他 |



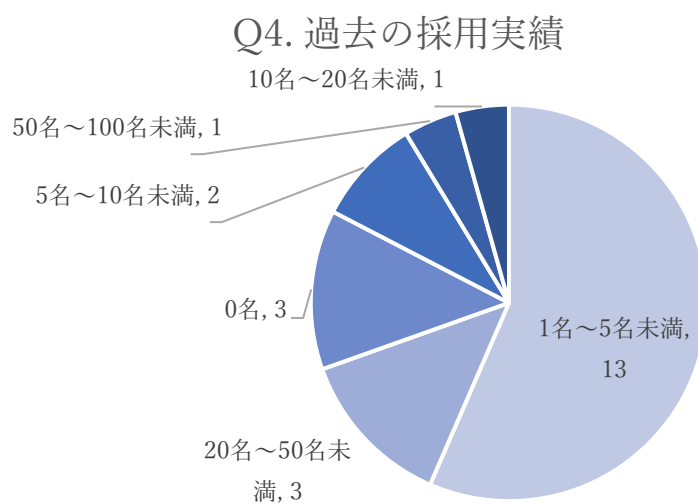
Q3. 貴社・貴団体の従業員数（正規社員）について、ご回答ください。

- 10 名未満
- 10 名～50 名未満
- 50 名～100 名未満
- 100 名～200 名未満
- 200 名～500 名未満
- 500 名～1000 名未満
- 1000 名以上



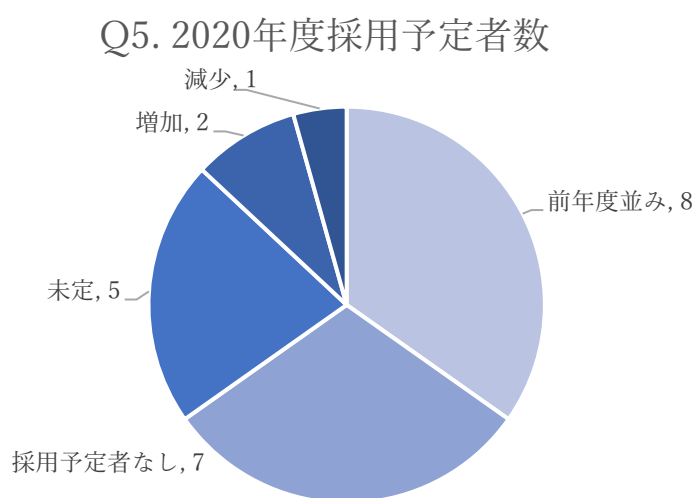
Q4. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。

- 0名
- 1名～5名未満
- 5名～10名未満
- 10名～20名未満
- 20名～50名未満
- 50名～100名未満
- 100名以上



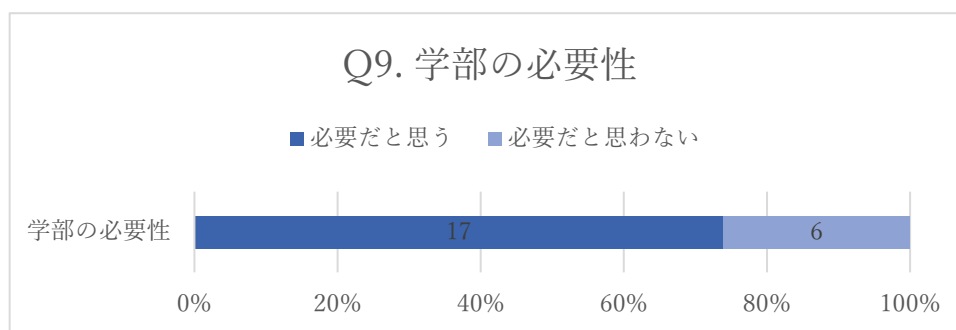
Q5. 貴社・貴団体の2020年度における新規大卒者の採用予定数は、2019年度と比較していかがですか。

- 増加
- 前年度並み
- 減少
- 採用予定者なし
- 未定



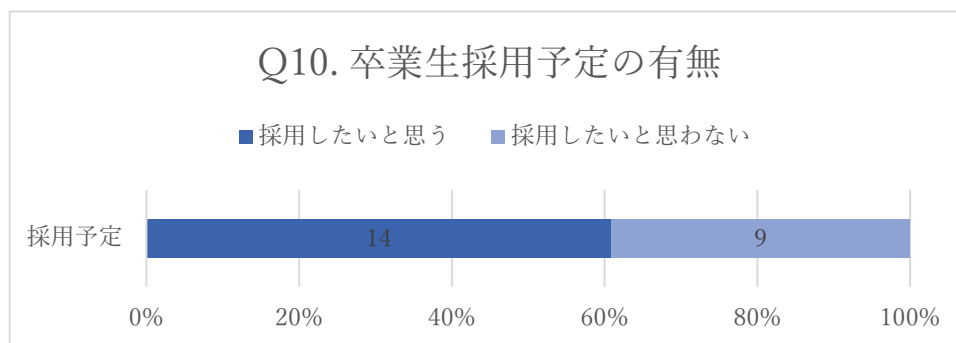
Q9. 貴社・貴団体（ご回答者）は、これからの社会にとって立正大学「データサイエンス学部」（仮称、設置構想中）は必要だと思われませんか。

- 必要だと思う
- 必要だと思わない



Q10. 貴社・貴団体では、立正大学「データサイエンス学部」（仮称、設置構想中）を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。

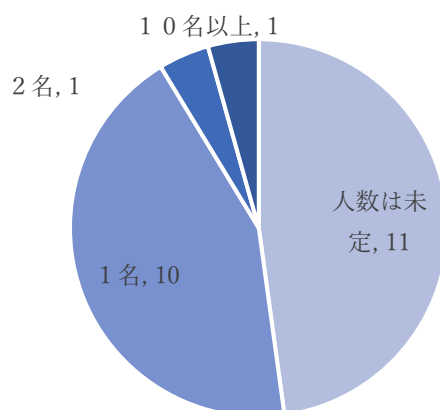
- 採用したいと思う
- 採用したいと思わない



Q11. 「採用したいと思う」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのご回答者ご自身のお考えに最も近いものをお選びください。なお、この回答は実際の採用人数をお約束いただくものではありません。

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1名 | <input type="checkbox"/> 5～9名 |
| <input type="checkbox"/> 2名 | <input type="checkbox"/> 10名以上 |
| <input type="checkbox"/> 3名 | <input type="checkbox"/> 人数は未定 |
| <input type="checkbox"/> 4名 | |

Q11. 卒業生採用予定者数





立正大学に関するアンケート（調査票）

立正大学では 2021 年 4 月より、「データサイエンス学部」（仮称）を新設することを構想しています。このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただくものです。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人や個別企業を特定できるような情報が外部に出ることは一切ありません。

つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

【データサイエンス学部特設サイト：<http://www.ris.ac.jp/ds/index.php>】

※このアンケートや同封した書面に記載されている「データサイエンス学部」（仮称、設置構想中）に関する事項はすべて 予定であり、内容が変更になる可能性があります。

※ はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. 貴社・貴団体の本社（本部）所在地についてお教えてください。

- 埼玉県熊谷市
- 埼玉県内で熊谷市外
- 関東地方で埼玉県外
- その他

Q2. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。

- | | |
|----------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 農林漁業・鉱業 | <input type="checkbox"/> 金融・保険業 |
| <input type="checkbox"/> 建設業 | <input type="checkbox"/> 不動産業 |
| <input type="checkbox"/> 製造業 | <input type="checkbox"/> 飲食サービス業 |
| <input type="checkbox"/> 電気・ガス・熱供給・水道業 | <input type="checkbox"/> 宿泊業 |
| <input type="checkbox"/> 情報通信業 | <input type="checkbox"/> 医療・福祉業 |
| <input type="checkbox"/> 運輸業 | <input type="checkbox"/> 対個人サービス業 |
| <input type="checkbox"/> 卸売業 | <input type="checkbox"/> 対事業所サービス業 |
| <input type="checkbox"/> 小売業 | <input type="checkbox"/> その他 |

Q3. 貴社・貴団体の従業員数（正規社員）について、ご回答ください。

- | | |
|----------------------------------------|-----------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 10 名未満 | <input type="checkbox"/> 200 名～500 名未満 |
| <input type="checkbox"/> 10 名～50 名未満 | <input type="checkbox"/> 500 名～1000 名未満 |
| <input type="checkbox"/> 50 名～100 名未満 | <input type="checkbox"/> 1000 名以上 |
| <input type="checkbox"/> 100 名～200 名未満 | |

Q4. 貴社・貴団体の過去 3 か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えください。

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 0 名 | <input type="checkbox"/> 20 名～50 名未満 |
| <input type="checkbox"/> 1 名～5 名未満 | <input type="checkbox"/> 50 名～100 名未満 |
| <input type="checkbox"/> 5 名～10 名未満 | <input type="checkbox"/> 100 名以上 |
| <input type="checkbox"/> 10 名～20 名未満 | |

Q5. 貴社・貴団体の 2020 年度における新規大卒者の採用予定数は、2019 年度と比較していかがですか。

- 増加
- 前年度並み
- 減少
- 採用予定者なし
- 未定

※ ここからは、2021年4月開設を目指す立正大学「データサイエンス学部」についてお伺いいたします。

Q6. 立正大学「データサイエンス学部」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、この特色はどの程度魅力に感じますか。

特色①

文理融合型の立正大学データサイエンス学部では、先鋭的なデータアナリストだけではなく、データサイエンスを広く経済社会に応用し、ビジネス等の現場で新たな価値を生み出す即戦力となる人材を養成します。

具体的には、一般企業の営業や広報、あるいは官公庁や観光サービス業の現場で、データ分析を通じて価値ある情報を提供できる人材を育成することを目指しています。

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

Q7. 立正大学「データサイエンス学部」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、この特色はどの程度魅力に感じますか。

特色②

立正大学データサイエンス学部では、データサイエンスの基礎となる、数学、統計学、情報科学等を教養的科目として学んだ後、学生が選んだ専門分野として「ビジネス」・「観光」・「社会」・「スポーツ」の4分野にわたる応用科目を設置し、データサイエンス×専門分野というダブルメジャーの形をとることにより、価値創造に貢献する人材を育成していきます。

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

- Q8. 立正大学「データサイエンス学部」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、この特色はどの程度魅力に感じますか。

特色③

立正大学データサイエンス学部では、それぞれの分野で十分な研究実績のある教員による指導に加えて、実業界で実際にデータを用いたビジネス・モデルを展開している企業や組織との連携によるインターンシップやフィールドワークなどを通して、主体的に課題を発見し、それに対する解決策を提案することができるような人材を養成します。

- とても魅力を感じる
 ある程度魅力を感じる
 あまり魅力を感じない
 まったく魅力を感じない
- Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、これからの社会にとって立正大学「データサイエンス学部」(仮称、設置構想中)は必要だと思われませんか。
- 必要だと思う
 必要だと思わない
- Q10. 貴社・貴団体では、立正大学「データサイエンス学部」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。
- 採用したいと思う
 採用したいと思わない
- Q11. 「採用したいと思う」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのご回答者ご自身のお考えに最も近いものをお選びください。なお、この回答は実際の採用人数をお約束いただくものではありません。
- 1名
 2名
 3名
 4名
 5~9名
 10名以上
 人数は未定

※ 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

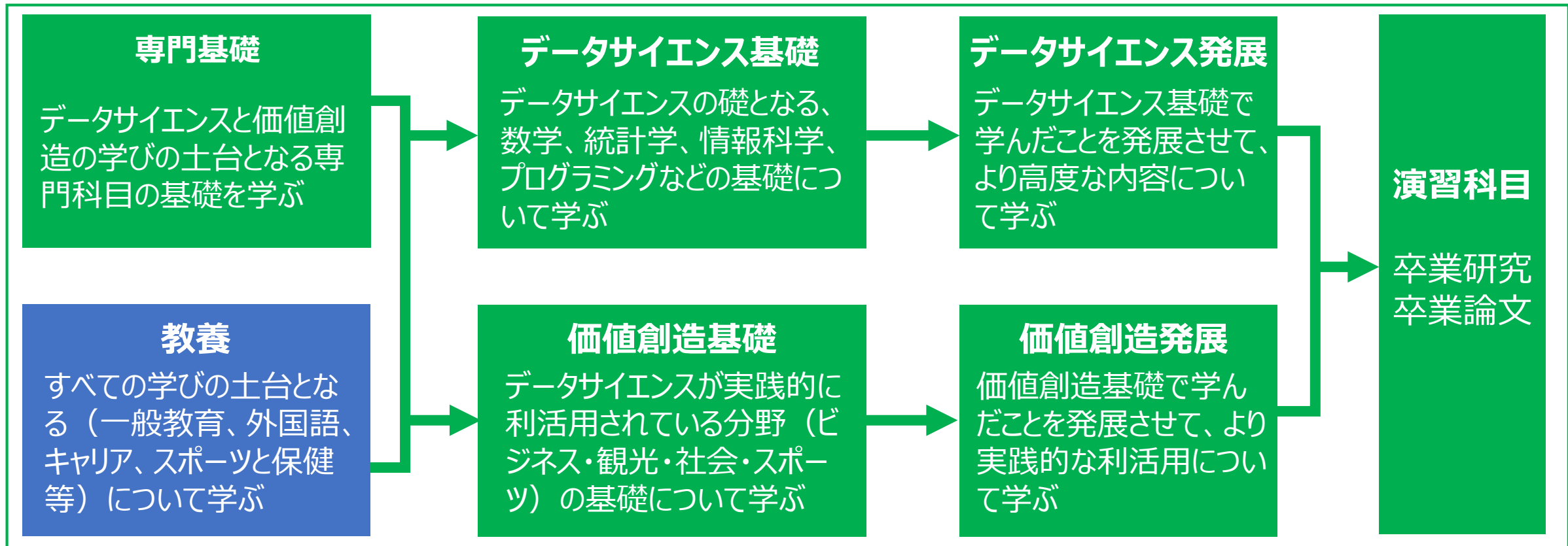
【資料3. 協力承諾書・包括協定書】

資料として承諾書を添付

	企業・団体名等
1	一般社団法人 熊谷市観光協会
2	株式会社岡部工務店
3	株式会社近畿日本ツーリスト首都圏 熊谷支店
4	株式会社GWC
5	株式会社ピアプランニング
6	株式会社 P I P O N
7	株式会社平版印刷
8	株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
9	株式会社良品計画
10	川崎特区明蓬館高等学校 品川・御殿山SNEC
11	協同組合熊谷流通センター
12	公益社団法人 国土緑化推進機構
13	合同会社フォルケ
14	時蔵株式会社
15	テクノリンクシステム株式会社
16	日本オラクル株式会社
17	有限会社後藤衛生コンサルタント
18	有限会社ヘルパーステーション
19	有限会社ラウンドテーブルコム
20	吉見商事株式会社
21	レオス・キャピタルワークス株式会社

資料として協定書を添付

1	熊谷市・熊谷商工会議所・くまがや市商工会
2	品川区
3	秩父市
4	滑川町
5	東松山市



【資料 5. カリキュラムマップ】

区分1	区分2	区分3	科目名	単位	学年	ナンバリング				関心・意欲・態度 (DP1)		思考・判断・表現 (DP2)		知識・理解 (DP3)		技能 (DP4)	
						学 期 分 野 領 域	水 準	科 目 分 類	授 業 形 態	ナン バ リ ン グ	DP1-1 に 関 心 が あ る 意 欲 が あ る。	DP1-2 現 代 社 会 ・ 経 済 の 諸 問 題 を エ ビ デ ン ス に 基 づ い て 検 証 す る 実 証 的 態 度 を 身 に つ け て い る。	DP2-1 デ ー タ サイ エン ス の 知 識 と 技 能 を 用 い て、 こ の こ と が な げ ら れ る こ と が あ る。	DP2-2 デ ー タ サイ エン ス の 知 識 と 技 能 を 用 い て、 揮 る こ と が あ る。	DP3-1 デ ー タ サイ エン ス に 必 要 な 基 本 的 な 数 理 的 知 識 を 身 に つ け て い る。	DP3-2 デ ー タ サイ エン ス を 応 用 し 新 た な 価 値 を 創 造 す る た め に 必 要 な 現 代 社 会 ・ 経 済 に 関 す る 知 識 を 身 に つ け て い る。	DP4-1 現 代 社 会 ・ 経 済 で 広 く 求 め ら れ て い る、 デ ー タ サイ エン ス に 基 づ く 基 礎 的 ・ 応 用 的 な 技 能 を 身 に つ け て い る。
教養的科目	フレッシュヤーズ科目群		学修の基礎 I	2	1	IFA	1	0	1	IFA-101	○						
教養的科目	フレッシュヤーズ科目群		学修の基礎 II	2	1	IFA	1	0	1	IFA-101	○						
教養的科目	フレッシュヤーズ科目群		情報処理の基礎	2	1	PR1	1	0	1	PR1-101	○				○	○	
教養的科目	フレッシュヤーズ科目群		基礎英語 I	2	1	ENG	1	1	2	ENG-112	○						
教養的科目	フレッシュヤーズ科目群		基礎英語 II	2	1	ENG	1	1	2	ENG-112	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		実践英語 I	2	2	ENG	2	1	1	ENG-211	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		実践英語 II	2	2	ENG	2	1	1	ENG-211	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		実践英語 III	2	3	ENG	3	2	1	ENG-321	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		実践英語 IV	2	3	ENG	3	2	1	ENG-321	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		ドイツの言語と文化 I	2	1	GER	1	3	1	GER-131	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		ドイツの言語と文化 II	2	1	GER	1	3	1	GER-131	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		フランスの言語と文化 I	2	1	FRE	1	3	1	FRE-131	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		フランスの言語と文化 II	2	1	FRE	1	3	1	FRE-131	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		中国の言語と文化 I	2	1	CHI	1	3	1	CHI-131	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		中国の言語と文化 II	2	1	CHI	1	3	1	CHI-131	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		コリアの言語と文化 I	2	1	KOR	1	3	1	KOR-131	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		コリアの言語と文化 II	2	1	KOR	1	3	1	KOR-131	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		特別語学演習 I	2	1	LA	1	3	2	LA-132	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		特別語学演習 II	2	1	LA	1	3	2	LA-132	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		特別語学演習 III	2	1	LA	1	3	2	LA-132	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		特別語学演習 IV	2	1	LA	1	3	2	LA-132	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		総合語学演習 I	2	1	LA	1	3	2	LA-132	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		総合語学演習 II	2	1	LA	1	3	2	LA-132	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		総合語学演習 III	2	1	LA	1	3	2	LA-132	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		総合語学演習 IV	2	1	LA	1	3	2	LA-132	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		日本の自然と風土	2	1	RGA	1	3	1	RGA-131	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		日本の生活と文化	2	1	RGA	1	3	1	RGA-131	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		実践日本語 I	2	1	JPN	1	3	1	JPN-131	○						
教養的科目	外国語コミュニケーション科目群		実践日本語 II	2	1	JPN	1	3	1	JPN-131	○						
教養的科目	一般教育科目群	人文	哲学とは何か	2	1	PHE	1	3	1	PHE-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	人文	哲学の基本諸問題	2	1	PHE	1	3	1	PHE-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	人文	仏教の思想と歴史	2	1	BUD	1	3	1	BUD-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	人文	現代社会と仏教	2	1	BUD	1	3	1	BUD-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	人文	歴史学概説	2	1	HSG	1	3	1	HSG-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	人文	史学方法論	2	1	HSG	1	3	1	HSG-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	人文	文学入門	2	1	LIG	1	3	1	LIG-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	人文	比較文学論	2	1	LIG	1	3	1	LIG-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	人文	心理学概説 I	2	1	PS	1	3	1	PS-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	人文	心理学概説 II	2	1	PS	1	3	1	PS-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	人文	発達心理学入門	2	1	PS	1	3	1	PS-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	人文	臨床心理学入門	2	1	CLI	1	3	1	CLI-131	○	○					

【資料 5. カリキュラムマップ】

区分1	区分2	区分3	科目名	単位	学年	ナンバリング				関心・意欲・態度 (DP1)		思考・判断・表現 (DP2)		知識・理解 (DP3)		技能 (DP4)	
						学間分野領域	水準	科目分類	授業形態	ナンバリング	DP1-1 データサイエンスをビジネスに活かすことへの意欲がある。	DP1-2 現代社会・経済の諸問題をエビデンスに基づいて検証する実践的態度を身につけている。	DP2-1 データサイエンスの知識と技能を用いて、様々な分野において新たな価値を生み出すことができる。	DP2-2 データサイエンスの知識と技能を用いて、データを理解し身につけたうえで、主体性を発揮することができる。	DP3-1 データサイエンスに必要な基本的な数理的知識を身につけている。	DP3-2 データサイエンスを応用し新たな価値を創造するために必要な現代社会・経済に関する知識を身につけている。	DP4-1 現代社会・経済で広く求められている、データサイエンスに基づく基礎的・応用的な技能を身につけている。
教養的科目	一般教育科目群	人文	生涯発達心理学	2	2	PS	2	3	1	PS-231	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	社会	法学入門〔日本国憲法を含む〕	2	1	FUL	1	3	1	FUL-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	社会	法学概説	2	1	FUL	1	3	1	FUL-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	社会	民法入門	2	1	FUL	1	3	1	FUL-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	社会	不法行為法入門	2	3	FUL	3	3	1	FUL-331	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	社会	契約法入門	2	2	FUL	2	3	1	FUL-231	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	社会	政治学概説	2	1	POL	1	3	1	POL-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	社会	現代日本の政治と社会	2	1	POL	1	3	1	POL-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	社会	経済学概説	2	1	EC	1	3	1	EC-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	社会	現代日本の経済と社会	2	1	EC	1	3	1	EC-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	社会	社会学概説	2	1	SOC	1	3	1	SOC-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	社会	環境社会学入門	2	1	SOC	1	3	1	SOC-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	社会	社会心理学入門	2	1	PS	1	3	1	PS-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	自然	近代科学の成立	2	1	FUS	1	3	1	FUS-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	自然	物理学の世界	2	1	FUS	1	3	1	FUS-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	自然	生物学の世界	2	1	EVN	1	3	1	EVN-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	自然	生物多様性と社会	2	1	ES	1	3	1	ES-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	自然	環境科学	2	1	ES	1	3	1	ES-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	自然	気象と社会	2	1	EVM	1	3	1	EVM-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	自然	基礎数学	2	1	MT	1	3	1	MT-131	○	○					
教養的科目	一般教育科目群	自然	基礎統計学	2	1	STS	1	3	1	STS-131	○	○					
教養的科目	スポーツと保健科学科目群		スポーツと科学	2	1	PHY	1	3	1	PHY-131	○	○					
教養的科目	スポーツと保健科学科目群		健康スポーツ実習 1	1	1	PHY	1	3	4	PHY-134	○	○					
教養的科目	スポーツと保健科学科目群		健康スポーツ実習 2	1	1	PHY	1	3	4	PHY-134	○	○					
教養的科目	スポーツと保健科学科目群		健康スポーツ野外実習	1	2	PHY	2	3	7	PHY-237	○	○					
教養的科目	キャリア科目群		キャリア開発基礎講座Ⅰ	2	1	CAR	1	3	1	CAR-131	○	○					
教養的科目	キャリア科目群		キャリア開発基礎講座Ⅱ	2	1	CAR	2	3	1	CAR-231	○	○					
教養的科目	キャリア科目群		キャリア開発基礎講座Ⅲ	2	3	CAR	3	3	1	CAR-331	○	○					
専門科目	専門基礎科目群		データサイエンス入門	2	1	DS	1	1	1	DS-111	○	○			○		
専門科目	専門基礎科目群		データサイエンティストの世界	2	1	DSC	1	1	1	DSC-111	○	○			○		
専門科目	専門基礎科目群		情報倫理	2	1	PRI	1	1	1	PRI-111	○	○					
専門科目	専門基礎科目群		インターネットと法	2	1	FUL	2	2	1	FUL-221	○	○					
専門科目	専門基礎科目群		AⅠ入門Ⅰ	2	1	DSC	1	1	1	DSC-111			○			○	
専門科目	専門基礎科目群		AⅠ入門Ⅱ	2	1	DSC	1	1	1	DSC-111			○			○	
専門科目	専門基礎科目群		微積分学	2	1	BAA	1	1	1	BAA-111			○			○	
専門科目	専門基礎科目群		微積分学演習	2	1	BAA	1	1	2	BAA-112			○			○	
専門科目	専門基礎科目群		情報科学Ⅰ	2	1	PRI	1	1	1	PRI-111					○	○	
専門科目	専門基礎科目群		情報処理の応用	2	1	PRI	1	2	1	PRI-121					○	○	
専門科目	専門基礎科目群		プログラミング基礎	2	1	THI	1	1	1	THI-111			○			○	
専門科目	専門基礎科目群		プログラミング基礎実習	2	1	THI	1	1	4	THI-114			○			○	
専門科目	専門基礎科目群		社会調査の基礎	2	1	SOC	1	2	1	SOC-121	○	○				○	

【資料 5. カリキュラムマップ】

区分1	区分2	区分3	科目名	単位	学年	ナンバリング				関心・意欲・態度 (DP1)		思考・判断・表現 (DP2)		知識・理解 (DP3)		技能 (DP4)	
						学 期 分 野 領 域	水 準	科 目 分 類	授 業 形 態	ナン バ リ ン グ	DP1-1 に 関 心 を 持 ち、 意 欲 が あ る。	DP1-2 現 代 社 会 ・ 経 済 の 諸 問 題 を 身 に つ け て い る。	DP2-1 デ ー タ サイ エン ス の 知 識 と 技 能 を 用 い て、 こ の こ と が で き る。	DP2-2 デ ー タ サイ エン ス の 知 識 と 技 能 を 用 い て、 揮 る こ と が で き る。	DP3-1 デ ー タ サイ エン ス に 必 要 な 基 本 的 な 数 理 的 知 識 を 身 に つ け て い る。	DP3-2 デ ー タ サイ エン ス を 応 用 し 新 た な 価 値 を 創 造 す る た め に 必 要 な 現 代 社 会 ・ 経 済 に 関 す る 知 識 を 身 に つ け て い る。	DP4-1 現 代 社 会 ・ 経 済 に 関 す る 技 能 を 身 に つ け て い る。
専門科目	専門基礎科目群		社会と統計	2	1	STS	1	2	1	STS-121	○	○	○		○		
専門科目	専門基礎科目群		マイクロ経済学	2	1	ECT	1	1	1	ECT-111	○	○	○		○		
専門科目	専門基礎科目群		マクロ経済学	2	1	ECT	1	1	1	ECT-111	○	○	○		○		
専門科目	専門基礎科目群		経営学	2	1	MAN	1	1	1	MAN-111	○	○	○		○		
専門科目	専門基礎科目群		データサイエンスと価値創造	2	1	DSC	1	1	1	DSC-111	○	○	○	○	○		
専門科目	専門基礎科目群		観光学	2	1	EC	1	2	1	EC-121	○	○	○		○		
専門科目	専門基礎科目群		自然科学	2	1	FUS	1	2	1	FUS-121	○	○	○		○		
専門科目	専門基礎科目群		アスリートのためのデータサイエンス	2	1	PHY	1	2	1	PHY-121	○	○	○		○		
専門科目	専門基礎科目群		トレーニング科学	2	1	PHY	1	2	1	PHY-121	○	○	○		○		
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	情報科学II	2	2	PRI	2	2	1	PRI-221	○	○	○		○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	情報と職業	2	2	PRI	2	2	1	PRI-221	○	○	○		○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	デジタル社会のデータリテラシー	2	2	PRI	2	2	1	PRI-221	○	○	○		○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	情報セキュリティ	2	2	PRI	2	2	1	PRI-221	○	○	○		○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	ネットワーク理論	2	2	THI	2	2	1	THI-221				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	マルチメディア基礎	2	2	THI	2	2	1	THI-221				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	マルチメディア実習	2	2	THI	2	2	4	THI-224				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	データベース基礎	2	2	THI	2	1	1	THI-211				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	データベース演習	2	2	THI	2	2	6	THI-226				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	機械学習 I	2	2	MAI	2	2	1	MAI-221				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	プログラミング応用	2	2	THI	2	2	1	THI-221				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	プログラミング応用実習	2	2	THI	2	2	4	THI-224				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	線形代数学	2	2	ALG	2	1	1	ALG-211				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	線形代数学演習	2	2	ALG	2	1	2	ALG-212				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	統計学 I	2	2	STS	2	1	1	STS-211				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	統計学II	2	2	STS	2	1	1	STS-211				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	統計学実習 I	2	2	STS	2	1	4	STS-214				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	統計学実習 II	2	2	STS	3	1	4	STS-314				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	統計調査法	2	2	STS	2	2	1	STS-221	○	○	○		○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	社会調査の設計と実査	2	2	STS	2	2	1	STS-221	○	○	○		○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス基礎	データサイエンス特論	2	3	DSC	3	2	1	DSC-321	○	○	○		○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス発展	情報と産業	2	3	PRI	3	2	1	PRI-321	○	○	○		○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス発展	インターネットデータ収集技術	2	3	STS	3	2	1	STS-321				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス発展	機械学習 II	2	3	MAI	3	2	1	MAI-321				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス発展	テキストマイニング I	2	3	STS	3	2	1	STS-321				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス発展	テキストマイニング II	2	3	STS	3	2	1	STS-321				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス発展	特微量エンジニアリング	2	3	STS	3	2	1	STS-321				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス発展	応用数学	2	3	FMA	2	2	1	FMA-221				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス発展	統計学III	2	3	STS	3	2	1	STS-321				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス発展	統計学IV	2	3	STS	3	2	1	STS-321				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス発展	統計学実習 III	2	3	STS	2	2	4	STS-224				○	○	○	
専門科目	データサイエンス科目群	データサイエンス発展	統計学実習 IV	2	3	STS	3	2	4	STS-324				○	○	○	

区分1	区分2	区分3	科目名	単位	学年	ナンバリング				関心・意欲・態度 (DP1)		思考・判断・表現 (DP2)		知識・理解 (DP3)		技能 (DP4)				
						学 期	分 野	領 域	ナン バ リ ン グ	水 準	科 目 分 類	授 業 形 態	ナン バ リ ン グ	DP1-1 に 関 心 を 持 ち、 意 欲 が あ る。	DP1-2 現 代 社 会 ・ 経 済 の 諸 問 題 を 身 に つ け て い く。	DP2-1 多 岐 に 関 心 を 持 ち、 意 欲 が あ る。	DP2-2 多 岐 に 関 心 を 持 ち、 意 欲 が あ る。	DP3-1 知 識 を 身 に つ け て い る。	DP3-2 知 識 を 身 に つ け て い る。	DP4-1 現 代 社 会 ・ 経 済 に 関 心 を 持 ち、 意 欲 が あ る。
専門科目	価値創造科目群	価値創造発展	気象データ解析法	2	3	EVM	3	2	1	EVM-321	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	価値創造科目群	価値創造発展	気象データ解析実習	2	3	EVM	3	2	4	EVM-324	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	価値創造科目群	価値創造発展	リモートセンシング	2	3	EVI	2	2	1	EVI-221	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	価値創造科目群	価値創造発展	社会応用データサイエンス	2	3	DSC	3	2	1	DSC-321	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	価値創造科目群	価値創造発展	空中写真の利用と活用	2	3	GIS	2	2	1	GIS-221	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	価値創造科目群	価値創造発展	データビジュアライゼーション	2	3	PRI	3	2	1	PRI-321	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	価値創造科目群	価値創造発展	不動産データ分析	2	3	GIS	3	2	1	GIS-321	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	価値創造科目群	価値創造発展	数理モデリングとシミュレーション [社会・経済]	2	3	MAI	3	2	6	MAI-326	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	価値創造科目群	価値創造発展	数理モデリングとシミュレーション [気象]	2	3	MAI	3	2	6	MAI-326	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	価値創造科目群	価値創造発展	スポーツアナリティクス I	2	3	DSC	3	2	6	DSC-326	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	価値創造科目群	価値創造発展	スポーツアナリティクス II	2	3	DSC	3	2	6	DSC-326	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	価値創造科目群	価値創造発展	スポーツモニタリング	2	3	PHY	3	1	1	PHY-311	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	価値創造科目群	価値創造発展	データサイエンスによるスポーツコーチング	2	3	DSC	3	3	1	DSC-331	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	演習科目群		フィールドワーク	2	2	FIE	2	2	2	FIE-222	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	演習科目群		インターンシップ	2	2	CAR	2	2	2	CAR-222	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	演習科目群		ゼミナール I	2	3	SEM	3	1	2	SEM-312	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	演習科目群		ゼミナール II	2	3	SEM	3	1	2	SEM-312	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	演習科目群		ゼミナール III	2	4	SEM	4	1	2	SEM-412	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	演習科目群		ゼミナール IV	2	4	SEM	4	1	2	SEM-412	○	○	○	○	○	○	○			
専門科目	演習科目群		卒業研究・卒業論文	4	4	GTS	4	1	1	GTS-411	○	○	○	○	○	○	○			

■科目分類

0 アカデミックスキル、研究スキル

1 基幹科目

カリキュラムの中で、知識の根幹となる科目

※概論・概説

※必修科目、選択必修科目

2 発展科目

発展的科目

※各論も含む

※選択必修科目、選択科目

3 関連領域

他学部の科目などで、関連する領域の科目

※卒業単位になる

4 周辺領域

資格科目など

※卒業単位とならない

■授業形態

1 講義

2 演習

3 実験

4 実習

5 実技

6 講義・演習

7 講義・実習

8 (未使用)

9 その他

立正大学学園定年規程（昭和47年1月1日規程第86号）

立正大学学園定年規程

昭和47年1月1日
規程第86号

第1条 本学園に勤務する専任の教職員は定年に達する日の属する学年度末をもって退職するものとする。

第2条 教職員の定年は次のごとく定める。ただし、設置学校の長はこの限りでない。

(1) 教員

大学 満70才

高等学校 満65才

中学校 満65才

(2) 職員

大学 満65才

高等学校 満65才

中学校 満65才

第3条 定年の延長は行なわない。

2 前項の規定に拘らず定年で退職する教職員を非常勤教員、または嘱託として採用することはこれを妨げない。

第4条 その学年度に定年による退職予定者があるときは、その年度の初期において理事長が該当者に次のことを文書で連絡する。

(1) 退職の時期

(2) 退職金の予定金額

第5条 20年以上勤務し、次の年令をこえてから退職を希望するときは、定年による退職とみなす。

(1) 大学の教員 満60才

(2) 高等学校および中学校の教員 満55才

(3) 大学・高等学校・中学校の職員 満55才

附 則

この規程は、昭和47年1月1日より施行する。

昭和49年5月21日改正施行

昭和51年1月14日改正施行

昭和51年4月1日改正施行

平成7年4月19日改正施行

平成10年5月18日改正、平成10年9月19日施行

平成13年3月16日改正、平成13年4月1日施行

平成14年3月22日改正、平成14年4月1日施行

立正大学特任教員規程

平成9年4月1日
規程第98号

第1条 本規程は学則第73条に基づき特任教員について定める。

第2条 特任教員は、任用条件により第Ⅰ種、第Ⅱ種、第Ⅲ種に分けて任用することができる。

第3条 特任教員は、学術研究ならびに教育計画の実施上あるいは学部運営上必要あるときで、次の各号の一に該当する者につき学部教授会の議を経て学長が委嘱する。

- (1) 専門分野における学術または技能に秀でた者
- (2) 特定の研究・教育・開発等の計画の実施上、特に必要とする研究者または技能者
- (3) 学術文化および研究・教育の協力と交流に関する協定に基づき学部が招聘した者

第4条 特任教員は教員任用基準または研究教育上の業績により次のとおりとする。

- (1) 特任教授
- (2) 特任准教授
- (3) 特任講師

第5条 特任教員の任期は「大学の教員等の任期に関する法律（平成9年法律第82号）」第5条の規定に基づき、労働契約により1年ないし3年とする。ただし、必要ある場合は更新することができるが、種別を問わず通算最長8年までとする。

2 特任教員に年齢制限を設け、その年齢を満70歳の年度末までとする。

第5条の2 前条第2項の規定にかかわらず、次の場合は、理事長・学長協議のうえ、年齢制限を満71歳の年度末までとすることができる。

- (1) 小学校教諭の教職課程の教育上必要があり、かつやむを得ない事情があるとき。
- (2) 新たに大学院研究科（同専攻）、学部・学科設置をするにあたり必要があり、かつやむを得ない事情があるとき。

第6条 特任教員の任用・労働条件は別に定める。

第7条 特任教員については理事会の議を経て、理事長と特任教員との間で労働契約を締結する。

第8条 第Ⅱ種の特任教員に関わる経費一切（個人研究費含む）は学部配賦予算により賄うものとする。

第9条 この規程の改廃は、立正大学学園規約類の制定に関する規程第6条の規定による。

附 則

この規程は平成9年4月1日から施行する。

平成11年2月22日改正、平成11年4月1日施行

平成12年7月29日改正、平成12年9月1日施行

平成12年11月27日改正、平成13年4月1日施行

平成14年2月27日改正、平成14年4月1日施行

平成19年3月19日改正、平成19年4月1日施行

平成23年11月30日改正、平成24年4月1日施行

1 平成25年2月27日改正、平成25年4月1日施行

2 第5条第1項の任期は平成25年4月1日以降の労働契約に適用する。

1 平成25年7月24日改正、平成25年4月1日施行

2 第5条の2（1）の効力期間については、平成27年3月末日までとする。

平成27年1月28日改正、平成27年4月1日施行

1 令和元11月27日改正、令和2年4月1日施行

2 第5条の2（2）の効力期間については、令和7年3月末日までとする。

【資料 9. 履修モデル】

履修モデル1 ビジネスモデル（一般企業で活躍するデータサイエンティストを目指すモデル）

科目の種類	1年			2年			3年			4年			総単位数
	科目名	開講期	単位	科目名	開講期	単位	科目名	開講期	単位	科目名	開講期	単位	
専 門 科 目	演習科目群						ゼミナールⅠ	前	2	ゼミナールⅢ	前	2	14
							ゼミナールⅡ	後	2	ゼミナールⅣ	後	2	
	データサイエンス 発展科目群						インターンシップ	通	2	卒業論文・卒業研究	通	4	
	データサイエンス 基礎科目群				データベース基礎	前	2	情報科学Ⅱ	前	2			24
					線形代数学	前	2	情報と職業	後	2			
					線形代数学演習	後	2	プログラミング応用	前	2			
					統計学Ⅰ	前	2	プログラミング応用実習	後	2			
				統計学Ⅱ	後	2							
				統計学実習Ⅰ	前	2							
				統計学実習Ⅱ	後	2							
				機械学習Ⅰ	後	2							
価値創造 発展科目群							経済統計Ⅰ	前	2				18
							経済統計Ⅱ	後	2				
							実証経済分析	後	2				
							E B P M	前	2				
							クオリティマネジメント	前	2				
							イノベーションマネジメント	前	2				
							計量マーケティング	前	2				
							サービスデータサイエンス	後	2				
							グローバルビジネス	後	2				
価値創造 基礎科目群				計量経済学	前	2							18
				応用計量経済学	後	2							
				経済指標の読み方	前	2							
				地域経済	前	2							
				地域分析	後	2							
				金融リテラシー	前	2							
				経営管理	前	2							
				経営戦略	後	2							
				経営組織	後	2							
専門基礎 科目群	データサイエンス入門	前	2										30
	データサイエンティストの世界	後	2										
	情報倫理	前	2										
	AⅠ入門Ⅰ	前	2										
	AⅠ入門Ⅱ	後	2										
	微分積分学	前	2										
	微分積分学演習	後	2										
	情報科学Ⅰ	後	2										
	情報処理の応用	後	2										
	プログラミング基礎	前	2										
	プログラミング基礎実習	後	2										
	ミクロ経済学	前	2										
	マクロ経済学	後	2										
	経営学	後	2										
	データサイエンスと価値創造	前	2										
教 養 的 科 目	一般教育科目群： 人文・社会・自然*1			社会学概説	前	2	生涯発達心理学	後	2				4
	外国語コミュニケーション 科目群						実践英語Ⅰ	前	2				4
	スポーツと保健科学 科目群*2						実践英語Ⅱ	後	2				
	キャリア科目群				キャリア開発基礎講座Ⅰ	前	2	キャリア開発基礎講座Ⅲ	前	2			6
					キャリア開発基礎講座Ⅱ	後	2						
フレッシュヤーズ 科目群	学修の基礎Ⅰ	前	2										10
	学修の基礎Ⅱ	後	2										
	情報処理の基礎	前	2										
	基礎英語Ⅰ	前	2										
	基礎英語Ⅱ	後	2										
総単位数			40			44			42			8	134
年間履修登録単位の上限			42			44			44			36	

*1：一般教育科目群：人文・社会・自然は、履修の一例である。

*2：スポーツと保健科学科目群は、履修の一例である。

教養的科目24単位以上、専門科目80単位以上、これらの合計で124単位以上修得すること。教養的科目は24単位以上44単位までを卒業要件の単位に含めることができる。専門科目は80単位以上100単位までを卒業要件の単位に含めることができる。教養的科目では、フレッシュヤーズ科目群の必修10単位、外国語コミュニケーション科目群の必修4単位を含むこと。

専門科目では、専門基礎科目群から必修を含む26単位以上、データサイエンス科目群データサイエンス基礎から必修を含む14単位以上、同科目群データサイエンス発展から4単位以上、価値創造科目群価値創造基礎から6単位以上、同科目群価値創造発展から4単位以上、演習科目群から必修を含む12単位以上を修得すること。

なお、配当年次は、履修開始学年を示す。（年間履修登録単位の上限：1年次42単位（半期CAP24単位）、2年次44単位（半期CAP26単位）、3年次44単位（半期CAP26単位）、4年次36単位（半期CAP22単位））

【資料 9. 履修モデル】

履修モデル2 観光モデル（観光業界で活躍するデータサイエンティストを目指すモデル）

科目の種類	1年			2年			3年			4年			総単位数	
	科目名	開講期	単位	科目名	開講期	単位	科目名	開講期	単位	科目名	開講期	単位		
専 門 科 目	演習科目群			フィールドワーク	通	2	ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ インターンシップ	前 後 通	2 2 2	ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業論文・卒業研究	前 後 通	2 2 4	16	
	データサイエンス 発展科目群						データサイエンス特論 インターネットデータ収集技術	前 前	2 2				4	
	データサイエンス 基礎科目群			データベース基礎 線形代数 線形代数数学演習 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 統計学実習Ⅰ 統計学実習Ⅱ	前 前 後 前 後 前 後	2 2 2 2 2 2 2	プログラミング応用 プログラミング応用実習 デジタル社会のデータリテラシー 情報セキュリティ データベース演習	前 後 前 後 後	2 2 2 2 2				24	
	価値創造 発展科目群						クオリティマネジメント イノベーションマネジメント 計量マーケティング サービスデータサイエンス グローバルビジネス 観光マーケティング 観光リスクマネジメント ホスピタリティマネジメント	前 前 前 後 後 前 前 後	2 2 2 2 2 2 2 2					16
	価値創造 基礎科目群			経営管理 経営戦略 経営組織 観光経済学 観光統計 観光データ分析 スポーツツーリズム 国際観光政策	前 後 後 前 前 後 後 後	2 2 2 2 2 2 2 2								16
	専門基礎 科目群	データサイエンス入門 データサイエンティストの世界 情報倫理 AI入門Ⅰ AI入門Ⅱ 微分積分学 微分積分学演習 情報科学Ⅰ プログラミング基礎 プログラミング基礎実習 ミクロ経済学 マクロ経済学 経営学 データサイエンスと価値創造 観光学	前 後 前 前 後 前 後 前 後 前 後 前 後 前 後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	インターネットと法	後	2							
教 養 的 科 目	一般教育科目群： 人文・社会・自然*1						心理学概説Ⅰ 心理学概説Ⅱ	前 後	2 2					4
	外国語コミュニケーション科目群			実践英語Ⅰ 実践英語Ⅱ	前 後	2 2								4
	スポーツと保健科学 科目群*2													
	キャリア科目群			キャリア開発基礎講座Ⅰ キャリア開発基礎講座Ⅱ	前 後	2 2	キャリア開発基礎講座Ⅲ	前	2					6
フレッシュヤーズ 科目群	学修の基礎Ⅰ 学修の基礎Ⅱ 情報処理の基礎 基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ	前 後 前 前 後	2 2 2 2 2										10	
総単位数			40			42			42			8	132	
年間履修登録単位の上限			42			44			44			36		

*1：一般教育科目群：人文・社会・自然は、履修の一例である。

*2：スポーツと保健科学科目群は、履修の一例である。

教養的科目24単位以上、専門科目80単位以上、これらの合計で124単位以上修得すること。教養的科目は24単位以上44単位までを卒業要件の単位に含めることができる。専門科目は80単位以上100単位までを卒業要件の単位に含めることができる。教養的科目では、フレッシュヤーズ科目群の必修10単位、外国語コミュニケーション科目群の必修4単位を含むこと。

専門科目では、専門基礎科目群から必修を含む26単位以上、データサイエンス科目群データサイエンス基礎から必修を含む14単位以上、同科目群データサイエンス発展から4単位以上、価値創造科目群価値創造基礎から6単位以上、同科目群価値創造発展から4単位以上、演習科目群から必修を含む12単位以上を修得すること。

なお、配当年次は、履修開始学年を示す。（年間履修登録単位の上限：1年次42単位（半期CAP24単位）、2年次44単位（半期CAP26単位）、3年次44単位（半期CAP26単位）、4年次36単位（半期CAP22単位））

【資料 9. 履修モデル】

履修モデル3 社会モデル（官公庁や教育現場で活躍するデータサイエンティストを目指すモデル）

科目の種類	1年			2年			3年			4年			総単位数	
	科目名	開講期	単位	科目名	開講期	単位	科目名	開講期	単位	科目名	開講期	単位		
専 門 科 目	演習科目群			フィールドワーク	通	2	ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ インターンシップ	前 後 通	2 2 2	ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業論文・卒業研究	前 後 通	2 2 4	16	
	データサイエンス 発展科目群						データサイエンス特論 情報と産業	前 通	2 2				4	
	データサイエンス 基礎科目群			データベース基礎 線形代数 線形代数演習 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 統計学実習Ⅰ 統計学実習Ⅱ 情報科学Ⅱ 情報と職業	前 前 後 前 前 後 後 前 前 後	2 2 2 2 2 2 2 2 2	プログラミング応用 プログラミング応用実習 デジタル社会のデータリテラシー 情報セキュリティ データベース演習	前 後 前 前 後	2 2 2 2 2				28	
	価値創造 発展科目群						気象データ解析法 気象データ解析実習 数理モデリングとシミュレーション【社会・経済】 数理モデリングとシミュレーション【気象】 リモートセンシング 社会応用データサイエンス 空中写真の利用と活用 データビジュアライゼーション 不動産データ分析	前 後 前 後 前 前 前 後 後	2 2 2 2 2 2 2 2				18	
	価値創造 基礎科目群			データ分析のための物理Ⅰ データ分析のための物理Ⅱ 気象学 計量犯罪学 空間情報システム学 空間情報システム学実習 統計データと地図表現	前 後 後 前 前 後 後	2 2 2 2 2 2 2							14	
	専門基礎 科目群	データサイエンス入門 データサイエンティストの世界 情報倫理 AI入門Ⅰ AI入門Ⅱ 微積分学 微積分学演習 情報科学Ⅰ プログラミング基礎 プログラミング基礎実習 ミクロ経済学 マクロ経済学 経営学 データサイエンスと価値創造 社会と統計 自然科学	前 後 前 前 後 前 後 前 後 前 後 前 後 前 後 後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2										32
	一般教育科目群： 人文・社会・自然*1						心理学概説Ⅰ 心理学概説Ⅱ	前 後	2 2					4
	外国語コミュニケーション 科目群				実践英語Ⅰ 実践英語Ⅱ	前 後	2 2							4
	スポーツと保健科学 科目群*2													
	キャリア科目群				キャリア開発基礎講座Ⅰ キャリア開発基礎講座Ⅱ	前 後	2 2	キャリア開発基礎講座Ⅲ	前	2				6
フレッシュヤーズ 科目群	学修の基礎Ⅰ 学修の基礎Ⅱ 情報処理の基礎 基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ	前 後 前 前 後	2 2 2 2 2										10	
総単位数			42			42			44			8	136	
年間履修登録単位の上限			42			44			44			36		

*1：一般教育科目群：人文・社会・自然は、履修の一例である。

*2：スポーツと保健科学科目群は、履修の一例である。

教養的科目24単位以上、専門科目80単位以上、これらの合計で124単位以上修得すること、教養的科目は24単位以上44単位までを卒業要件の単位に含めることができる。専門科目は80単位以上100単位までを卒業要件の単位に含めることができる。

教養的科目では、フレッシュヤーズ科目群の必修10単位、外国語コミュニケーション科目群の必修4単位を含むこと。

専門科目では、専門基礎科目群から必修を含む26単位以上、データサイエンス科目群データサイエンス基礎から必修を含む14単位以上、同科目群データサイエンス発展から4単位以上、価値創造科目群価値創造基礎から6単位以上、

同科目群価値創造発展から4単位以上、演習科目群から必修を含む12単位以上を修得すること。

なお、配当年次は、履修開始学年を示す。（年間履修登録単位の上限：1年次42単位（半期CAP24単位）、2年次44単位（半期CAP26単位）、3年次44単位（半期CAP26単位）、4年次36単位（半期CAP22単位））

【資料 9. 履修モデル】

履修モデル4 スポーツモデル（スポーツ業界で活躍するデータサイエンティストを目指すモデル）

科目の種類	1年			2年			3年			4年			総単位数	
	科目名	開講期	単位	科目名	開講期	単位	科目名	開講期	単位	科目名	開講期	単位		
専 門 科 目	演習科目群						ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ インターンシップ	前 後 通	2 2 2	ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ 卒業論文・卒業研究	前 後 通	2 2 4	14	
	データサイエンス 発展科目群						データサイエンス特論 情報と産業	前 後	2 2				4	
	データサイエンス 基礎科目群			データベース基礎 線形代数 線形代数演習 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 統計学実習Ⅰ 統計学実習Ⅱ 情報科学Ⅱ 情報と職業	前 前 後 前 後 前 後 前 後	2 2 2 2 2 2 2 2 2	プログラミング応用 プログラミング応用実習 デジタル社会のデータリテラシー 情報セキュリティ	前 後 前 後	2 2 2 2				26	
	価値創造 発展科目群						スポーツアナリティクスⅠ スポーツアナリティクスⅡ スポーツモニタリング データサイエンスによるスポーツコーチング	前 後 前 後	2 2 2 2				8	
	価値創造 基礎科目群			スポーツデータ分析のためのプログラミング データによる戦略・戦略Ⅰ データによる戦略・戦略Ⅱ コンディショニング演習 コーチング演習	前 前 後 前 後	2 2 2 2 2							10	
	専門基礎 科目群	データサイエンス入門 データサイエンティストの世界 情報倫理 AI入門Ⅰ AI入門Ⅱ 微分積分学 微分積分学演習 情報科学Ⅰ プログラミング基礎 プログラミング基礎実習 ミクロ経済学 マクロ経済学 経営学 データサイエンスと価値創造 アスリートのためのデータサイエンス トレーニング科学	前 後 前 前 後 前 後 前 後 前 後 前 後 前 後 前 後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	インターネットと法	前 前 後 前 後	2 2 2 2 2							34
	一般教育科目群： 人文・社会・自然*1						法学入門【日本国憲法を含む】 現代日本の政治と社会	前 後	2 2					4
	外国語コミュニケーション科目群				実践英語Ⅰ 実践英語Ⅱ	前 後	2 2							4
	スポーツと保健科学 科目群*2				スポーツと科学	前	2	健康スポーツ野外実習 健康スポーツ実習Ⅰ 健康スポーツ実習Ⅱ	前 前 後	1 1 1				5
	キャリア科目群				キャリア開発基礎講座Ⅰ キャリア開発基礎講座Ⅱ	前 後	2 2		前	2				6
フレッシュヤーズ 科目群			字修の基礎Ⅰ 字修の基礎Ⅱ 情報処理の基礎 基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ	前 後 前 前 後	2 2 2 2 2								10	
総単位数			42			40			35			8	125	
年間履修登録単位の上限			42			44			44			36		

*1：一般教育科目群：人文・社会・自然は、履修の一例である。

*2：スポーツと保健科学科目群は、履修の一例である。

教養的科目24単位以上、専門科目80単位以上、これらの合計で124単位以上修得すること。教養的科目は24単位以上44単位までを卒業要件の単位に含めることができる。専門科目は80単位以上100単位までを卒業要件の単位に含めることができる。

教養的科目では、フレッシュヤーズ科目群の必修10単位、外国語コミュニケーション科目群の必修4単位を含むこと。

専門科目では、専門基礎科目群から必修を含む26単位以上、データサイエンス科目群データサイエンス基礎から必修を含む14単位以上、同科目群データサイエンス発展から4単位以上、価値創造科目群価値創造基礎から6単位以上、

同科目群価値創造発展から4単位以上、演習科目群から必修を含む12単位以上を修得すること。

なお、配当年次は、履修開始学年を示す。（年間履修登録単位の上限：1年次42単位（半期CAP24単位）、2年次44単位（半期CAP26単位）、3年次44単位（半期CAP26単位）、4年次36単位（半期CAP22単位））

履修モデル5 情報モデル（情報産業で活躍するデータサイエンティストを目指すモデル）

科目の種類	1年			2年			3年			4年			総単位数	
	科目名	開講期	単位	科目名	開講期	単位	科目名	開講期	単位	科目名	開講期	単位		
専 門 科 目	演習科目群						ゼミナールⅠ	前	2	ゼミナールⅢ	前	2	14	
							ゼミナールⅡ	後	2	ゼミナールⅣ	後	2		
							インターンシップ	通	2	卒業論文・卒業研究	通	4		
	データサイエンス 発展						インターネットデータ収集技術	前	2					22
							機械学習Ⅱ	前	2					
							テキストマイニングⅠ	前	2					
						テキストマイニングⅡ	後	2						
						特微量エンジニアリング	後	2						
						応用数学	前	2						
データサイエンス 基礎				情報科学Ⅱ	前	2	デジタル社会のデータリテラシー	前	2			30		
				ネットワーク理論	後	2	情報セキュリティ	後	2					
				データベース基礎	前	2								
				データベース演習	後	2								
				機械学習Ⅰ	後	2								
				プログラミング応用	前	2								
				プログラミング応用実習	後	2								
				線形代数	前	2								
				線形代数演習	後	2								
				統計学Ⅰ	前	2								
				統計学Ⅱ	後	2								
				統計学実習Ⅰ	前	2								
				統計学実習Ⅱ	後	2								
価値創造 発展							E BPM	前	2			8		
							実証経済分析	後	2					
							経済統計Ⅰ	前	2					
価値創造 基礎				計量経済学	前	2						6		
				応用計量経済学	後	2								
				経済指標の読み方	前	2								
専 門 基 礎 科 目 群	データサイエンス入門	前	2	インターネットと法	後	2						32		
	データサイエンティストの世界	後	2											
	情報倫理	前	2											
	AI入門Ⅰ	前	2											
	AI入門Ⅱ	後	2											
	微分積分学	前	2											
	微分積分学演習	後	2											
	情報科学Ⅰ	後	2											
	情報処理の応用	後	2											
	プログラミング基礎	前	2											
	プログラミング基礎実習	後	2											
	ミクロ経済学	前	2											
	マクロ経済学	後	2											
経営学	前	2												
データサイエンスと価値創造	後	2												
教 養 的 科 目	一般教育科目群： 人文・社会・自然*1			法学入門〔日本国憲法を含む〕	前	2	社会学概説	前	2			24		
	外国語コミュニケーション科目群			実践英語Ⅰ	前	2								
				実践英語Ⅱ	後	2								
	スポーツと保健科学 科目群*2													
	キャリア科目群			キャリア開発基礎講座Ⅰ	前	2	キャリア開発基礎講座Ⅲ	前	2					
			キャリア開発基礎講座Ⅱ	後	2									
フレッシュヤーズ 科目群			学修の基礎Ⅰ	前	2						10			
			学修の基礎Ⅱ	後	2									
			情報処理の基礎	前	2									
			基礎英語Ⅰ	前	2									
			基礎英語Ⅱ	後	2									
総単位数	40			44			44			8			136	
年間履修登録単位の上限	42			44			44			36				

*1：一般教育科目群：人文・社会・自然は、履修の一例である。

*2：スポーツと保健科学科目群は、履修の一例である。

教養的科目24単位以上、専門科目80単位以上、これらの合計で124単位以上を修得すること。教養的科目は24単位以上44単位までを卒業要件の単位に含めることができる。専門科目は80単位以上100単位までを卒業要件の単位に含めることができる。教養的科目では、フレッシュヤーズ科目群の必修10単位、外国語コミュニケーション科目群の必修4単位を含むこと。

専門科目では、専門基礎科目群から必修を含む26単位以上、データサイエンス科目群データサイエンス基礎から必修を含む14単位以上、同科目群データサイエンス発展から4単位以上、価値創造科目群価値創造基礎から6単位以上、同科目群価値創造発展から4単位以上、演習科目群から必修を含む12単位以上を修得すること。

なお、配当年次は、履修開始学年を示す。（年間履修登録単位の上限：1年次42単位（半期CAP24単位）、2年次44単位（半期CAP26単位）、3年次44単位（半期CAP26単位）、4年次36単位（半期CAP22単位））

2021年度時間割

	1 9:00~10:30				2 10:40~12:10				3 12:50~14:20				4 14:30~16:00				5 16:10~17:40								
	教室	科目名	期間	担当	区分	教室	科目名	期間	担当	区分	教室	科目名	期間	担当	区分	教室	科目名	期間	担当	区分					
	月	A101 A205 A415 A414	情報倫理(必) 社会調査の基礎 トレーニング科学A トレーニング科学B	1前 1後 1後 1後	白木 洋平 松尾 忠直 永田 聡典 宮崎 善幸	専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・専門基礎	A101	学修の基礎Ⅰ(必) 学修の基礎Ⅱ(必)	1前 1後	北村 行伸 北村 行伸	教養・外国語 教養・外国語	A203	インターネットと法 自然科学	1後 1後	南部 あゆみ 平田 英隆	専門・専門基礎 専門・専門基礎	A309 A306 A418 A203 A302	実践日本語ⅠB 実践日本語ⅡB 哲学とは何かA 哲学の基本諸問題A スポーツと科学	1前 1後 1前 1後 1前	齊藤 明美 齊藤 明美 白井 雅人 白井 雅人 永田 聡典	教養・外国語 教養・外国語 教養・一般・人文 教養・一般・人文 教養・スポーツ	A416 A302 A202 A301 A301 A203	実践日本語ⅠA 実践日本語ⅡA 哲学とは何かB 哲学の基本諸問題B 法学入門〔日本国憲法を含む〕 法学概説 社会と統計	1前 1後 1前 1後 1前 1後	洪沢 紀生子 洪沢 紀生子 永野 潤 永野 潤 位田 央 位田 央 辻村 雅子
火	A302 A305 A417 A418 A302 A302 A307	基礎英語ⅠA(必) 基礎英語ⅠC(必) 基礎英語ⅠE(必) 基礎英語ⅡA(必) 基礎英語ⅡC(必) 基礎英語ⅡE(必)	1前 1前 1前 1後 1後 1後	亀井ダイスケ(特別) 福丸ハルカ ジョセフ トロン Ford Robert Arthur 亀井ダイスケ(特別) 福丸ハルカ ジョセフ トロン Ford Robert Arthur	教養・フロンティア 教養・フロンティア 教養・フロンティア 教養・フロンティア 教養・フロンティア 教養・フロンティア	1301 A307 A417 A304 A302 A305 A414	基礎英語ⅠD(必) 基礎英語ⅠF(必) 基礎英語ⅠH(必) 基礎英語ⅡD(必) 基礎英語ⅡF(必) 基礎英語ⅡH(必) 発達心理学入門A	1前 1前 1前 1後 1後 1後 1前	福丸ハルカ ジョセフ トロン Ford Robert Arthur 森川 慶子 福丸ハルカ ジョセフ トロン Ford Robert Arthur 森川 慶子 石川(柳田) 茜恵	教養・フロンティア 教養・フロンティア 教養・フロンティア 教養・フロンティア 教養・フロンティア 教養・フロンティア 教養・一般・人文	A419 1306 A401 A204	基礎英語ⅠⅠ(必) 基礎英語ⅡⅠ(必) 心理学概説Ⅰ 心理学概説Ⅱ	1前 1後 1前 1後	森川 慶子 森川 慶子 石川(柳田) 茜恵 石川(柳田) 茜恵	教養・フロンティア 教養・フロンティア 教養・一般・人文 教養・一般・人文	A414	プログラミング基礎(必)	1前	相馬 亘	専門・専門基礎	1304 1303 1301 A303 A203 A203 A303 A302 A304 A306 A204	基礎英語ⅠB(必) 基礎英語ⅠG(必) 基礎英語ⅡB(必) 基礎英語ⅡG(必) 発達心理学入門B 臨床心理学入門 健康スポーツ実習ⅠA 健康スポーツ実習ⅠB 健康スポーツ実習ⅡA 健康スポーツ実習ⅡB 観光学	1前 1前 1後 1後 1前 1後 1前 1前 1後 1後 1後	福丸ハルカ ジョセフ トロン Ford Robert Arthur 福丸ハルカ ジョセフ トロン Ford Robert Arthur 荒井 俊行 石川(柳田) 茜恵 永田 聡典 西谷 善子 永田 聡典 西谷 善子 大井 達雄	教養・フロンティア 教養・フロンティア 教養・フロンティア 教養・フロンティア 教養・一般・人文 教養・一般・人文 教養・スポーツ 教養・スポーツ 教養・スポーツ 教養・スポーツ 専門・専門基礎
水	A101	データサイエンス入門(必)	1前	北村 行伸	専門・専門基礎	A205 A204	情報科学Ⅰ(必) データサイエンスと価値創造(必)	1後 1前	白木 洋平 北村 行伸	専門・専門基礎 専門・専門基礎	A303 A303 A304 A304 A201 A403	フランスの言語と文化Ⅰ フランスの言語と文化Ⅱ 中国の言語と文化Ⅰ 中国の言語と文化Ⅱ キャリア開発基礎講座ⅡA キャリア開発基礎講座ⅡB 微分積分学演習D(必)(2限目)	1前 1後 1前 1後 1後 1後 1後	岡本 健 岡本 健 賀 貝 賀 貝 大山 雅嗣 友永 昌治	教養・外国語 教養・外国語 教養・外国語 教養・外国語 教養・キャリア 教養・キャリア 専門・専門基礎	A305 A304 A303 A303 A303 A403	コリアの言語と文化Ⅰ コリアの言語と文化Ⅱ キャリア開発基礎講座ⅠA キャリア開発基礎講座ⅠB 微分積分学演習D(必)(2限目)	1前 1後 1前 1後 1後	金 娜玄 金 娜玄 戸森 優季 大山 雅嗣 友永 昌治	教養・外国語 教養・外国語 教養・キャリア 教養・キャリア 専門・専門基礎	A302 A302 A202 A202 A301 A301	ドイツの言語と文化Ⅰ ドイツの言語と文化Ⅱ 日本の自然と風土 日本の生活と文化 キャリア開発基礎講座ⅠB キャリア開発基礎講座ⅠC	1前 1後 1前 1後 1前 1後	竹村 恭一郎 竹村 恭一郎 齊藤 明美 齊藤 明美 戸森 優季 大山 雅嗣	教養・外国語 教養・外国語 教養・外国語 教養・外国語 教養・キャリア 教養・キャリア

2021年度時間割

	1 9:00~10:30				2 10:40~12:10				3 12:50~14:20				4 14:30~16:00				5 16:10~17:40								
	教室	科目名	期間	担当	区分	教室	科目名	期間	担当	区分	教室	科目名	期間	担当	区分	教室	科目名	期間	担当	区分					
	木	A104 A201 2101 A306 A204 A205 A204 A205	情報処理の基礎C(必) 歴史学概説A 史学方法論A 文学入門 民法入門 基礎数学 情報処理の応用A 情報処理の応用B	1前 1前 1後 1前 1前 1前 1後 1後	三島 啓雄 亀井ダイナ科長(現職) 亀井ダイナ科長(現職) 吉村 純司 南部 あゆみ 小林 美千代 渡辺(山口) 美智子 成塚 拓真	専修・一般・人文 専修・一般・人文 専修・一般・人文 専修・一般・人文 専修・一般・社会 専修・一般・自然 専門・専門基礎 専門・専門基礎	A415 A302 A310 A414 A413 A412 A402 A404 A405	情報処理の基礎A(必) 歴史学概説B 政治学概説 近代科学の成立 微分積分学演習A(必)(1限目) 微分積分学演習B(必)(1限目) 微分積分学演習C(必)(1限目) 微分積分学演習E(必)(1限目) 微分積分学演習F(必)(1限目)	1前 1前 1前 1前 1後 1後 1後 1後 1後	白木 洋平 小泉 吉永 内田 智 鈴木パーカー 明日香 山下 倫範 佐久間 貴士 青木 和昭 友永 昌治 小林 美千代	専修・フロンティア 専修・一般・人文 専修・一般・社会 専修・一般・自然 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・専門基礎	A303 A203 A413 A412 A402 A404 A405	情報処理の基礎E(必) 生物学の世界 微分積分学演習A(必)(2限目) 微分積分学演習B(必)(2限目) 微分積分学演習C(必)(2限目) 微分積分学演習E(必)(2限目) 微分積分学演習F(必)(2限目)	1前 1前 1後 1後 1後 1後 1後	木川 明彦 米林 仲 山下 倫範 佐久間 貴士 青木 和昭 友永 昌治 小林 美千代	専修・フロンティア 専修・一般・自然 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・専門基礎	A310 A305 A310 A308 A101	情報処理の基礎B(必) 環境社会学入門 物理学の世界 基礎統計学 アスリートのためのデータサイエンス	1前 1後 1後 1前 1後	三島 啓雄 西谷内 博美 家富 洋 小林 美千代 渡辺(山口) 美智子	専修・フロンティア 専修・一般・社会 専修・一般・自然 専修・一般・自然 専門・専門基礎	A104 A101	情報処理の基礎D(必) 経営学(必)	1前 1後	木川 明彦 伊藤 善夫
金	A302 2101 A417 A418 A310 A309 A205 A415 A101 A203 A203	基礎英語 I A(必) 基礎英語 I C(必) 基礎英語 I E(必) 基礎英語 II A(必) 基礎英語 II C(必) 基礎英語 II E(必) 社会心理学入門 生物多様性と社会 微分積分学A(必) ミクロ経済学A(必) マクロ経済学A(必)	1前 1前 1前 1後 1後 1後 1後 1前 1前 1前 1後	亀井ダイナ科長(現職) 鈴木パーカー ジョセフ トリン Ford Robert Arthur 亀井ダイナ科長(現職) 鈴木パーカー ジョセフ トリン Ford Robert Arthur 九島 紀子 伊藤 健彦 山下 倫範 西崎 文平 西崎 文平	専修・フロンティア 専修・フロンティア 専修・フロンティア 専修・フロンティア 専修・フロンティア 専修・一般・社会 専修・一般・社会 専修・一般・自然 専門・専門基礎 専門・専門基礎	1301 1302 A419 A310 A414 A304 A202 A205	基礎英語 I D(必) 基礎英語 I F(必) 基礎英語 I H(必) 基礎英語 II D(必) 基礎英語 II F(必) 基礎英語 II H(必) ミクロ経済学B(必) マクロ経済学B(必)	1前 1前 1前 1後 1後 1後 1前 1後	鈴木パーカー ジョセフ トリン Ford Robert Arthur 森川 慶子 鈴木パーカー ジョセフ トリン Ford Robert Arthur 森川 慶子 西崎 文平 西崎 文平	専修・フロンティア 専修・フロンティア 専修・フロンティア 専修・フロンティア 専修・フロンティア 専修・一般・社会 専門・専門基礎 専門・専門基礎	A415 1306 A201 A204	基礎英語 I I(必) 基礎英語 II I(必) プログラミング基礎実習A(必) プログラミング基礎実習C(必)	1前 1後 1後 1後	森川 慶子 森川 慶子 三島 啓雄 木川 明彦	専修・フロンティア 専修・フロンティア 専門・専門基礎 専門・専門基礎	A205 A204 A303 A414 A201 A202	経済学概説 現代日本の経済と社会 環境科学 気象と社会 プログラミング基礎実習B(必) プログラミング基礎実習D(必)	1前 1後 1前 1後 1後 1後	宮内 環 宮内 環 平田 英隆 平田 英隆 三島 啓雄 木川 明彦	専修・一般・社会 専修・一般・社会 専修・一般・自然 専修・一般・自然 専門・専門基礎 専門・専門基礎	1304 1303 A419 1303 A303 A204	基礎英語 I B(必) 基礎英語 I G(必) 基礎英語 II B(必) 基礎英語 II G(必) 仏教の思想と歴史 現代社会と仏教 社会学概説 プログラミング基礎実習E(必)	1前 1前 1後 1後 1前 1後 1前 1後	鈴木パーカー ジョセフ トリン Ford Robert Arthur 鈴木パーカー ジョセフ トリン Ford Robert Arthur 三友 量順 三友 量順 原田 豊 相馬 亘	専修・フロンティア 専修・フロンティア 専修・フロンティア 専修・フロンティア 専修・一般・人文 専修・一般・人文 専修・一般・社会 専門・専門基礎
土	A101	微分積分学B(必)	1前	山下 倫範	専門・専門基礎	A101 A309 A202	史学方法論B 比較文学論 現代日本の政治と社会	1後 1後 1後	小泉 吉永 吉村 純司 井之口 智亮	専修・一般・人文 専修・一般・人文 専修・一般・社会	A101 A201	A I 入門 I (必) A I 入門 II (必)	1前 1後	高部 勲 高部 勲	専門・専門基礎 専門・専門基礎	A101	データサイエンティストの世界(必)	1後	山下 倫範	専門・専門基礎					

2022年度時間割

	1 9:00～10:30				2 10:40～12:10				3 12:50～14:20				4 14:30～16:00				5 16:10～17:40								
	教室	科目名	期間	担当	区分	教室	科目名	期間	担当	区分	教室	科目名	期間	担当	区分	教室	科目名	期間	担当	区分					
	月	A101 A205 A415 A414 A201 A305 A203	情報倫理(必) 社会調査の基礎 トレーニング科学A トレーニング科学B 情報セキュリティ 統計調査法 金融リテラシー	1前 1後 1後 1後 2後 2前 2前	白木 洋平 松尾 忠直 永田 聡典 宮崎 善幸 白木 洋平 高部 勲 辻村 雅子	専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎	A101 A101 A202 A309 A303	学修の基礎 I (必) 学修の基礎 II (必) 観光経済学 コンディショニング演習A コーチング演習	1前 1後 2前 2前 2後	北村 行伸 北村 行伸 大井 達雄 宮崎 善幸 宮崎 善幸	専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎	A101 A203 A304 A309	インターネットと法 自然科学 応用計量経済学 コンディショニング演習B	1後 1後 2前 2前	南部 あゆみ 平田 英隆 北村 行伸 永田 聡典	専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎	A309 A306 A418 A203 A302 A101 A101	実践日本語 I B 実践日本語 II B 哲学とは何かA 哲学の基本諸問題A スポーツと科学 統計学 I A (必) 統計学 II A (必)	1前 1後 1前 1後 1前 2前 2後	齊藤 明美 齊藤 明美 白井 雅人 白井 雅人 永田 聡典 家富 洋 家富 洋	教養・外国語 教養・外国語 教養・一般・人文 教養・一般・人文 教養・スポーツ 専門・DS基礎 専門・DS基礎	A416 A302 A202 A202 A301 A301 A203 A201 A201	実践日本語 I A 実践日本語 II A 哲学とは何かB 哲学の基本諸問題B 法学入門 [日本国憲法を含む] 法律学概説 社会と統計 統計学 I B (必) 統計学 II B (必)	1前 1後 1前 1後 1前 1前 1後 2前 2後	洪沢 妃生子 洪沢 妃生子 永野 潤 永野 潤 位田 央 位田 央 辻村 雅子 家富 洋 家富 洋
火	A302 A305 A417 A418 A302 A307 A310 A203 A205 A104 A303	基礎英語 I A (必) 基礎英語 I C (必) 基礎英語 I E (必) 基礎英語 II A (必) 基礎英語 II C (必) 基礎英語 II E (必) 生涯発達心理学 経済指標の読み方 観光統計 気象学 スポーツデータ分析のためのプログラミング	1前 1前 1前 1後 1後 1後 2後 2前 2前 2前 2前	亀井ダイスケ(相談) 福井ハルヒ ジョセフ トリン Ford Robert Arthur 亀井ダイスケ(相談) Ford Robert Arthur 石川(柳田) 茜恵 辻村 雅子 大井 達雄 平田 英隆 成塚 拓真	専門・フロンティア 専門・フロンティア 専門・フロンティア 専門・フロンティア 専門・フロンティア 教養・一般・人文 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎	L301 A307 A417 A304 A302 A305 A414 A205 A104	基礎英語 I D (必) 基礎英語 I F (必) 基礎英語 I H (必) 基礎英語 II D (必) 基礎英語 II F (必) 基礎英語 II H (必) 発達心理学入門A 地域経済 空間情報システム学	1前 1前 1前 1後 1後 1後 1前 2前 2前	Ford Robert Arthur Ford Robert Arthur 森川 慶子 Ford Robert Arthur 森川 慶子 石川(柳田) 茜恵 西崎 文平 原田 豊	専門・フロンティア 専門・フロンティア 専門・フロンティア 専門・フロンティア 専門・フロンティア 教養・一般・人文 専門・DS基礎 専門・DS基礎	A419 L306 A401 A204 A201 A301 A104	基礎英語 I I (必) 基礎英語 II I (必) 心理学概説 I 心理学概説 II 情報科学 II 経営組織 空間情報システム学実習(1限目)	1前 1後 1前 1後 2後 2後	森川 慶子 森川 慶子 石川(柳田) 茜恵 石川(柳田) 茜恵 相馬 亘 伊藤 善夫 白木 洋平	専門・フロンティア 専門・フロンティア 教養・一般・人文 教養・一般・人文 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎	A414 A202 A101 A301 A102 A415	プログラミング基礎(必) 計量経済学 地域分析 国際観光政策 計量犯罪学 空間情報システム学実習(2限目)	1前 2前 2後 2後 2前 2後	相馬 亘 坂本 和靖 櫻井 一宏 小堀 守 原田 豊 白木 洋平	専門・専門基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎	L304 L303 L301 A303 A203 A203 A303 A304 A306 A204 A205 A104 A101 A201 A414	基礎英語 I B (必) 基礎英語 I G (必) 基礎英語 II B (必) 基礎英語 II G (必) 発達心理学入門B 臨床心理学入門 健康スポーツ実習 1 A 健康スポーツ実習 1 B 健康スポーツ実習 2 A 健康スポーツ実習 2 B 観光学 デジタル社会のデータリテラシー 機械学習 I 経営管理 データ分析のための物理 I データ分析のための物理 II	1前 1前 1後 1後 1前 1後 1前 1後 1後 1後 2前 2後 2前 2前 2後	福井ハルヒ ジョセフ トリン Ford Robert Arthur 福井ハルヒ ジョセフ トリン Ford Robert Arthur 荒井 俊行 石川(柳田) 茜恵 永田 聡典 西谷 善子 永田 聡典 西谷 善子 大井 達雄 渡辺(山口) 実智子 相馬 亘 成塚 拓真 成塚 拓真	専門・フロンティア 専門・フロンティア 専門・フロンティア 専門・フロンティア 教養・一般・人文 教養・一般・人文 教養・スポーツ 教養・スポーツ 教養・スポーツ 教養・スポーツ 専門・専門基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎
水	A101 A414 A301 A304 A306 A307 A301 A304 A204 A418 A202	データサイエンス入門(必) データによる戦術・戦略 I A データによる戦術・戦略 I B データによる戦術・戦略 I C データによる戦術・戦略 I D データによる戦術・戦略 I E データによる戦術・戦略 II A データによる戦術・戦略 II B データによる戦術・戦略 II C データによる戦術・戦略 II D データによる戦術・戦略 II E データによる戦術・戦略 II F	1前 2前 2前 2前 2前 2前 2後 2後 2後 2後 2後 2後	北村 行伸 坂田 精二郎 杉田 守 堀越 正己 宮崎 善幸 中村 孝生 坂田 精二郎 杉田 守 堀越 正己 宮崎 善幸 中村 孝生	専門・専門基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎	A205 A204 A205	情報科学 I (必) データサイエンスと価値創造(必) プログラミング応用	1後 1前 2前	白木 洋平 北村 行伸 吉岡 茂	専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・DS基礎	A303 A303 A304 A304 A201 A403 A102 A205 A415	フランスの言語と文化 I フランスの言語と文化 II 中国の言語と文化 I 中国の言語と文化 II キャリア開発基礎講座 II A キャリア開発基礎講座 II B 微分積分学演習D(必)(1限目) マルチメディア実習 プログラミング応用実習A プログラミング応用実習C	1前 1後 1前 1後 1後 1後 2後 2後 2後	岡本 健 岡本 健 賀 貝 賀 貝 大山 雅嗣 友永 昌治 吉岡 茂 三島 啓雄 木川 明彦	教養・外国語 教養・外国語 教養・外国語 教養・外国語 教養・キャリア 教養・キャリア 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎	A305 A304 A303 A303 A403 A104 A415 A402	コリアの言語と文化 I コリアの言語と文化 II キャリア開発基礎講座 I A キャリア開発基礎講座 II B 微分積分学演習D(必)(2限目) プログラミング応用実習B プログラミング応用実習D 線形代数学演習C(必)(1限目)	1前 1後 1前 1後 1後 2後 2後 2後	金 娜玄 金 娜玄 戸森 優季 大山 雅嗣 友永 昌治 三島 啓雄 木川 明彦 青木 和昭	教養・外国語 教養・外国語 教養・キャリア 教養・キャリア 専門・専門基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎	A302 A302 A202 A202 A301 A301 A418 A102 A402	ドイツの言語と文化 I ドイツの言語と文化 II 日本の自然と風土 日本の生活と文化 キャリア開発基礎講座 I B キャリア開発基礎講座 II C 情報と職業 マルチメディア基礎 線形代数学演習C(必)(2限目)	1前 1後 1後 1後 1前 1後 2前 2前 2後	竹村 恭一郎 竹村 恭一郎 齊藤 明美 齊藤 明美 戸森 優季 大山 雅嗣 吉岡 茂 吉岡 茂 青木 和昭	教養・外国語 教養・外国語 教養・外国語 教養・外国語 教養・キャリア 教養・キャリア 専門・DS基礎 専門・DS基礎 専門・DS基礎

2022年度時間割

	1 9:00~10:30				2 10:40~12:10				3 12:50~14:20				4 14:30~16:00				5 16:10~17:40																																		
	教室	科目名	担当	区分	教室	科目名	担当	区分	教室	科目名	担当	区分	教室	科目名	担当	区分	教室	科目名	担当	区分																															
	木	A104 A201 2101 A204 A205 A204 A205 A415	情報処理の基礎C(必) 歴史学概説A 史学方法論A 文学入門 民法入門 基礎数学 情報処理の応用A 情報処理の応用B 観光データ分析	1前 1前 1後 1前 1前 1前 1後 1後 2後	三島 啓雄 鳥井ダイスケ(現職) 鳥井ダイスケ(現職) 吉村 純司 南部 小美千代 小林 美千代 渡辺(山口) 美智子 成塚 拓真 大井 達雄	専修・フロンティア 専修・一般・人文 専修・一般・人文 専修・一般・人文 専修・一般・社会 専修・一般・自然 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・専門基礎	A415 A302 A310 A414 A413 A412 A402 A404 A405 A101 A205 A414	情報処理の基礎A(必) 歴史学概説B 政治学概説 近代科学の成立 微分積分学演習A(必)(1限目) 微分積分学演習B(必)(1限目) 微分積分学演習C(必)(1限目) 微分積分学演習E(必)(1限目) 微分積分学演習F(必)(1限目) ネットワーク理論 データベース演習A 統計データと地図表現	1前 1前 1前 1前 1後 1後 1後 1後 1後 2後 2後	白木 洋平 小泉 吉永 内田 智 鈴木バウカー 明日香 山下 倫範 佐久間 貴士 青木 和昭 友永 昌治 小林 美千代 家富 洋 白川 清美 松尾 忠直	専修・フロンティア 専修・一般・人文 専修・一般・人文 専修・一般・自然 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・D.S基礎 専門・D.S基礎 専門・D.S基礎	A303 A203 A413 A412 A402 A404 A405 A414 A301	情報処理の基礎E(必) 生物学の世界 微分積分学演習A(必)(2限目) 微分積分学演習B(必)(2限目) 微分積分学演習C(必)(2限目) 微分積分学演習E(必)(2限目) 微分積分学演習F(必)(2限目) データベース基礎B(必) 経営戦略	1前 1前 1後 1後 1後 1後 1後 2後	木川 明彦 米林 伸 山下 倫範 佐久間 貴士 青木 和昭 友永 昌治 小林 美千代 白川 清美 伊藤 善夫	専修・フロンティア 専修・一般・自然 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・D.S基礎 専門・D.S基礎	A310 A305 A310 A308 A101 A203 A413 A402 A403 A404	情報処理の基礎D(必) 環境社会学入門 物理学の世界 基礎統計学 アスリートのためのデータサイエンス データベース基礎A(必) 線形代数演習A(必)(1限目) 線形代数演習B(必)(1限目) 線形代数演習D(必)(1限目) 線形代数演習F(必)(1限目)	1前 1後 1後 1前 1後 2前 2後 2後 2後	三島 啓雄 西谷内 博美 家富 洋 小林 美千代 渡辺(山口) 美智子 白川 清美 山下 倫範 青木 和昭 友永 昌治 小林 美千代	専修・フロンティア 専修・一般・社会 専修・一般・自然 専修・一般・自然 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・D.S基礎 専門・D.S基礎 専門・D.S基礎 専門・D.S基礎	A104 A101 A205 A101 A413 A402 A403 A404	情報処理の基礎D(必) 経営学(必) データベース演習B 線形代数学A(必) 線形代数学演習A(必)(2限目) 線形代数学演習B(必)(2限目) 線形代数学演習D(必)(2限目) 線形代数学演習F(必)(2限目)	1前 1後 2後 2前 2後 2後 2後	木川 明彦 伊藤 善夫 白川 清美 山下 倫範 青木 和昭 友永 昌治 小林 美千代	専修・フロンティア 専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・D.S基礎 専門・D.S基礎 専門・D.S基礎 専門・D.S基礎	土	A309 A309 A101 A404	実践英語IB(必) 実践英語II B(必) 微分積分学B(必) 線形代数学演習E(必)(1限目)	2前 2後 1前 2後	鳥井ダイスケ(現職) 鳥井ダイスケ(現職) 山下 倫範 友永 昌治	専修・フロンティア 専修・フロンティア 専修・一般・社会 専門・専門基礎	A101 A309 A202 A101 A404	史学方法論B 比較文学論 現代日本の政治と社会 線形代数学B(必) 線形代数学演習E(必)(2限目)	1後 1後 1後 2前 2後	小泉 吉永 吉村 純司 井之口 智亮 山下 倫範 友永 昌治	専修・一般・人文 専修・一般・人文 専修・一般・社会 専門・D.S基礎 専門・D.S基礎	A101 A201 A413 A401 A412 A403 A404 A405	A I 入門 I(必) A I 入門 II(必) 統計学実習II A(必)(1限目) 統計学実習II B(必)(1限目) 統計学実習II C(必)(1限目) 統計学実習II D(必)(1限目) 統計学実習II E(必)(1限目) 統計学実習II F(必)(1限目)	1前 1後 1後 2後 2後 2後 2後	高部 勲 高部 勲 吉岡 茂 青木 和昭 三好 善彦 永田 清 青木 智子 友永 昌治	専門・専門基礎 専門・専門基礎 専門・D.S基礎 専門・D.S基礎 専門・D.S基礎 専門・D.S基礎 専門・D.S基礎 専門・D.S基礎	A413 A401 A413 A403 A404 A405	統計学実習II A(必)(2限目) 統計学実習II B(必)(2限目) 統計学実習II C(必)(2限目) 統計学実習II D(必)(2限目) 統計学実習II E(必)(2限目) 統計学実習II F(必)(2限目)	2後 2後 2後 2後 2後 2後	吉岡 茂 青木 和昭 三好 善彦 永田 清 青木 智子 友永 昌治	専門・D.S基礎 専門・D.S基礎 専門・D.S基礎 専門・D.S基礎 専門・D.S基礎 専門・D.S基礎	A101 A416	データサイエンティストの世界(必) スポーツツーリズム	1後 2後	山下 倫範 工藤 康宏

2023年度時間割

	1 9:00~10:30				2 10:40~12:10				3 12:50~14:20				4 14:30~16:00				5 16:10~17:40						
	教室	科目名	期間	担当	教室	科目名	期間	担当	教室	科目名	期間	担当	教室	科目名	期間	担当	教室	科目名	期間	担当			
				区分				区分				区分				区分				区分			
木	A104	情報処理の基礎C(必)	1前	三島 啓雄	A415	情報処理の基礎A(必)	1前	白木 洋平	A303	情報処理の基礎E(必)	1前	木川 明彦	A310	情報処理の基礎B(必)	1前	三島 啓雄	A104	情報処理の基礎D(必)	1前	木川 明彦			
	A201	歴史学概説A	1前	梶山ダイスケ	A302	歴史学概説B	1前	小泉 吉永	A304	不法行為入門	3前	南部 あゆみ	A301	実践英語Ⅲ	3前	野村(金久保) 忠理子	A101	経営学(必)	1前	伊藤 善夫			
	2101	法学方法論A	1後	吉村 純司	A310	政治学概説	1前	内田 智	A203	生物学の世界	1前	米林 伸	A301	実践英語Ⅳ	3後	野村(金久保) 忠理子	A205	データベース演習B	2後	白川 清美			
	A306	文学入門	1後	吉村 純司	A414	近代科学の成立	1前	鈴木バウカー 明日香	A413	微分積分学演習A(必)(2限目)	1後	山下 倫範	A305	環境社会学入門	1後	西谷内 博美	A101	線形代数学A(必)	1前	山下 倫範			
	A204	民法入門	1前	南部 あゆみ	A413	微分積分学演習A(必)(1限目)	1後	山下 倫範	A412	微分積分学演習B(必)(2限目)	1後	佐久間 貴士	A310	物理学の世界	1後	家富 洋	A413	線形代数学演習A(必)(2限目)	2後	山下 倫範			
	A205	基礎数学	1前	小林 美千代	A412	微分積分学演習B(必)(1限目)	1後	佐久間 貴士	A402	微分積分学演習C(必)(2限目)	1後	青木 和昭	A308	基礎統計学	1前	小林 美千代	A402	線形代数学演習B(必)(2限目)	2後	青木 和昭			
	A204	情報処理の応用A	1後	渡辺(山口) 美智子	A402	微分積分学演習C(必)(1限目)	1後	青木 和昭	A404	微分積分学演習E(必)(2限目)	1後	友永 昌治	A101	アスリートのためのデータサイエンス	1後	渡辺(山口) 美智子	A403	線形代数学演習D(必)(2限目)	2後	友永 昌治			
	A205	情報処理の応用B	1後	成塚 拓真	A404	微分積分学演習E(必)(1限目)	1後	友永 昌治	A405	微分積分学演習F(必)(2限目)	1後	小林 美千代	A203	データベース基礎A(必)	2前	白川 清美	A404	線形代数学演習D(必)(2限目)	2後	小林 美千代			
	A414	統計学Ⅲ	3前	家富 洋	A405	微分積分学演習F(必)(1限目)	1後	小林 美千代	A414	データベース基礎B(必)	2前	白川 清美	A413	線形代数学演習A(必)(1限目)	2後	山下 倫範	A205	データサイエンス特論	3前	相馬 亙			
	A415	観光データ分析	2後	大井 達雄	A101	ネットワーク理論	2後	家富 洋	A309	テキストマイニングⅠ	3前	上原 宏	A402	線形代数学演習B(必)(1限目)	2後	青木 和昭	A205	特微量エンジニアリング	3後	上原 宏			
	A101	観光マーケティング	3前	大井 達雄	A205	データベース演習A	2後	白川 清美	A301	経営戦略	2後	伊藤 善夫	A403	線形代数学演習D(必)(1限目)	2後	友永 昌治	A205	ホスピタリティマネジメント	3後	横田 憲三郎			
	A104	数値モデリングとシミュレーション【数英】	3後	平田 英隆	A414	統計データと地図表現	2後	松尾 忠直	A103	気象データ解析実習(2限目)	3後	平田 英隆	A404	線形代数学演習F(必)(1限目)	2後	小林 美千代							
					A103	気象データ解析実習(1限目)	2後	平田 英隆						1304	統計学Ⅳ	3後	白川 清美						
					A102	数値モデリングとシミュレーション【社会・経済】	3前	成塚 拓真															
金	A302	基礎英語ⅠA(必)	1前	梶山ダイスケ	1301	基礎英語ⅠD(必)	1前	梶山ダイスケ	A415	基礎英語ⅠI(必)	1前	森川 慶子	1301	実践英語ⅠD(必)	2前	森川 慶子	1304	基礎英語ⅠB(必)	1前	梶山ダイスケ			
	2101	基礎英語ⅠC(必)	1前	梶山ダイスケ	1302	基礎英語ⅠE(必)	1前	Ford Robert Arthur	1306	基礎英語ⅡI(必)	1後	森川 慶子	1302	実践英語ⅠF(必)	2前	森川 慶子	1303	基礎英語ⅠG(必)	1前	Ford Robert Arthur			
	A417	基礎英語ⅠE(必)	1前	Ford Robert Arthur	A419	基礎英語ⅠH(必)	1前	森川 慶子	1202	実践英語ⅠA(必)	2前	野村(金久保) 忠理子	1304	実践英語ⅠI(必)	2前	野村(金久保) 忠理子	A419	基礎英語ⅡB(必)	1後	梶山ダイスケ			
	A418	基礎英語ⅡA(必)	1後	梶山ダイスケ	A310	基礎英語ⅡD(必)	1後	梶山ダイスケ	1301	実践英語ⅠC(必)	2前	梶山ダイスケ	1301	実践英語ⅡD(必)	2後	梶山ダイスケ	1303	基礎英語ⅡG(必)	1後	Ford Robert Arthur			
	A310	基礎英語ⅡC(必)	1後	梶山ダイスケ	A414	基礎英語ⅡF(必)	1後	Ford Robert Arthur	1302	実践英語ⅠE(必)	2前	森川 慶子	1302	実践英語ⅡF(必)	2後	森川 慶子	1302	実践英語ⅠG(必)	2前	森川 慶子			
	A309	基礎英語ⅡE(必)	1後	Ford Robert Arthur	A304	基礎英語ⅡH(必)	1後	森川 慶子	1303	実践英語ⅠH(必)	2前	野村(金久保) 忠理子	1304	実践英語ⅡF(必)	2後	野村(金久保) 忠理子	1302	実践英語ⅡG(必)	2後	森川 慶子			
	A201	契約法入門	2後	南部 あゆみ	A202	ミクロ経済学B(必)	1前	西崎 文平	1202	実践英語ⅡA(必)	2前	梶山ダイスケ	A205	経済学概説	1前	宮内 環	A303	仏教の思想と歴史	1前	三友 量順			
	A205	社会心理学入門	1後	九島 紀子	A205	ミクロ経済学B(必)	1後	西崎 文平	1301	実践英語ⅡC(必)	2後	Ford Robert Arthur	A204	現代日本の経済と社会	1前	宮内 環	A303	現代社会と仏教	1後	三友 量順			
	A415	生物多様性と社会	1後	伊藤 健彦	A413	統計学実習ⅠA(必)(2限目)	2前	三島 啓雄	1302	実践英語ⅡE(必)	2後	Ford Robert Arthur	A303	環境科学	1前	平田 英隆	A204	社会学概説	1前	原田 豊			
	A101	微分積分学A(必)	1前	山下 倫範	A401	統計学実習ⅠB(必)(2限目)	2前	木川 明彦	1303	実践英語ⅡH(必)	2後	野村(金久保) 忠理子	A414	気象と社会	1後	平田 英隆	A201	プログラミング基礎実習E(必)	1後	相馬 亙			
	A203	ミクロ経済学A(必)	1前	西崎 文平	A402	統計学実習ⅠC(必)(2限目)	2前	青木 和昭	A201	プログラミング基礎実習A(必)	1後	三島 啓雄	A201	プログラミング基礎実習B(必)	1後	三島 啓雄	A308	社会調査の設計と実査	2後	高部 勲			
	A203	マクロ経済学A(必)	1後	西崎 文平	A303	統計学実習ⅠD(必)(2限目)	2前	三好 善彦	A204	プログラミング基礎実習C(必)	1後	木川 明彦	A202	プログラミング基礎実習D(必)	1後	木川 明彦	A204	テキストマイニングⅡ	3後	上原 宏			
	A413	統計学実習ⅠA(必)(1限目)	2前	三島 啓雄	A304	統計学実習ⅠE(必)(2限目)	2前	永田 清	A204	インターネットデータ収集技術	3前	上原 宏	A205	実証経済分析	3後	西崎 文平	A301	社会応用データサイエンス	3前	深谷 良治			
	A401	統計学実習ⅠB(必)(1限目)	2前	木川 明彦	A307	統計学実習ⅠF(必)(2限目)	2前	友永 昌治	A205	サービスデータサイエンス	2前	友永 昌治	A415	不動産データ分析	3後	大井 達雄							
	A402	統計学実習ⅠC(必)(1限目)	2前	青木 和昭	A310	経済統計Ⅰ	3前	辻村 雅子	A407	ゼミナールⅠC(必)	3前	山下 倫範											
	A301	統計学実習ⅠD(必)(1限目)	2前	三好 善彦	A302	経済統計Ⅱ	3後	辻村 雅子	A407	ゼミナールⅡC(必)	3後	山下 倫範											
	A419	統計学実習ⅠE(必)(1限目)	2前	永田 清																			
	A310	統計学実習ⅠF(必)(1限目)	2前	友永 昌治																			
	A205	応用数学	3前	山下 倫範																			
A201	金融データ分析	3前	辻村 雅子																				
A306	計量マーケティング	3前	渡辺(山口) 美智子																				
A309	空中写真の利用と活用	3前	松尾 忠直																				
土	A309	実践英語ⅠB(必)	2前	梶山ダイスケ	A101	史学方法論B	1後	小泉 吉永	A101	AⅠ入門Ⅰ(必)	1前	高部 勲	A413	統計学実習ⅡA(必)(2限目)	2後	吉岡 茂	A101	データサイエンティストの世界(必)	1後	山下 倫範			
	A309	実践英語ⅡB(必)	2前	梶山ダイスケ	A309	比較文学論	1後	吉村 純司	A201	AⅠ入門Ⅱ(必)	1後	高部 勲	A401	統計学実習ⅡB(必)(2限目)	2後	青木 和昭	A416	スポーツツーリズム	2後	工藤 康宏			
	A101	微分積分学B(必)	1前	山下 倫範	A202	現代日本の政治と社会	1後	井之口 智亮	A413	統計学実習ⅡA(必)(1限目)	2後	吉岡 茂	A413	統計学実習ⅡC(必)(2限目)	2後	三好 善彦							
	A404	線形代数学演習E(必)(1限目)	2後	友永 昌治	A101	線形代数学B(必)	2前	山下 倫範	A401	統計学実習ⅡB(必)(1限目)	2後	青木 和昭	A403	統計学実習ⅡD(必)(2限目)	2後	永田 清							
	A310	質的データ解析実習(1限目)	3後	吉岡 茂	A404	線形代数学演習E(必)(2限目)	2後	友永 昌治	A412	統計学実習ⅡC(必)(1限目)	2後	三好 善彦	A404	統計学実習ⅡE(必)(2限目)	2後	青木 智子							
	A307	データビジュアライゼーション	3後	上原 宏	A101	質的データ解析実習(2限目)	2後	吉岡 茂	A403	統計学実習ⅡD(必)(1限目)	2後	永田 清	A405	統計学実習ⅡF(必)(2限目)	2後	友永 昌治							
					A307	スポーツアナリティクスⅡB	3後	家富 洋	A404	統計学実習ⅡE(必)(1限目)	2後	青木 智子											
									A405	統計学実習ⅡF(必)(1限目)	2後	友永 昌治											

2024年度時間割

	1 9:00～10:30				2 10:40～12:10				3 12:50～14:20				4 14:30～16:00				5 16:10～17:40				
	教室	科目名	担当	区分	教室	科目名	担当	区分	教室	科目名	担当	区分	教室	科目名	担当	区分	教室	科目名	担当	区分	
	月	A101	情報倫理(必)	白木 洋平	専門・専門基礎	A101	学修の基礎Ⅰ(必)	北村 行伸	専門・外国語	A101	インターネットと法	1後 南部 あゆみ	専門・専門基礎	A309	実践日本語ⅠB	1前 齊藤 明美	教養・外国語	A416	実践日本語ⅠA	1前 津沢 紀生子	教養・外国語
A205	社会調査の基礎	1後 松尾 忠直	専門・専門基礎	A101	学修の基礎Ⅱ(必)	1後 北村 行伸	専門・外国語	A203	応用計量経済学	1後 平田 英隆	専門・専門基礎	A306	実践日本語ⅡB	1後 齊藤 明美	教養・外国語	A302	実践日本語ⅡA	1後 津沢 紀生子	教養・外国語		
A415	トレーニング科学A	1後 水田 聡典	専門・専門基礎	A305	社会調査実習Ⅰ	2後 北村 行伸	専門・外国語	A304	応用計量経済学	2後 北村 行伸	専門・専門基礎	A418	哲学とは何かA	1前 白井 雅人	教養・一般・人文	A202	哲学とは何かB	1前 水野 潤	教養・一般・人文		
A414	トレーニング科学B	1後 宮崎 善幸	専門・専門基礎	A202	観光経済学	2前 大井 達雄	専門・外国語	A309	コンディショニング演習B	2前 永田 聡典	専門・外国語	A203	哲学の基本諸問題A	1前 白井 雅人	教養・一般・人文	A202	哲学の基本諸問題B	1後 水野 潤	教養・一般・人文		
A201	情報セキュリティ	2後 白木 洋平	専門・D.S基礎	A309	コンディショニング演習A	2前 宮崎 善幸	専門・外国語	A302	スポーツモニタリングB	3前 宮崎 善幸	専門・外国語	A302	スポーツと科学	1前 永田 聡典	教養・スポーツ	A301	法学入門【日本国憲法を含む】	1前 位田 央	教養・一般・社会		
A305	統計調査法	2後 高部 勲	専門・D.S基礎	A303	コーチング演習	2後 宮崎 善幸	専門・外国語	A403	ゼミナールⅠF(必)	2後 家富 洋	専門・演習科目	A101	統計学ⅠA(必)	2前 家富 洋	専門・D.S基礎	A301	法理学概説	1後 位田 央	教養・一般・社会		
A204	社会調査実習Ⅱ	3後 高部 勲	専門・D.S基礎	A310	スポーツモニタリングA	3前 水田 聡典	専門・外国語	A404	ゼミナールⅠG(必)	3前 大井 達雄	専門・演習科目	A101	統計学ⅡA(必)	2後 家富 洋	専門・D.S基礎	A203	社会と統計	1後 辻村 雅子	専門・専門基礎		
A203	金融リテラシー	2前 辻村 雅子	専門・外国語	A403	ゼミナールⅠB(必)	3前 原田 豊	専門・演習科目	A405	ゼミナールⅠH(必)	3前 白川 清美	専門・演習科目	A201	統計学ⅠB(必)	3前 相馬 亘	専門・演習科目	A201	統計学ⅠB(必)	2前 家富 洋	専門・D.S基礎		
A202	E B P M	3前 北村 行伸	専門・外国語	A405	ゼミナールⅠD(必)	3前 西崎 文平	専門・演習科目	A406	ゼミナールⅠI(必)	3前 辻村 雅子	専門・演習科目	A412	ゼミナールⅠM(必)	3前 深田(山口) 美智子	専門・演習科目	A201	統計学ⅡB(必)	2前 家富 洋	専門・D.S基礎		
A303	スポーツアナリティクスⅠA	3前 成塚 拓真	専門・外国語	A403	ゼミナールⅡB(必)	3後 高部 勲	専門・演習科目	A407	ゼミナールⅠJ(必)	3前 高部 勲	専門・演習科目	A413	ゼミナールⅠN(必)	3前 南部 あゆみ	専門・演習科目	A407	ゼミナールⅠA(必)	3前 北村 行伸	専門・演習科目		
A307	スポーツアナリティクスⅠB	3前 家富 洋	専門・外国語	A405	ゼミナールⅡD(必)	3後 西崎 文平	専門・演習科目	A408	ゼミナールⅠK(必)	3前 伊藤 善夫	専門・演習科目	A402	ゼミナールⅠO(必)	3前 白木 洋平	専門・演習科目	A403	ゼミナールⅠR(必)	3前 平田 英隆	専門・演習科目		
A304	スポーツアナリティクスⅡA	3後 成塚 拓真	専門・外国語	A403	ゼミナールⅢO(必)	4前 白木 洋平	専門・演習科目	A410	ゼミナールⅠV(必)	3前 成塚 拓真	専門・演習科目	A417	ゼミナールⅠP(必)	3前 白木 洋平	専門・演習科目	A404	ゼミナールⅠS(必)	3前 松尾 忠直	専門・演習科目		
				A403	ゼミナールⅣO(必)	4後 白木 洋平	専門・演習科目	A403	ゼミナールⅠF(必)	3後 家富 洋	専門・演習科目	A404	ゼミナールⅠQ(必)	3前 宮崎 善幸	専門・演習科目	A405	ゼミナールⅠT(必)	3前 石川(柳田) 善恵	専門・演習科目		
								A404	ゼミナールⅠG(必)	3後 大井 達雄	専門・演習科目	A403	ゼミナールⅢL(必)	3後 相馬 亘	専門・演習科目	A406	ゼミナールⅠU(必)	3前 水田 聡典	専門・演習科目		
								A406	ゼミナールⅡH(必)	3後 白川 清美	専門・演習科目	A412	ゼミナールⅢM(必)	3後 深田(山口) 美智子	専門・演習科目	A408	ゼミナールⅡA(必)	3前 北村 行伸	専門・演習科目		
								A406	ゼミナールⅡI(必)	3後 辻村 雅子	専門・演習科目	A404	ゼミナールⅢN(必)	3後 南部 あゆみ	専門・演習科目	A403	ゼミナールⅡR(必)	3後 平田 英隆	専門・演習科目		
								A407	ゼミナールⅡJ(必)	3後 高部 勲	専門・演習科目	A402	ゼミナールⅢO(必)	3後 白木 洋平	専門・演習科目	A404	ゼミナールⅡS(必)	3後 松尾 忠直	専門・演習科目		
								A408	ゼミナールⅡK(必)	3後 伊藤 善夫	専門・演習科目	A417	ゼミナールⅢP(必)	3後 宮崎 善幸	専門・演習科目	A405	ゼミナールⅡT(必)	3後 石川(柳田) 善恵	専門・演習科目		
								A410	ゼミナールⅡV(必)	3後 成塚 拓真	専門・演習科目	A405	ゼミナールⅡQ(必)	3後 宮崎 善幸	専門・演習科目	A406	ゼミナールⅡU(必)	3後 水田 聡典	専門・演習科目		
火	A302	基礎英語ⅠA(必)	1前 藤原(柳田) 浩恵	専門・外国語	1301	基礎英語ⅠD(必)	1前 藤原(柳田) 浩恵	専門・外国語	A419	基礎英語ⅠI(必)	1前 森川 慶子	専門・外国語	A414	プログラミング基礎(必)	1前 相馬 亘	専門・専門基礎	1304	基礎英語ⅠB(必)	1前 藤原(柳田) 浩恵	専門・外国語	
A305	基礎英語ⅠC(必)	1前 Ford Robert Arthur	専門・外国語	A307	基礎英語ⅠF(必)	1前 Ford Robert Arthur	専門・外国語	1306	基礎英語ⅠI(必)	1後 森川 慶子	専門・外国語	A308	統計学実習Ⅲ(2限目)	3前 深田(山口) 美智子	専門・D.S基礎	1303	基礎英語ⅠG(必)	1前 Ford Robert Arthur	専門・外国語		
A417	基礎英語ⅠE(必)	1前 Ford Robert Arthur	専門・外国語	A417	基礎英語ⅠH(必)	1前 石川(柳田) 善恵	専門・外国語	A401	心理学概説Ⅰ	1前 石川(柳田) 善恵	教養・一般・人文	A203	統計学実習Ⅳ(2限目)	3後 白川 清美	専門・演習科目	1301	基礎英語ⅡB(必)	1後 藤原(柳田) 浩恵	専門・外国語		
A418	基礎英語ⅡA(必)	1後 藤原(柳田) 浩恵	専門・外国語	A304	基礎英語ⅡD(必)	1後 Ford Robert Arthur	専門・外国語	A201	心理学概説Ⅱ	2前 相馬 亘	専門・一般・人文	A202	計量経済学	2前 坂本 和靖	専門・外国語	A303	基礎英語ⅡC(必)	1後 Ford Robert Arthur	専門・外国語		
A302	基礎英語ⅡA(必)	1後 藤原(柳田) 浩恵	専門・外国語	A302	基礎英語ⅡE(必)	1前 Ford Robert Arthur	専門・外国語	A204	情報科学Ⅱ	2後 相馬 亘	専門・D.S基礎	A101	地域分析	2前 堀井 一宏	専門・外国語	A203	発達心理学入門B	1前 荒井 俊行	教養・一般・人文		
A307	基礎英語ⅡC(必)	1後 Ford Robert Arthur	専門・外国語	A305	基礎英語ⅡH(必)	1後 森川 慶子	専門・外国語	A303	統計学実習Ⅲ(1限目)	3前 藤原(山口) 美智子	専門・D.S基礎	A301	国際観光政策	2前 小堀 守	専門・外国語	A203	臨床心理学入門	1後 石川(柳田) 善恵	教養・一般・人文		
A310	生涯発達心理学	2後 石川(柳田) 善恵	教養・一般・人文	A414	発達心理学入門A	1前 石川(柳田) 善恵	教養・一般・人文	A403	統計学実習Ⅳ(1限目)	3後 白川 清美	専門・外国語	A102	計量犯罪学	2前 原田 豊	専門・外国語	A303	健康スポーツ実習ⅠA	1前 水田 聡典	教養・スポーツ		
A203	経済指標の読み方	2前 辻村 雅子	専門・外国語	A103	機械学習Ⅱ	3前 相馬 亘	専門・D.S基礎	A301	経営組織	3後 伊藤 善夫	専門・外国語	A415	空間情報システム学実習(2限目)	2後 白木 洋平	専門・外国語	A302	健康スポーツ実習ⅠB	1前 西谷 善子	教養・スポーツ		
A205	観光統計	2前 大井 達雄	専門・外国語	A205	地域経済	2前 西崎 文平	専門・外国語	A301	経営組織	2後 白木 洋平	専門・外国語	A419	空間情報システム学実習(1限目)	2前 伊藤 善夫	専門・外国語	A304	健康スポーツ実習ⅡA	1後 水田 聡典	教養・スポーツ		
A104	気象学	2前 平田 英隆	専門・外国語	A104	空間情報システム学	2前 原田 豊	専門・外国語	A402	空間情報システム学実習(2限目)	2後 永田 聡典	専門・外国語	A419	イノベーションマネジメント	3前 藤原 英隆	専門・外国語	A306	健康スポーツ実習ⅡB	1前 西谷 善子	教養・スポーツ		
A303	スポーツデータ分析のためのプログラミング	2前 成塚 拓真	専門・外国語	A406	ゼミナールⅠE(必)	3前 上原 宏	専門・演習科目	A205	データサイエンスによるスポーツコーチング	3後 宮崎 善幸	専門・外国語	A101	気象データ解析法	3前 白木 洋平	専門・外国語	A204	観光学	1後 大井 達雄	専門・専門基礎		
A304	クオリティマネジメント	3前 伊藤 善夫	専門・外国語	A406	ゼミナールⅡE(必)	3後 上原 宏	専門・演習科目										A205	デジタル社会のデータリテラシー	2前 深田(山口) 美智子	専門・D.S基礎	
A303	観光リスクマネジメント	3前 大井 達雄	専門・外国語															A104	機械学習Ⅰ	2前 相馬 亘	専門・D.S基礎
																		A101	経営管理	2前 伊藤 善夫	専門・D.S基礎
																		A201	データ分析のための物理Ⅰ	2前 成塚 拓真	専門・価値基礎
																		A414	データ分析のための物理Ⅱ	2後 成塚 拓真	専門・価値基礎
																		A205	グローバルビジネス	3後 伊藤 善夫	専門・価値発展
水	A101	データサイエンス入門(必)	1前 北村 行伸	専門・専門基礎	A205	情報科学Ⅰ(必)	1後 白木 洋平	専門・専門基礎	A303	フランスの言語と文化Ⅰ	1前 岡本 健	教養・外国語	A305	コリアの言語と文化Ⅰ	1前 金 娜玄	教養・外国語	A302	ドイツの言語と文化Ⅰ	1前 竹村 恭一郎	教養・外国語	
A414	データによる戦術・戦略ⅠA	2前 坂田 精二郎	専門・外国語	A204	データサイエンスと価値創造(必)	1前 北村 行伸	専門・専門基礎	A304	フランスの言語と文化Ⅱ	1後 岡本 健	教養・外国語	A304	コリアの言語と文化Ⅱ	1後 金 娜玄	教養・外国語	A302	ドイツの言語と文化Ⅱ	1後 竹村 恭一郎	教養・外国語		
A301	データによる戦術・戦略ⅠB	2前 杉田 守	専門・外国語	A205	プログラミング応用	2前 吉岡 茂	専門・D.S基礎	A304	中国の言語と文化Ⅰ	1前 賀 貝	教養・外国語	A303	キャリア開発基礎講座ⅠA	1前 戸森 優季	教養・キャリア	A202	日本の自然と風土	1前 齊藤 明美	教養・外国語		
A304	データによる戦術・戦略ⅠC	2前 堀越 正己	専門・外国語					A304	中国の言語と文化Ⅱ	1後 賀 貝	教養・外国語	A303	キャリア開発基礎講座ⅠB	1後 大山 雅嗣	教養・キャリア	A202	日本の生活と文化	1後 齊藤 明美	教養・外国語		
A306	データによる戦術・戦略ⅠD	2前 宮崎 善幸	専門・外国語					A201	キャリア開発基礎講座ⅡA	1後 大山 雅嗣	教養・キャリア	A304	キャリア開発基礎講座ⅡA	1前 佐野(高徳) 友里	教養・キャリア	A301	キャリア開発基礎講座ⅠB	1前 戸森 優季	教養・キャリア		
A307	データによる戦術・戦略ⅠE	2前 中村 孝生	専門・外国語					A403	微積分学演習D(必)(1限目)	1後 友永 昌治	専門・専門基礎	A403	キャリア開発基礎講座ⅡB	1後 友永 昌治	専門・専門基礎	A301	キャリア開発基礎講座ⅡC	1後 大山 雅嗣	教養・キャリア		
A301	データによる戦術・戦略ⅡA	2前 坂田 精二郎	専門・外国語					A102	マルチメディア実習	2後 吉岡 茂	専門・D.S基礎	A104	プログラミング応用実習B	2後 三島 啓雄	専門・D.S基礎	A303	キャリア開発基礎講座ⅡB	1前 佐野(高徳) 友里	教養・キャリア		
A304	データによる戦術・戦略ⅡB	2前 杉田 守	専門・外国語					A205	プログラミング応用実習A	2後 三島 啓雄	専門・D.S基礎	A415	プログラミング応用実習D	2後 木川 明彦	専門・D.S基礎	A418	情報と職業	2前 吉岡 茂	専門・D.S基礎		
A204	データによる戦術・戦略ⅡC	2前 堀越 正己	専門・外国語					A415	プログラミング応用実習C	2後 木川 明彦	専門・D.S基礎	A402	線形代数学演習C(必)(1限目)	2後 青木 和昭	専門・D.S基礎	A102	マルチメディア基礎	2前 吉岡 茂	専門・D.S基礎		
A418	データによる戦術・戦略ⅡD	2後 宮崎 善幸	専門・外国語									A202	情報と産業	3前 吉岡 茂	専門・D.S基礎	A402	線形代数学演習C(必)(2限目)	2後 吉岡 茂	専門・D.S基礎		
A202	データによる戦術・戦略ⅡE	2後 中村 孝生	専門・外国語																		

2019年度時間割 社会福祉学部 社会福祉学科 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考	
月曜日	1時限	2期	21G1208400	加齢と障害 / 社会福祉の最先端Ⅲ / 教育福祉の最先端Ⅲ	溝口 元	A306	3年			卒業	
		2期	25Z0100601	生徒理解と教育相談A / 生活指導の研究ⅠA	鹿嶋 真弓	A303	1年			資格	
	2時限	2期	21G0202500	自然科学論Ⅱ	溝口 元	A306	1年			卒業	
		2期	21G1207800	特別支援教育課程論	白井 健次	A304	2年			卒業	
		2期	25Z0103501	青年心理学	鹿嶋 真弓	A419	3年			資格	
		2期	27Y0105102	キャリア開発基礎講座ⅠB	大津 悦夫	A301	1年			卒業	
	3時限	2期	21G0201600	心理学ⅡA	矢澤 圭介	A202	1年			卒業	
		2期	21G0204600	中国語4 / 中国語Ⅱ	翠川 信人	A401	1年			卒業	
		2期	21G1201900	児童福祉論Ⅱ	鈴木 浩之	A201	2年			卒業	
		2期	21G1208000	カウンセリングⅡ	田久保 眞理子	A310	2年			卒業	
		2期	21G1209904	社会福祉専門演習ⅡD	児嶋 芳郎	A305	4年			卒業	
		2期	21G1209906	社会福祉専門演習ⅡF	関水 徹平	A103	4年			卒業	
		2期	21G1210105	社会福祉特別演習ⅡA	西野 栄子	A409	4年			その他	
	4時限	2期	27Y0105103	キャリア開発基礎講座ⅠC	大津 悦夫	A301	1年			卒業	
		2期	21G0200200	哲学Ⅱ / 哲学の基本諸問題A	白井 雅人	A201	1年			卒業	
		2期	21G1203000	共生の福祉学	関水 徹平	A303	2年			卒業	
		2期	21G1205000	ソーシャルワーク論Ⅱ (平成28年度以降入学生)	安達 映子	A204	2年			卒業	
		2期	21G1209901	社会福祉専門演習ⅡA	溝口 元	A409	4年			卒業	
	5時限	2期	21G1209914	社会福祉専門演習ⅡN	鈴木 浩之	A413	4年			卒業	
		2期	21G0202000	心理学ⅡC	石川 茜恵	A204	1年			卒業	
		2期	21G1200700	英語文献講読Ⅱ (社福)	関水 徹平	A416	1年			卒業	
		2期	21G1202200	障害者福祉論Ⅱ	児嶋 芳郎	A101	2年			卒業	
	火曜日	1時限	2期	21G1209908	社会福祉専門演習ⅡH	安達 映子	A407	4年			卒業
			2期	21B4130801	Introduction to Cultures of the World 8 日本文化2	亀井ダイチ 利永子	A419	1年			卒業
			2期	21G0200400	仏教学Ⅱ / 現代社会と仏教	三友 量順	A204	1年			卒業
			2期	21G1204100	精神保健福祉論Ⅱ	杉山 明伸	A303	2年			卒業
			2期	21G1205500	フィールド演習Ⅰ 教育福祉系	白井 健次	A417	2年			卒業
		2時限	2期	21H1125701	生物学Ⅰ	須田 知樹	A304	1年			資格
2期			21B4131001	Introduction to Cultures of the World 10 日本の歴史2	亀井ダイチ 利永子	A419	1年			卒業	
2期			21G0201200	社会学ⅡA	関水 徹平	A204	1年			卒業	
2期			21G1205200	ソーシャルワーク論Ⅳ	岩崎 香織	A203	2年			卒業	
2期			21G1209905	社会福祉専門演習ⅡE	白井 健次	A413	4年			卒業	
2時限	2期	21G1209911	社会福祉専門演習ⅡK	森田 久美子	A307	4年			卒業		
	2期	21H1126001	地学Ⅰ	平井 壽子	A202	1年			資格		
	2期	25Z0101301	教育方法論ⅡA	村上 美奈子	A309	2年			資格		

2019年度時間割 社会福祉学部 社会福祉学科 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考
火曜日	2時限	2期	26Z1104302	社会教育演習Ⅱ	大島 英樹	A405	2年			資格
	3時限	2期	21G0204800	ハングル4 / ハングルⅡ	金 娜玄	A417	1年			卒業
		2期	21G1205601	フィールド演習Ⅰ 社会デザイン系 A	川本 健太郎	A310	2年			卒業
		2期	21G1205602	フィールド演習Ⅰ 社会デザイン系 B	中島 和郎	A310	2年			卒業
		2期	21G1205901	ソーシャルワーク演習Ⅱ A	安達 映子	A408	2年			卒業
		2期	21G1205902	ソーシャルワーク演習Ⅱ B	森田 久美子	A404	2年			卒業
		2期	21G1205903	ソーシャルワーク演習Ⅱ C	遠藤 希和子	1303	2年			卒業
		2期	21G1205904	ソーシャルワーク演習Ⅱ D	酒井 美和	1302	2年			卒業
		2期	21G1205905	ソーシャルワーク演習Ⅱ E	岩崎 香織	1301	2年			卒業
		2期	21G1205906	ソーシャルワーク演習Ⅱ F	野澤 義隆	A414	2年			卒業
		2期	21G1205907	ソーシャルワーク演習Ⅱ G	林 博昭	A406	2年			卒業
		2期	21G1208600	宗教学概説Ⅱ	吉村 彰史	A101	1年			卒業
		2期	21G1209909	社会福祉専門演習ⅡⅠ	蟻塚 昌克	A405	4年			卒業
		2期	21G1209910	社会福祉専門演習ⅡⅡ	稲葉 一洋	A411	4年			卒業
	2期	21G1209912	社会福祉専門演習ⅡⅢ	土屋 典子	A419	4年			卒業	
	2期	21G1210107	社会福祉特別演習Ⅱ C	田中 史江	A418	4年			その他	
	2期	21G1210200	重複障害教育総論	児嶋 芳郎	A303	3年			卒業	
	2期	25Z0100801	教職演習 A	村上 美奈子	A309	3年			資格	
	2期	25Z0103701	生涯学習概論Ⅱ A	大島 英樹	A307	2年			卒業	
	4時限	2期	21G0104200	基礎英会話2 / 英会話2 / 英会話Ⅱ (社福C)	藤本 アンマリー	A416	1年			卒業
		2期	21G0201800	心理学Ⅱ B	河内 和直	A305	1年			卒業
		2期	21G1201500	地域福祉論Ⅱ	稲葉 一洋	A204	2年			卒業
		2期	21G1204600	現代社会事情	川本 健太郎	A201	1年			卒業
		2期	21H0101501	現代美術論	大澤 慶子	A309	2年			資格
		2期	21H3100201	博物館教育論 A	倉田 恵津子	A302	1年			資格
		2期	25Z0100292	教育学の基礎 E (平成30年度以前入学生)	浅沼 茂	A308	1年			卒業
2期		25Z0100802	教職演習 B	大島 英樹	A307	3年			資格	
5時限	2期	21H3100302	博物館資料論 B	倉田 恵津子	A310	2年			資格	
	2期	25Z0103801	教職実践演習 [中・高] A	大島 英樹	A307	4年			資格	
水曜日	1時限	2期	21G1207200	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	森田 久美子	A417	3年			卒業
	2時限	2期	21G0101100	基礎英語2 / 英語2 / 英語Ⅰ (社福C)	吉村 純司	A416	1年			卒業
		2期	21G0101200	基礎英語2 / 英語2 / 英語Ⅰ (社福D)	亀岡 浩一	A401	1年			卒業
		2期	21G0101400	基礎英語2 / 英語2 / 英語Ⅰ (ラグビー)	木下 秀昭	A417	1年			卒業
		2期	21G1200300	社会福祉の歴史	蟻塚 昌克	A204	1年			卒業
2期	21G1202000	家族福祉論	安達 映子	A306	2年			卒業		

2019年度時間割 社会福祉学部 社会福祉学科 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考	
水曜日	2時限	2期	21G1206201	ソーシャルワーク実習指導ⅠA	稲葉 一洋	A309	2年			卒業	
		2期	21G1206202	ソーシャルワーク実習指導ⅠB	白神 晃子	A408	2年			卒業	
		2期	21G1206203	ソーシャルワーク実習指導ⅠC	鈴木 浩之	1306	2年			卒業	
		2期	21G1206204	ソーシャルワーク実習指導ⅠD	土屋 典子	A402	2年			卒業	
		2期	21G1206205	ソーシャルワーク実習指導ⅠE	遠藤 希和子	1303	2年			卒業	
		2期	21G1206206	ソーシャルワーク実習指導ⅠF	酒井 美和	1302	2年			卒業	
		2期	21G1206207	ソーシャルワーク実習指導ⅠG	田中 秀和	A303	2年			卒業	
	2期	21G1206700	精神科ソーシャルワーク論Ⅱ	森田 久美子	A308	2年			卒業		
	3時限	2期	21G0103300	総合英語2 / 英語4 / 英語Ⅱ (社福C)	木下 秀昭	A302	1年			卒業	
		2期	21G0103400	総合英語2 / 英語4 / 英語Ⅱ (社福D)	吉村 純司	A416	1年			卒業	
		2期	21G0201400	社会学ⅡB	永谷 貴弘	A203	1年			卒業	
	4時限	2期	21F1219300	【熊谷】地方自治論/現代社会と法Ⅷ 地方自治	川本 健太郎	A202	2年			卒業	
		2期	21G1208800	倫理学の基本諸問題	田上 孝一	A201	2年			卒業	
		2期	25Z0102121	社会科・公民教育論ⅡA	石出 法太	A307	3年			資格	
2期		25Z0103301	教育社会学	宮崎 智絵	A418	3年			資格		
木曜日	1時限	2期	21G0200900	文学Ⅱ	吉村 純司	A203	1年			卒業	
		2期	21G1200600	学修の基礎Ⅱ(社福)	吉村 彰史	A101	1年			卒業	
		2期	21H0101901	地誌学概論	山下 清海	A201	2年			資格	
		2期	21H0103701	近代科学の成立	鈴木パーカー 明日香	A301	1年			資格	
		2期	26Z1104102	社会教育施設論	植原 孝行	A408	2年			資格	
	2時限	2期	21G0202200	経済学Ⅱ / 現代日本の経済と社会A	山口 忠利	A306	1年			卒業	
		2期	21G0205300	実践日本語ⅡA	渋沢 妃生子	A418	1年			卒業	
		2期	21G1100600	教職概論 / 教育職の研究	大平 滋	A302	1年			卒業	
		2期	21G1201100	仏教社会福祉Ⅱ	清水 海隆	A101	2年			卒業	
		2期	21G1203300	福祉サービスの組織と経営Ⅱ	土屋 典子	A204	2年			卒業	
		2期	21G1209903	社会福祉専門演習ⅡC	川本 健太郎	A410	4年			卒業	
		2期	21H3100701	博物館情報・メディア論A	阿由葉 司	A102	3年			資格	
		2期	25Z0100602	生徒理解と教育相談B / 生活指導の研究ⅠB	大津 悦夫	A309	1年			資格	
		2期	25Z0101401	道徳教育の研究A	石本 祐二	A307	2年			資格	
		2期	25Z0101921	社会科教育論ⅡA	堀内 孝	A417	3年			資格	
		2期	27Y0105201	キャリア開発基礎講座ⅡA	大山 雅嗣	A202	1年			卒業	
		3時限	2期	21G0106800	スポーツ実技Ⅱ / 体育実技ⅡB	永井 真紀	体育実技用 (予約不可)	1年			卒業
			2期	21G0200600	歴史学Ⅱ / 史学方法論	時枝 務	A205	1年			卒業
			2期	21G1202400	高齢者福祉論Ⅱ	土屋 典子	A204	2年			卒業
2期	21G1204800		ソーシャルワーク総論Ⅱ	白神 晃子	A101	1年			卒業		

2019年度時間割 社会福祉学部 社会福祉学科 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考	
木曜日	3時限	2期	21G1209902	社会福祉専門演習ⅡB	清水 海隆	A418	4年			卒業	
		2期	21G1209907	社会福祉専門演習ⅡG(ラグビー)	仲山 佳秀	A310	4年			卒業	
		2期	21G1210106	社会福祉特別演習ⅡB	西野 栄子	A417	4年			その他	
		2期	21G1210600	病弱者の心理・生理・病理	高木 俊治	A304	3年			卒業	
		2期	21H3100202	博物館教育論B	林 勉	3107	1年			資格	
		2期	21H3100401	博物館経営論A	阿由葉 司	A102	2年			資格	
		2期	25Z0100603	生徒理解と教育相談C/生活指導の研究ⅠC	大津 悦夫	A309	1年			資格	
		2期	25Z0100701	生活指導の研究ⅡA	石本 祐二	A307	2年			資格	
	4時限	2期	27Y0105202	キャリア開発基礎講座ⅡB	大山 雅嗣	A202	1年			卒業	
		2期	21G0106100	健康・スポーツ科学/体育講義(社福)	小林 均	A203	1年			卒業	
		2期	21G0106700	スポーツ実技Ⅱ/体育実技ⅡA	永井 真紀	体育実技用 (予約不可)	1年			卒業	
		2期	21G1201700	公的扶助論Ⅱ	金子 充	A204	2年			卒業	
		2期	21G1204500	コミュニティ形成論	川本 健太郎	A306	2年			卒業	
		2期	21G1209400	経済学の基礎	山口 忠利	A304	2年			卒業	
		2期	21G1209600	国際ボランティア論	清水 海隆	A302	2年			卒業	
		2期	21G1209913	社会福祉専門演習ⅡM	白神 晃子	A408	4年			卒業	
		2期	21H0101601	日本史概論/日本史概説(教職)	岡村 治	A205	2年			資格	
		2期	25Z0103103	福祉教育論Ⅱ	中村 尚子	A303	3年			資格	
		2期	26Z1103902	社会教育計画Ⅱ	片岡 了	A410	2年			資格	
		2期	27Y0105203	キャリア開発基礎講座ⅡC	大山 雅嗣	A202	1年			卒業	
	5時限	2期	21G1201300	社会保障論Ⅱ	金子 充	A204	2年			卒業	
		2期	21G1203700	精神医学Ⅱ	高木 俊治	A202	2年			卒業	
		2期	21G1210400	肢体不自由者の心理・生理・病理	仲山 佳秀	A201	2年			卒業	
		2期	21G2200400	感性福祉論	梅澤 啓一	A301	1年			卒業	
		2期	21H3100402	博物館経営論B	阿由葉 司	A102	2年			資格	
		2期	26Z1104402	社会教育課題研究Ⅱ	片岡 了	A410	2年			資格	
	金曜日	1時限	2期	21G0204200	ドイツ語4/ドイツ語Ⅱ	竹村 恭一郎	A417	1年			卒業
		2時限	2期	21G0205500	実践日本語ⅡB	齊藤 明美	A305	1年			卒業
2期			21G1200900	社会福祉原論Ⅱ	蟻塚 昌克	A101	1年			卒業	
2期			21G1206900	精神科ソーシャルワーク論Ⅳ	森田 久美子	A303	3年			卒業	
2期			21G1207600	TOEIC特講Ⅱ	中島 和郎	A102	2年			卒業	
2期			21G1209500	法律学概論	岩切 大地	A202	2年			卒業	
2期			21H3100601	博物館展示論A	阿由葉 司	A103	3年			資格	
2期			25Z0103702	生涯学習概論ⅡB	永澤 義弘	A203	2年			卒業	
2期	25Z0103802	教職実践演習[中・高]B	村上 美奈子	A419	4年			資格			

2019年度時間割 社会福祉学部 社会福祉学科 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考
金曜日	3時限	2期	21G0203500	情報処理の基礎Ⅱ(ラグビー)	木川 裕	A104	1年			卒業
		2期	21G1210108	社会福祉特別演習ⅡD	田中 史江	A417	4年			その他
		2期	25Z0100502	特別活動の研究B	渡辺 真也	A310	2年			資格
		2期	25Z0101202	教育法学	岡田 愛	A305	2年			資格
		2期	25Z0101302	教育方法論ⅡB	村上 美奈子	A202	2年			資格
		2期	25Z0102122	社会科・公民教育論ⅡB	青木 茂雄	A306	3年			資格
		2期	26Z1104002	社会教育行政論	永澤 義弘	A302	2年			資格
	4時限	2期	21G0202700	情報処理の基礎Ⅱ(社福A)	木川 裕	A104	1年			卒業
		2期	21G1207100	精神保健福祉援助演習Ⅱ	森田 久美子	A412	4年			卒業
		2期	21H0101301	民俗調査法	阿由葉 司	A305	2年			資格
		2期	21H0101701	外国史概論/外国史概説	平 伊佐雄	A203	2年			資格
		2期	25Z0101922	社会科教育論ⅡB	青木 茂雄	A306	3年			資格
	5時限	2期	21G0203300	情報処理の基礎Ⅱ(社福D)	木川 裕	A104	1年			卒業
		2期	21G1210900	病弱教育	栗山 宣夫	A302	3年			卒業
土曜日	1時限	2期	21G0103100	総合英語2/英語4/英語Ⅱ(社福A)	光野 昭雄	A308	1年			卒業
		2期	21G0103200	総合英語2/英語4/英語Ⅱ(社福B)	國府方 麗夏	A419	1年			卒業
	2時限	2期	21G0101000	基礎英語2/英語2/英語Ⅰ(社福B)	光野 昭雄	A308	1年			卒業
		2期	21G0101300	基礎英語2/英語2/英語Ⅰ(社福E)	中島 和郎	A104	1年			卒業
		2期	21G0204400	フランス語4/フランス語Ⅱ	岡本 健	A305	1年			卒業
		2期	21H0100701	哲学の基本諸問題B	永野 潤	A301	2年			資格
		2期	21H3100602	博物館展示論B	阿由葉 司	A102	3年			資格
	3時限	2期	21G0104000	基礎英会話2/英会話2/英会話Ⅱ(社福A)	藤本 アンマリー	A416	1年			卒業
		2期	21G0104100	基礎英会話2/英会話2/英会話Ⅱ(社福B)	澤渡 貞男	A303	1年			卒業
	4時限	2期	21H0101101	文化財保存論	大澤 伸啓	A309	2年			資格
		2期	21H3100702	博物館情報・メディア論B	阿由葉 司	A102	3年			資格
	その他	集中	2期集中	21G1202800	更生保護・就労支援/司法福祉	川本 健太郎	A202	3年		
2期集中			21G1203900	精神保健学Ⅱ	天笠 崇		2年			卒業
2期集中			21G1207700	スポーツボランティア論	堀越 正己		1年			卒業
2期集中			21G1210109	社会福祉特別演習ⅢA	西野 栄子		4年			その他
2期集中			21G1210110	社会福祉特別演習ⅢB	田中 史江		4年			その他

2019年度時間割 社会福祉学部 子ども教育福祉学科 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考
月曜日	1時限	2期	21G1208400	加齢と障害 / 社会福祉の最先端Ⅲ / 教育福祉の最先端Ⅲ	溝口 元	A306	3年			卒業
		2期	21G2201002	社会的養護内容 B	野田 敦史	A309	2年			卒業
		2期	21G2206000	初等教科教育法 (体育)	奥富 庸一	9101	3年			卒業
	2時限	2期	21G0202500	自然科学論Ⅱ	溝口 元	A306	1年			卒業
		2期	21G1207800	特別支援教育課程論	白井 健次	A304	2年			資格
		2期	21G2201001	社会的養護内容 A	野田 敦史	A309	2年			卒業
		2期	27Y0105102	キャリア開発基礎講座Ⅰ B	大津 悦夫	A301	1年			卒業
	3時限	2期	21G0201600	心理学Ⅱ A	矢澤 圭介	A202	1年			卒業
		2期	21G0204600	中国語4 / 中国語Ⅱ	翠川 信人	A401	1年			卒業
		2期	21G2204002	子どもの保健Ⅱ B	福島 直文	A415 (AP特別教	2年			卒業
		2期	27Y0105103	キャリア開発基礎講座Ⅰ C	大津 悦夫	A301	1年			卒業
	4時限	2期	21G0200200	哲学Ⅱ / 哲学の基本諸問題 A	白井 雅人	A201	1年			卒業
		2期	21G2205700	初等教科教育法 (家庭)	小林 久美	A304	3年			卒業
	5時限	2期	21G0202000	心理学Ⅱ C	石川 茜恵	A204	1年			卒業
		2期	21G2203400	家庭	小林 久美	A305	2年			卒業
		2期	21G2206701	保育所実習1の研究 A	志村 聡子	A304	2年			卒業
		2期	21G2206702	保育所実習1の研究 B	井 陽介	A310	2年			卒業
	1時限	2期	21B4130801	Introduction to Cultures of the World 8 日本文化2	亀井ダイチ 利永子	A419	1年			卒業
2期		21G0200400	仏教学Ⅱ / 現代社会と仏教	三友 量順	A204	1年			卒業	
2期		21G2202700	社会	石橋 昌雄	A309	1年			卒業	
2期		21G2205800	初等教科教育法 (音楽)	板野 晴子	2202	3年			卒業	
2期		21G2207300	施設実習2の研究	藤高 直之	A305	3年			卒業	
2期		21H1125701	生物学Ⅰ	須田 知樹	A304	1年			資格	
2時限	2期	21B4131001	Introduction to Cultures of the World 10 日本の歴史2	亀井ダイチ 利永子	A419	1年			卒業	
	2期	21G0201200	社会学Ⅱ A	関水 徹平	A204	1年			卒業	
	2期	21G2202900	生活	志村 聡子	A301	2年			卒業	
	2期	21G2204801	保育内容の研究 (総合活動Ⅱ) A	田中 正代	A303	3年			卒業	
	2期	21G2209000	心理検査法Ⅰ	吉澤 弘明	A310	3年			卒業	
	2期	21H1126001	地学Ⅰ	平井 壽子	A202	1年			資格	
	2期	26Z1104302	社会教育演習Ⅱ	大島 英樹	A405	2年			資格	
3時限	2期	21G0204800	ハングル4 / ハングルⅡ	金 娜玄	A417	1年			卒業	
	2期	21G1210200	重複障害教育総論	児嶋 芳郎	A303	3年			資格	
	2期	21G2204301	保育内容の研究 (環境) A	二宮 穰	A304	2年			卒業	
	2期	21G2204802	保育内容の研究 (総合活動Ⅱ) B	田中 正代	A306	3年			卒業	
	2期	25Z0103701	生涯学習概論Ⅱ A	大島 英樹	A307	2年			資格	

2019年度時間割 社会福祉学部 子ども教育福祉学科 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考
火曜日	4時限	2期	21G0201800	心理学ⅡB	河内 和直	A305	1年			卒業
		2期	21G2204302	保育内容の研究(環境)B	二宮 穣	A304	2年			卒業
		2期	21G2206100	道德の指導法	山口 幸男	A306	3年			卒業
		2期	21H0101501	現代美術論	大澤 慶子	A309	2年			資格
		2期	21H3100201	博物館教育論A	倉田 恵津子	A302	1年			資格
	5時限	2期	21G2202100	教育職概論	大平 滋	A301	1年			卒業
		2期	21G2205200	初等教科教育法(国語)	佐々原 正樹	1202	2年			卒業
2期		21H3100302	博物館資料論B	倉田 恵津子	A310	2年			資格	
水曜日	1時限	2期	21G2201200	保育学	志村 聡子	A306	1年			卒業
		2期	21G2209206	基礎ゼミⅡA	板野 晴子	A405	2年			卒業
		2期	21G2209207	基礎ゼミⅡB	梅澤 啓一	A414	2年			卒業
		2期	21G2209208	基礎ゼミⅡC	奥富 庸一	A307	2年			卒業
		2期	21G2209209	基礎ゼミⅡD	佐々原 正樹	A302	2年			卒業
		2期	21G2209210	基礎ゼミⅡE	藤高 直之	1302	2年			卒業
	2時限	2期	21G0101400	基礎英語2/英語2/英語Ⅰ(ラグビー)	木下 秀昭	A417	1年			卒業
		2期	21G0203700	情報処理の基礎Ⅱ(子福A)	宮崎 智絵	A104	1年			卒業
		2期	21G1200300	社会福祉の歴史	蟻塚 昌克	A204	1年			卒業
	3時限	2期	21G0201400	社会学ⅡB	永谷 貴弘	A203	1年			卒業
		2期	21G0203900	情報処理の基礎Ⅱ(子福B)	宮崎 智絵	A104	1年			卒業
	4時限	2期	21F1219300	【熊谷】地方自治論/現代社会と法Ⅷ 地方自治	川本 健太郎	A202	2年			卒業
		2期	21G0102400	基礎英語2/英語2(子福E)	木下 秀昭	A302	1年			卒業
	木曜日	1時限	2期	21G0200900	文学Ⅱ	吉村 純司	A203	1年		
2期			21H0103701	近代科学の成立	鈴木パーカー 明日香	A301	1年			資格
2期			26Z1104102	社会教育施設論	植原 孝行	A408	2年			資格
2時限		2期	21G0202200	経済学Ⅱ/現代日本の経済と社会A	山口 忠利	A306	1年			卒業
		2期	21G0205300	実践日本語ⅡA	渋沢 妃生子	A418	1年			卒業
		2期	21G2201300	保育者論	岡本 依子	A304	1年			卒業
		2期	21G2205002	保育相談支援B	石井 富美子	A305	3年			卒業
		2期	21G2205101	保育・教職実践演習(幼・小)A	藤高 直之	1202	4年			卒業
		2期	21G2205900	初等教科教育法(図画工作)	梅澤 啓一	2201	3年			卒業
		2期	21G2208900	心理学研究法Ⅱ	山村 豊	A104	2年			卒業
		2期	21H3100701	博物館情報・メディア論A	阿由葉 司	A102	3年			資格
		2期	27Y0105201	キャリア開発基礎講座ⅡA	大山 雅嗣	A202	1年			卒業
3時限		2期	21G0106200	健康・スポーツ科学/体育講義(子福)	小林 均	A203	1年			卒業
		2期	21G0106800	スポーツ実技Ⅱ/体育実技ⅡB	永井 真紀	体育実技用 (予約不可)	1年			卒業

2019年度時間割 社会福祉学部 子ども教育福祉学科 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考
木曜日	3時限	2期	21G0200600	歴史学Ⅱ / 史学方法論	時枝 務	A205	1年			卒業
		2期	21G1210600	病弱者の心理・生理・病理	高木 俊治	A304	3年			資格
		2期	21G2204101	保育内容の研究(健康)A	泉 秀生	A305	2年			卒業
		2期	21G2205102	保育・教職実践演習(幼・小)B	藤高 直之	1202	4年			卒業
		2期	21G2206900	保育所実習2の研究	岡本 依子	A414	3年			卒業
		2期	21H3100202	博物館教育論B	林 勉	3107	1年			資格
		2期	21H3100401	博物館経営論A	阿由葉 司	A102	2年			資格
		2期	27Y0105202	キャリア開発基礎講座ⅡB	大山 雅嗣	A202	1年			卒業
	4時限	2期	21G0106700	スポーツ実技Ⅱ / 体育実技ⅡA	永井 真紀	体育実技用 (予約不可)	1年			卒業
		2期	21G2204102	保育内容の研究(健康)B	泉 秀生	A419	2年			卒業
		2期	21G2205103	保育・教職実践演習(幼・小)C	藤高 直之	1301	4年			卒業
		2期	21G2209100	心理検査法Ⅱ	村尾 泰弘	A417	3年			卒業
		2期	26Z1103902	社会教育計画Ⅱ	片岡 了	A410	2年			資格
		2期	27Y0105203	キャリア開発基礎講座ⅡC	大山 雅嗣	A202	1年			卒業
	5時限	2期	21G1210400	肢体不自由者の心理・生理・病理	仲山 佳秀	A201	2年			資格
		2期	21G2200400	感性福祉論	梅澤 啓一	A301	1年			卒業
		2期	21H3100402	博物館経営論B	阿由葉 司	A102	2年			資格
		2期	26Z1104402	社会教育課題研究Ⅱ	片岡 了	A410	2年			資格
	金曜日	1時限	2期	21G0204200	ドイツ語4 / ドイツ語Ⅱ	竹村 恭一郎	A417	1年		
2期			21G2200500	学修の基礎Ⅱ(子福)	石橋 昌雄	A304	2年			卒業
2期			21G2208700	臨床心理学Ⅱ	村尾 泰弘	A302	2年			卒業
2時限		2期	21G2205400	初等教科教育法(算数)	新井 美津江	A307	2年			卒業
		2期	21G2206500	教育相談	村尾 泰弘	A301	3年			卒業
		2期	21H3100601	博物館展示論A	阿由葉 司	A103	3年			資格
		2期	25Z0103702	生涯学習概論ⅡB	永澤 義弘	A203	2年			資格
3時限		2期	21G0203500	情報処理の基礎Ⅱ(ラグビー)	木川 裕	A104	1年			卒業
		2期	21G2100700	教育保育心理学 / 発達心理学Ⅰ	岡本 依子	A301	1年			卒業
		2期	21G2204201	保育内容の研究(人間関係)A	天野 美和子	A309	3年			卒業
		2期	21G2206400	生徒・進路指導	清水 一豊	A307	3年			卒業
		2期	26Z1104002	社会教育行政論	永澤 義弘	A302	2年			資格
4時限		2期	21G2200902	相談援助B	栗原 直樹	A301	2年			卒業
		2期	21G2202001	教育と保育の心理学ⅡA	岡本 依子	A304	2年			卒業
		2期	21G2204202	保育内容の研究(人間関係)B	天野 美和子	A309	3年			卒業
		2期	21G2205300	初等教科教育法(社会)	石橋 昌雄	A308	2年			卒業
		2期	21H0101301	民俗調査法	阿由葉 司	A305	2年			資格

2019年度時間割 社会福祉学部 子ども教育福祉学科 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考
金曜日	5時限	2期	21G1210900	病弱教育	栗山 宣夫	A302	3年			資格
		2期	21G2200901	相談援助A	栗原 直樹	A307	2年			卒業
		2期	21G2202002	教育と保育の心理学ⅡB	岡本 依子	A304	2年			卒業
土曜日	1時限	2期	21G0104800	基礎英会話2 / 英会話2 (子福A)	澤渡 貞男	A303	1年			卒業
		2期	21G0104900	基礎英会話2 / 英会話2 (子福B)	藤本 アンマリー	A416	1年			卒業
		2期	21G2206300	教育方法 (メディア教育を含む)	吉岡 有文	2101	2年			卒業
	2時限	2期	21G0105000	基礎英会話2 / 英会話2 (子福C)	澤渡 貞男	A303	1年			卒業
		2期	21G0105100	基礎英会話2 / 英会話2 (子福D)	藤本 アンマリー	A416	1年			卒業
		2期	21G0204400	フランス語4 / フランス語Ⅱ	岡本 健	A305	1年			卒業
		2期	21H3100602	博物館展示論B	阿由葉 司	A102	3年			資格
	3時限	2期	21G0102200	基礎英語2 (子福C)	光野 昭雄	A308	1年			卒業
		2期	21G0102300	基礎英語2 / 英語2 (子福D)	國府方 麗夏	A419	1年			卒業
		2期	21G0105200	基礎英会話2 / 英会話2 (子福E)	中島 和郎	A402	1年			卒業
		2期	21G2204001	子どもの保健ⅡA	福島 直文	A304	2年			卒業
	4時限	2期	21H0101101	文化財保存論	大澤 伸啓	A309	2年			資格
		2期	21H3100702	博物館情報・メディア論B	阿由葉 司	A102	3年			資格

2019年度時間割 地球環境科学部 環境システム学科 生物・地球コース 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考	
月曜日	1時限	2期	21H0102801	現代社会と統計	山下 倫範	A102	2年			卒業	
		2期	21H0106501	体育実技3	金子 伊樹	体育実技用 (予約不可)	1年			卒業	
		2期	21H0122201	地図と測量の科学	鈴木 重雄	A202	1年			卒業	
		2期	21H1120203	基礎数学(再履修)	佐久間 貴士	A308	1年			卒業	
		2期	21H1129301	植物と環境	米林 伸	A203	2年			卒業	
		2期	25Z0100601	生徒理解と教育相談A/生活指導の研究I A	鹿嶋 真弓	A303	1年			資格	
	2時限	2期	21H0122401	自然災害のメカニズム	北沢 俊幸	A204	1年			卒業	
		2期	21H1128901	環境情報数学演習I	山下 倫範	A102	1年			卒業	
		2期	21H1130601	環境分析化学	清水 洋	A302	2年			卒業	
		2期	25Z0103501	青年心理学	鹿嶋 真弓	A419	3年			資格	
		2期	27Y0105102	キャリア開発基礎講座IB	大津 悦夫	A301	1年			卒業	
	3時限	2期	21H1131401	情報通信ネットワーク特論	吉岡 茂	A419	2年			卒業	
		2期	24F1204200	【熊谷】体育講義	保科 光作	A205	1年			卒業	
		2期	27Y0105103	キャリア開発基礎講座IC	大津 悦夫	A301	1年			卒業	
	4時限	2期	21G0200200	哲学II / 哲学の基本諸問題A	白井 雅人	A201	1年			卒業	
		2期	21H0102601	現代日本の経済と社会B	歌代 哲也	A310	1年			卒業	
		2期	21H1123801	環境統計学実習	佐久間 貴士	A104	2年			卒業	
		2期	21H1124601	化学実験A	岸 和央	3102	1年			卒業	
	5時限	2期	21H0122601	ジオインフォマティクス	三島 啓雄	A205	1年			卒業	
		2期	21H1120602	基礎地学(再履修)	河野 忠	A418	1年			卒業	
		2期	21H1123801	環境統計学実習	佐久間 貴士	A104	2年			卒業	
		2期	21H1124601	化学実験A	岸 和央	3102	1年			卒業	
	火曜日	1時限	2期	21B4130801	Introduction to Cultures of the World 8 日本文化2	亀井ダイチ 利永子	A419	1年			卒業
			2期	21G0200400	仏教学II / 現代社会と仏教	三友 量順	A204	1年			卒業
2期			21H1120901	環境気象学概論	中川 清隆	A203	1年			卒業	
2期			21H1125701	生物学I	須田 知樹	A304	1年			卒業	
2期			24F1202300	【熊谷】現代時事問題II	槇 拓治	A308	1年			卒業	
2時限		2期	21B4131001	Introduction to Cultures of the World 10 日本の歴史2	亀井ダイチ 利永子	A419	1年			卒業	
		2期	21H0103301	環境科学	三島 啓雄	1101	1年			卒業	
		2期	21H1121201	環境生物学概論	米林 伸	A201	1年			卒業	
		2期	21H1126001	地学I	平井 壽子	A202	1年			卒業	
		2期	21H1127201	大気大循環論	渡来 靖	A418	2年			卒業	
2時限	2期	21H1131301	情報産業史	吉岡 茂	A306	2年			卒業		
	2期	25Z0101301	教育方法論II A	村上 美奈子	A309	2年			資格		
	2期	26Z1104302	社会教育演習II	大島 英樹	A405	2年			資格		

2019年度時間割 地球環境科学部 環境システム学科 生物・地球コース 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考
火曜日	3時限	2期	21H1121301	地圏環境学概論	川野 良信	A203	1年			卒業
		2期	21H1127901	水文環境シミュレーション	鈴木 裕一	A305	2年			卒業
		2期	25Z0100103	教職概論C / 教育職の研究C	浅沼 茂	A412	1年			資格
		2期	25Z0100801	教職演習A	村上 美奈子	A309	3年			資格
		2期	25Z0103701	生涯学習概論II A	大島 英樹	A307	2年			資格
	4時限	2期	21H0101501	現代美術論	大澤 慶子	A309	2年			卒業
		2期	21H0103901	実践英語II	鈴木パーカー ジョセフ トリン	A419	2年			卒業
		2期	21H0122901	情報文化と知的所有権	吉岡 茂	A202	1年			卒業
		2期	21H1124401	化学I	平井 壽子	A303	1年			卒業
		2期	21H3100201	博物館教育論A	倉田 恵津子	A302	1年			資格
		2期	25Z0100292	教育学の基礎E (平成30年度以前入学生)	浅沼 茂	A308	1年			資格
	5時限	2期	25Z0100802	教職演習B	大島 英樹	A307	3年			資格
		2期	21H0104101	実践英語IV	鈴木パーカー ジョセフ トリン	A419	3年			卒業
		2期	21H0104901	コリアの言語と文化II	金 娜玄	A417	1年			卒業
		2期	21H1120502	基礎生物学(再履修)	須田 知樹	A308	1年			卒業
		2期	21H1126801	環境水質化学	安原 正也	A302	2年			卒業
		2期	21H3100302	博物館資料論B	倉田 恵津子	A310	2年			資格
	水曜日	1時限	2期	21H0104701	中国の言語と文化II A	賀 貝	A305	1年		
2期			24F1207300	【熊谷】発達心理学入門	荒井 俊行	A310	1年			卒業
2期			25Z0103002	情報教育論II	宮崎 智絵	A102	3年			資格
2時限		2期	21H0100509	基礎英語II(再履修)	A.M.マイヤー	A418	1年			卒業
		2期	21H0104702	中国の言語と文化II B	賀 貝	A305	1年			卒業
		2期	25Z0102802	理科教育論II	岩崎 敬道	A404	3年			資格
3時限		2期	21F1219600	【熊谷】スポーツと法	村本 宗太郎	A301	2年			卒業
		2期	21H0123801	測量学実践実習	島津 弘	3320	2年			卒業
		2期	25Z0102902	理科教育論IV	小川 郁	3107	3年			資格
4時限		2期	21F1219300	【熊谷】地方自治論/現代社会と法VIII 地方自治	川本 健太郎	A202	2年			卒業
		2期	21G1208800	倫理学の基本諸問題	田上 孝一	A201	2年			卒業
		2期	21H0123801	測量学実践実習	島津 弘	3320	2年			卒業
		2期	21H1125901	生物学実験A	関根 一希	3107	1年			卒業
		2期	21H1126201	地学実験A	下岡 順直	3202	1年			卒業
		2期	24F1204300	【熊谷】スポーツと科学	村本 宗太郎	A301	1年			卒業
5時限		2期	25Z0103301	教育社会学	宮崎 智絵	A418	3年			資格
		2期	21H1125901	生物学実験A	関根 一希	3107	1年			卒業

2019年度時間割 地球環境科学部 環境システム学科 生物・地球コース 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考
水曜日	5時限	2期	21H1126201	地学実験A	下岡 順直	3202	1年			卒業
木曜日	1時限	2期	21G0201000	比較文学論	吉村 純司	A203	1年			卒業
		2期	21H0101901	地誌学概論	山下 清海	A201	1年			卒業
		2期	21H0103701	近代科学の成立	鈴木パーカー 明日香	A301	1年			卒業
		2期	21H1120402	基礎化学(再履修)	安原 正也	A418	1年			卒業
		2期	21H1124101	物理学Ⅰ	渡来 靖	A417	1年			卒業
		2期	21H1126301	環境情報数学Ⅰ	天納 之士	A305	1年			卒業
		2期	26Z1104102	社会教育施設論	植原 孝行	A408	2年			資格
	2時限	2期	21F1220400	【熊谷】仕事と法	高橋 賢司	A308	2年			卒業
		2期	21G0202200	経済学Ⅱ/現代日本の経済と社会A	山口 忠利	A306	1年			卒業
		2期	21H1121001	環境水文学概論	安原 正也	A201	1年			卒業
		2期	21H1121501	空間情報システムの基礎	後藤 真太郎	A301	2年			卒業
		2期	21H1130001	生物圏の歴史と人間活動	米林 伸	A203	2年			卒業
		2期	21H3100701	博物館情報・メディア論A	阿由葉 司	A102	3年			資格
		2期	25Z0100602	生徒理解と教育相談B/生活指導の研究ⅠB	大津 悦夫	A309	1年			資格
		2期	25Z0101401	道徳教育の研究A	石本 祐二	A307	2年			資格
		2期	27Y0105201	キャリア開発基礎講座ⅡA	大山 雅嗣	A202	1年			卒業
		3時限	2期	21G0200600	歴史学Ⅱ/史学方法論	時枝 務	A205	1年		
	2期		21H0108101	臨床心理学入門	九島 紀子	A201	1年			卒業
	2期		21H1127501	情報システムの構築と応用	三島 啓雄	教室以外	2年			卒業
	2期		21H1131501	情報通信ネットワーク実習	天納 之士	3213	2年			卒業
	2期		21H3100202	博物館教育論B	林 勉	3107	1年			資格
	2期		21H3100401	博物館経営論A	阿由葉 司	A102	2年			資格
	2期		25Z0100603	生徒理解と教育相談C/生活指導の研究ⅠC	大津 悦夫	A309	1年			資格
	2期		25Z0100701	生活指導の研究ⅡA	石本 祐二	A307	2年			資格
	2期		27Y0105202	キャリア開発基礎講座ⅡB	大山 雅嗣	A202	1年			卒業
	4時限		2期	21H0101601	日本史概論/日本史概説(教職)	岡村 治	A205	2年		
		2期	21H1124602	化学実験B	岸 和央	3102	1年			卒業
		2期	21H1126202	地学実験B	下岡 順直	3202	1年			卒業
		2期	21H1128301	気候変動論	中川 清隆	A201	2年			卒業
		2期	21H1129101	プログラミングの応用(実習)	青木 和昭	3214	2年			卒業
		2期	21H1131501	情報通信ネットワーク実習	天納 之士	3213	2年			卒業
		2期	25Z0100102	教職概論B/教育職の研究B	石本 祐二	A307	1年			資格
		2期	26Z1103902	社会教育計画Ⅱ	片岡 了	A410	2年			資格
		2期	27Y0105203	キャリア開発基礎講座ⅡC	大山 雅嗣	A202	1年			卒業

2019年度時間割 地球環境科学部 環境システム学科 生物・地球コース 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考
木曜日	5時限	2期	21H1120302	基礎物理学(再履修)	中川 清隆	A418	1年			卒業
		2期	21H1124602	化学実験B	岸 和央	3102	1年			卒業
		2期	21H1126202	地学実験B	下岡 順直	3202	1年			卒業
		2期	21H1128101	水質水文学	河野 忠	A309	2年			卒業
		2期	21H1129101	プログラミングの応用(実習)	青木 和昭	3214	2年			卒業
		2期	21H3100402	博物館経営論B	阿由葉 司	A102	2年			資格
		2期	26Z1104402	社会教育課題研究II	片岡 了	A410	2年			資格
金曜日	1時限	2期	21H1127101	総観気象学	鈴木パーカー 明日香	A308	2年			卒業
	2時限	2期	21H0104301	ドイツの言語と文化II	竹村 恭一郎	A308	1年			卒業
		2期	21H1121101	環境情報学概論	山下 倫範	A204	1年			卒業
		2期	21H1131001	環境流体力学	渡来 靖	A306	2年			卒業
		2期	21H3100601	博物館展示論A	阿由葉 司	A103	3年			資格
		2期	25Z0100101	教職概論A/教育職の研究A	岡田 愛	A418	1年			資格
		2期	25Z0103702	生涯学習概論II B	永澤 義弘	A203	2年			資格
		2期	25Z0103802	教職実践演習[中・高] B	村上 美奈子	A419	4年			資格
	3時限	2期	21H0102401	法律学概説	岡崎 まゆみ	A203	1年			卒業
		2期	21H1130401	固体地球物質環境学	川野 良信	A304	2年			卒業
		2期	25Z0100502	特別活動の研究B	渡辺 真也	A310	2年			資格
		2期	25Z0101202	教育法学	岡田 愛	A305	2年			資格
		2期	25Z0101302	教育方法論II B	村上 美奈子	A202	2年			資格
		2期	26Z1104002	社会教育行政論	永澤 義弘	A302	2年			資格
	4時限	2期	21F1220300	【熊谷】メディアと法	一戸 信哉	A310	2年			卒業
		2期	21H0101301	民俗調査法	阿由葉 司	A305	2年			卒業
		2期	21H0101701	外国史概論/外国史概説	平 伊佐雄	A203	2年			卒業
		2期	21H1123901	環境情報処理実習	青木 和昭	3211	2年			卒業
		2期	21H1124301	物理学実験	鈴木パーカー 明日香	3202	1年			卒業
		2期	21H1125902	生物学実験B	関根 一希	3107	1年			卒業
		2期	24F1202000	【熊谷】現代日本の政治と社会/政治学II	井之口 智亮	A303	1年			卒業
5時限	2期	21H1123901	環境情報処理実習	青木 和昭	3211	2年			卒業	
	2期	21H1124301	物理学実験	鈴木パーカー 明日香	3202	1年			卒業	
	2期	21H1125902	生物学実験B	関根 一希	3107	1年			卒業	
土曜日	1時限	2期	21H0104501	フランスの言語と文化II	岡本 健	A305	1年			卒業
	2時限	2期	21H0100509	基礎英語II(再履修)	A.M. マイヤー	A418	1年			卒業
		2期	21H0100701	哲学の基本諸問題B	永野 潤	A301	1年			卒業
		2期	21H1131701	土壌環境学	広木 幹也	A306	2年			卒業

2019年度時間割 地球環境科学部 環境システム学科 生物・地球コース 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考
土曜日	2時限	2期	21H3100602	博物館展示論B	阿由葉 司	A102	3年			資格
	3時限	2期	21H1132001	土壌環境学実験	広木 幹也	3102	2年			卒業
	4時限	2期	21H0101101	文化財保存論	大澤 伸啓	A309	2年			卒業
		2期	21H1132001	土壌環境学実験	広木 幹也	3102	2年			卒業
		2期	21H3100702	博物館情報・メディア論B	阿由葉 司	A102	3年			資格

2019年度時間割 地球環境科学部 環境システム学科 気象・水文コース 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考	
月曜日	1時限	2期	21H0102801	現代社会と統計	山下 倫範	A102	2年			卒業	
		2期	21H0106501	体育実技3	金子 伊樹	体育実技用 (予約不可)	1年			卒業	
		2期	21H0122201	地図と測量の科学	鈴木 重雄	A202	1年			卒業	
		2期	21H1120203	基礎数学(再履修)	佐久間 貴士	A308	1年			卒業	
		2期	21H1129301	植物と環境	米林 伸	A203	2年			卒業	
		2期	25Z0100601	生徒理解と教育相談A/生活指導の研究I A	鹿嶋 真弓	A303	1年			資格	
	2時限	2期	21H0122401	自然災害のメカニズム	北沢 俊幸	A204	1年			卒業	
		2期	21H1128901	環境情報数学演習I	山下 倫範	A102	1年			卒業	
		2期	21H1130601	環境分析化学	清水 洋	A302	2年			卒業	
		2期	25Z0103501	青年心理学	鹿嶋 真弓	A419	3年			資格	
		2期	27Y0105102	キャリア開発基礎講座IB	大津 悦夫	A301	1年			卒業	
	3時限	2期	21H1131401	情報通信ネットワーク特論	吉岡 茂	A419	2年			卒業	
		2期	24F1204200	【熊谷】体育講義	保科 光作	A205	1年			卒業	
		2期	27Y0105103	キャリア開発基礎講座IC	大津 悦夫	A301	1年			卒業	
	4時限	2期	21G0200200	哲学II / 哲学の基本諸問題A	白井 雅人	A201	1年			卒業	
		2期	21H0102601	現代日本の経済と社会B	歌代 哲也	A310	1年			卒業	
		2期	21H1123801	環境統計学実習	佐久間 貴士	A104	2年			卒業	
		2期	21H1124601	化学実験A	岸 和央	3102	1年			卒業	
	5時限	2期	21H0122601	ジオインフォマティクス	三島 啓雄	A205	1年			卒業	
		2期	21H1120602	基礎地学(再履修)	河野 忠	A418	1年			卒業	
		2期	21H1123801	環境統計学実習	佐久間 貴士	A104	2年			卒業	
		2期	21H1124601	化学実験A	岸 和央	3102	1年			卒業	
	火曜日	1時限	2期	21B4130801	Introduction to Cultures of the World 8 日本文化2	亀井ダイチ 利永子	A419	1年			卒業
			2期	21G0200400	仏教学II / 現代社会と仏教	三友 量順	A204	1年			卒業
2期			21H1120901	環境気象学概論	中川 清隆	A203	1年			卒業	
2期			21H1125701	生物学I	須田 知樹	A304	1年			卒業	
2期			24F1202300	【熊谷】現代時事問題II	槇 拓治	A308	1年			卒業	
2時限		2期	21B4131001	Introduction to Cultures of the World 10 日本の歴史2	亀井ダイチ 利永子	A419	1年			卒業	
		2期	21H0103301	環境科学	三島 啓雄	1101	1年			卒業	
		2期	21H1121201	環境生物学概論	米林 伸	A201	1年			卒業	
		2期	21H1126001	地学I	平井 壽子	A202	1年			卒業	
		2期	21H1127201	大気大循環論	渡来 靖	A418	2年			卒業	
	2期	21H1131301	情報産業史	吉岡 茂	A306	2年			卒業		
	2期	25Z0101301	教育方法論II A	村上 美奈子	A309	2年			資格		
2期	26Z1104302	社会教育演習II	大島 英樹	A405	2年			資格			

2019年度時間割 地球環境科学部 環境システム学科 気象・水文コース 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考
火曜日	3時限	2期	21H1121301	地圏環境学概論	川野 良信	A203	1年			卒業
		2期	21H1127901	水文環境シミュレーション	鈴木 裕一	A305	2年			卒業
		2期	25Z0100103	教職概論C / 教育職の研究C	浅沼 茂	A412	1年			資格
		2期	25Z0100801	教職演習A	村上 美奈子	A309	3年			資格
		2期	25Z0103701	生涯学習概論II A	大島 英樹	A307	2年			資格
	4時限	2期	21H0101501	現代美術論	大澤 慶子	A309	2年			卒業
		2期	21H0103901	実践英語II	鈴木パーカー ジョセフ トリン	A419	2年			卒業
		2期	21H0122901	情報文化と知的所有権	吉岡 茂	A202	1年			卒業
		2期	21H1124401	化学I	平井 壽子	A303	1年			卒業
		2期	21H3100201	博物館教育論A	倉田 恵津子	A302	1年			資格
		2期	25Z0100292	教育学の基礎E (平成30年度以前入学生)	浅沼 茂	A308	1年			資格
	5時限	2期	25Z0100802	教職演習B	大島 英樹	A307	3年			資格
		2期	21H0104101	実践英語IV	鈴木パーカー ジョセフ トリン	A419	3年			卒業
		2期	21H0104901	コリアの言語と文化II	金 娜玄	A417	1年			卒業
		2期	21H1120502	基礎生物学(再履修)	須田 知樹	A308	1年			卒業
		2期	21H1126801	環境水質化学	安原 正也	A302	2年			卒業
		2期	21H3100302	博物館資料論B	倉田 恵津子	A310	2年			資格
	水曜日	1時限	2期	21H0104701	中国の言語と文化II A	賀 貝	A305	1年		
2期			24F1207300	【熊谷】発達心理学入門	荒井 俊行	A310	1年			卒業
2期			25Z0103002	情報教育論II	宮崎 智絵	A102	3年			資格
2時限		2期	21H0100509	基礎英語II(再履修)	A.M. マイヤー	A418	1年			卒業
		2期	21H0104702	中国の言語と文化II B	賀 貝	A305	1年			卒業
		2期	25Z0102802	理科教育論II	岩崎 敬道	A404	3年			資格
3時限		2期	21F1219600	【熊谷】スポーツと法	村本 宗太郎	A301	2年			卒業
		2期	21H0123801	測量学実践実習	島津 弘	3320	2年			卒業
		2期	25Z0102902	理科教育論IV	小川 郁	3107	3年			資格
4時限		2期	21F1219300	【熊谷】地方自治論/現代社会と法VIII 地方自治	川本 健太郎	A202	2年			卒業
		2期	21G1208800	倫理学の基本諸問題	田上 孝一	A201	2年			卒業
		2期	21H0123801	測量学実践実習	島津 弘	3320	2年			卒業
		2期	21H1125901	生物学実験A	関根 一希	3107	1年			卒業
		2期	21H1126201	地学実験A	下岡 順直	3202	1年			卒業
		2期	24F1204300	【熊谷】スポーツと科学	村本 宗太郎	A301	1年			卒業
5時限		2期	25Z0103301	教育社会学	宮崎 智絵	A418	3年			資格
		2期	21H1125901	生物学実験A	関根 一希	3107	1年			卒業

2019年度時間割 地球環境科学部 環境システム学科 気象・水文コース 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考
水曜日	5時限	2期	21H1126201	地学実験A	下岡 順直	3202	1年			卒業
木曜日	1時限	2期	21G0201000	比較文学論	吉村 純司	A203	1年			卒業
		2期	21H0101901	地誌学概論	山下 清海	A201	1年			卒業
		2期	21H0103701	近代科学の成立	鈴木パーカー 明日香	A301	1年			卒業
		2期	21H1120402	基礎化学(再履修)	安原 正也	A418	1年			卒業
		2期	21H1124101	物理学Ⅰ	渡来 靖	A417	1年			卒業
		2期	21H1126301	環境情報数学Ⅰ	天納 之士	A305	1年			卒業
		2期	26Z1104102	社会教育施設論	植原 孝行	A408	2年			資格
	2時限	2期	21F1220400	【熊谷】仕事と法	高橋 賢司	A308	2年			卒業
		2期	21G0202200	経済学Ⅱ/現代日本の経済と社会A	山口 忠利	A306	1年			卒業
		2期	21H1121001	環境水文学概論	安原 正也	A201	1年			卒業
		2期	21H1121501	空間情報システムの基礎	後藤 真太郎	A301	2年			卒業
		2期	21H1130001	生物圏の歴史と人間活動	米林 伸	A203	2年			卒業
		2期	21H3100701	博物館情報・メディア論A	阿由葉 司	A102	3年			資格
		2期	25Z0100602	生徒理解と教育相談B/生活指導の研究ⅠB	大津 悦夫	A309	1年			資格
		2期	25Z0101401	道徳教育の研究A	石本 祐二	A307	2年			資格
	3時限	2期	27Y0105201	キャリア開発基礎講座ⅡA	大山 雅嗣	A202	1年			卒業
		2期	21G0200600	歴史学Ⅱ/史学方法論	時枝 務	A205	1年			卒業
		2期	21H0108101	臨床心理学入門	九島 紀子	A201	1年			卒業
		2期	21H1127501	情報システムの構築と応用	三島 啓雄	教室以外	2年			卒業
		2期	21H1131501	情報通信ネットワーク実習	天納 之士	3213	2年			卒業
		2期	21H3100202	博物館教育論B	林 勉	3107	1年			資格
		2期	21H3100401	博物館経営論A	阿由葉 司	A102	2年			資格
		2期	25Z0100603	生徒理解と教育相談C/生活指導の研究ⅠC	大津 悦夫	A309	1年			資格
		2期	25Z0100701	生活指導の研究ⅡA	石本 祐二	A307	2年			資格
	4時限	2期	27Y0105202	キャリア開発基礎講座ⅡB	大山 雅嗣	A202	1年			卒業
		2期	21H0101601	日本史概論/日本史概説(教職)	岡村 治	A205	2年			卒業
		2期	21H1124602	化学実験B	岸 和央	3102	1年			卒業
		2期	21H1126202	地学実験B	下岡 順直	3202	1年			卒業
		2期	21H1128301	気候変動論	中川 清隆	A201	2年			卒業
		2期	21H1129101	プログラミングの応用(実習)	青木 和昭	3214	2年			卒業
		2期	21H1131501	情報通信ネットワーク実習	天納 之士	3213	2年			卒業
		2期	25Z0100102	教職概論B/教育職の研究B	石本 祐二	A307	1年			資格
2期		26Z1103902	社会教育計画Ⅱ	片岡 了	A410	2年			資格	
2期		27Y0105203	キャリア開発基礎講座ⅡC	大山 雅嗣	A202	1年			卒業	

2019年度時間割 地球環境科学部 環境システム学科 気象・水文コース 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考
木曜日	5時限	2期	21H1120302	基礎物理学(再履修)	中川 清隆	A418	1年			卒業
		2期	21H1124602	化学実験B	岸 和央	3102	1年			卒業
		2期	21H1126202	地学実験B	下岡 順直	3202	1年			卒業
		2期	21H1128101	水質水文学	河野 忠	A309	2年			卒業
		2期	21H1129101	プログラミングの応用(実習)	青木 和昭	3214	2年			卒業
		2期	21H3100402	博物館経営論B	阿由葉 司	A102	2年			資格
		2期	26Z1104402	社会教育課題研究II	片岡 了	A410	2年			資格
金曜日	1時限	2期	21H1127101	総観気象学	鈴木パーカー 明日香	A308	2年			卒業
		2期	21H0104301	ドイツの言語と文化II	竹村 恭一郎	A308	1年			卒業
	2時限	2期	21H1121101	環境情報学概論	山下 倫範	A204	1年			卒業
		2期	21H1131001	環境流体力学	渡来 靖	A306	2年			卒業
		2期	21H3100601	博物館展示論A	阿由葉 司	A103	3年			資格
		2期	25Z0100101	教職概論A/教育職の研究A	岡田 愛	A418	1年			資格
		2期	25Z0103702	生涯学習概論II B	永澤 義弘	A203	2年			資格
		2期	25Z0103802	教職実践演習[中・高] B	村上 美奈子	A419	4年			資格
	3時限	2期	21H0102401	法律学概説	岡崎 まゆみ	A203	1年			卒業
		2期	21H1130401	固体地球物質環境学	川野 良信	A304	2年			卒業
		2期	25Z0100502	特別活動の研究B	渡辺 真也	A310	2年			資格
		2期	25Z0101202	教育法学	岡田 愛	A305	2年			資格
		2期	25Z0101302	教育方法論II B	村上 美奈子	A202	2年			資格
		2期	26Z1104002	社会教育行政論	永澤 義弘	A302	2年			資格
	4時限	2期	21F1220300	【熊谷】メディアと法	一戸 信哉	A310	2年			卒業
		2期	21H0101301	民俗調査法	阿由葉 司	A305	2年			卒業
		2期	21H0101701	外国史概論/外国史概説	平 伊佐雄	A203	2年			卒業
		2期	21H1123901	環境情報処理実習	青木 和昭	3211	2年			卒業
		2期	21H1124301	物理学実験	鈴木パーカー 明日香	3202	1年			卒業
		2期	21H1125902	生物学実験B	関根 一希	3107	1年			卒業
		2期	24F1202000	【熊谷】現代日本の政治と社会/政治学II	井之口 智亮	A303	1年			卒業
	5時限	2期	21H1123901	環境情報処理実習	青木 和昭	3211	2年			卒業
		2期	21H1124301	物理学実験	鈴木パーカー 明日香	3202	1年			卒業
2期		21H1125902	生物学実験B	関根 一希	3107	1年			卒業	
土曜日	1時限	2期	21H0104501	フランスの言語と文化II	岡本 健	A305	1年			卒業
		2期	21H0100509	基礎英語II(再履修)	A.M. マイヤー	A418	1年			卒業
	2時限	2期	21H0100701	哲学の基本諸問題B	永野 潤	A301	1年			卒業
		2期	21H1131701	土壌環境学	広木 幹也	A306	2年			卒業

2019年度時間割 地球環境科学部 環境システム学科 気象・水文コース 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考
土曜日	2時限	2期	21H3100602	博物館展示論B	阿由葉 司	A102	3年			資格
	3時限	2期	21H1132001	土壌環境学実験	広木 幹也	3102	2年			卒業
	4時限	2期	21H0101101	文化財保存論	大澤 伸啓	A309	2年			卒業
		2期	21H1132001	土壌環境学実験	広木 幹也	3102	2年			卒業
		2期	21H3100702	博物館情報・メディア論B	阿由葉 司	A102	3年			資格

2019年度時間割 地球環境科学部 地理学科 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考	
月曜日	1時限	2期	21H0102801	現代社会と統計	山下 倫範	A102	2年			卒業	
		2期	21H0106501	体育実技3	金子 伊樹	体育実技用 (予約不可)	1年			卒業	
		2期	21H0122201	地図と測量の科学	鈴木 重雄	A202	1年			卒業	
		2期	25Z0100601	生徒理解と教育相談A/生活指導の研究I A	鹿嶋 真弓	A303	1年			資格	
	2時限	2期	21H0122401	自然災害のメカニズム	北沢 俊幸	A204	1年			卒業	
		2期	21H2152501	ヨーロッパ・アフリカ地誌	伊藤 徹哉	A201	1年			卒業	
		2期	21H2153201	地域自然情報の活用	鈴木 重雄	A310	2年			卒業	
		2期	25Z0103501	青年心理学	鹿嶋 真弓	A419	3年			資格	
		2期	27Y0105102	キャリア開発基礎講座I B	大津 悦夫	A301	1年			卒業	
	3時限	2期	21H2150707	地理学セミナーII G	伊藤 徹哉	A416	3年			卒業	
		2期	21H2150907	地理学セミナーIV G	伊藤 徹哉	A416	4年			卒業	
		2期	21H2152401	アジア・オセアニア地誌	島津 弘	A204	1年			卒業	
		2期	24F1204200	【熊谷】体育講義	保科 光作	A205	1年			卒業	
		2期	27Y0105103	キャリア開発基礎講座I C	大津 悦夫	A301	1年			卒業	
	4時限	2期	21G0200200	哲学II / 哲学の基本諸問題A	白井 雅人	A201	1年			卒業	
		2期	21H0102601	現代日本の経済と社会B	歌代 哲也	A310	1年			卒業	
		2期	21H2150707	地理学セミナーII G	伊藤 徹哉	A416	3年			卒業	
		2期	21H2150708	地理学セミナーII H	島津 弘	A415 (AP特別教)	3年			卒業	
		2期	21H2150710	地理学セミナーII J	原 美登里	3213	3年			卒業	
		2期	21H2150711	地理学セミナーII K	貝沼 恵美	A309	3年			卒業	
		2期	21H2150907	地理学セミナーIV G	伊藤 徹哉	A416	4年			卒業	
		2期	21H2150908	地理学セミナーIV H	島津 弘	A415 (AP特別教)	4年			卒業	
		2期	21H2150910	地理学セミナーIV J	原 美登里	3213	4年			卒業	
		2期	21H2150911	地理学セミナーIV K	貝沼 恵美	A309	4年			卒業	
	5時限	2期	21H0122601	ジオインフォマチックス	三島 啓雄	A205	1年			卒業	
		2期	21H2150708	地理学セミナーII H	島津 弘	A415 (AP特別教)	3年			卒業	
		2期	21H2150710	地理学セミナーII J	原 美登里	3213	3年			卒業	
		2期	21H2150711	地理学セミナーII K	貝沼 恵美	A309	3年			卒業	
		2期	21H2150908	地理学セミナーIV H	島津 弘	A415 (AP特別教)	4年			卒業	
		2期	21H2150910	地理学セミナーIV J	原 美登里	3213	4年			卒業	
		2期	21H2150911	地理学セミナーIV K	貝沼 恵美	A309	4年			卒業	
	火曜日	1時限	2期	21B4130801	Introduction to Culture s of the World 8 日本文化2	亀井ダイチ 利永子	A419	1年			卒業
			2期	21G0200400	仏教学II / 現代社会と仏教	三友 量順	A204	1年			卒業
			2期	21H2153001	地理情報科学の基礎	鈴木 厚志	A202	2年			卒業
			2期	21H2155801	地域研究1	貝沼 恵美	A414	3年			卒業

2019年度時間割 地球環境科学部 地理学科 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考	
火曜日	1時限	2期	24F1202300	【熊谷】現代時事問題Ⅱ	榎 拓治	A308	1年			卒業	
	2時限	2期	21B4131001	Introduction to Cultures of the World 10 日本の歴史2	亀井ダイチ 利永子	A419	1年			卒業	
		2期	21H0103301	環境科学	三島 啓雄	1101	1年			卒業	
		2期	21H2153901	都市と地域の計画	片柳 勉	A205	3年			卒業	
		2期	21H2155401	地域の自然誌	島津 弘	A415 (AP特別教)	3年			卒業	
		2期	25Z0101301	教育方法論ⅡA	村上 美奈子	A309	2年			資格	
		2期	26Z1104302	社会教育演習Ⅱ	大島 英樹	A405	2年			資格	
		2期	21H2153301	都市地理学	伊藤 徹哉	A201	2年			卒業	
	3時限	2期	21H2154001	人口と地域	松井 秀郎	A202	3年			卒業	
		2期	25Z0100103	教職概論C / 教育職の研究C	浅沼 茂	A412	1年			資格	
		2期	25Z0100801	教職演習A	村上 美奈子	A309	3年			資格	
		2期	25Z0103701	生涯学習概論ⅡA	大島 英樹	A307	2年			資格	
		2期	21H0101501	現代美術論	大澤 慶子	A309	2年			卒業	
	4時限	2期	21H0103901	実践英語Ⅱ	鈴木パーカー ジョセフ トリン	A419	2年			卒業	
		2期	21H0122901	情報文化と知的所有権	吉岡 茂	A202	1年			卒業	
		2期	21H2154501	観光資源とまちづくり	片柳 勉	A205	3年			卒業	
		2期	21H2156401	地図画像処理論および実習	原 美登里	3214	2年			卒業	
		2期	21H3100201	博物館教育論A	倉田 恵津子	A302	1年			資格	
		2期	25Z0100292	教育学の基礎E (平成30年度以前入学生)	浅沼 茂	A308	1年			資格	
		2期	25Z0100802	教職演習B	大島 英樹	A307	3年			資格	
		2期	21H0104101	実践英語Ⅳ	鈴木パーカー ジョセフ トリン	A419	3年			卒業	
	5時限	2期	21H0104901	コリアの言語と文化Ⅱ	金 娜玄	A417	1年			卒業	
		2期	21H2150207	基礎地図学および実習ⅡRA	宇津川 喬子	3320	1年			卒業	
		2期	21H2152601	南北アメリカ地誌	山下 清海	A201	1年			卒業	
		2期	21H2156401	地図画像処理論および実習	原 美登里	3214	2年			卒業	
		2期	21H3100302	博物館資料論B	倉田 恵津子	A310	2年			資格	
		2期	25Z0103801	教職実践演習[中・高]A	大島 英樹	A307	4年			資格	
		2期	21H0104701	中国の言語と文化ⅡA	賀 貝	A305	1年			卒業	
	水曜日	1時限	2期	24F1207300	【熊谷】発達心理学入門	荒井 俊行	A310	1年			卒業
		2時限	2期	21F1208500	【熊谷】憲法[人権] (週2回:水曜2・3限)	岩元 恵	1305	1年			資格
			2期	21H0100509	基礎英語Ⅱ (再履修)	A.M. マイヤー	A418	1年			卒業
			2期	21H0104702	中国の言語と文化ⅡB	賀 貝	A305	1年			卒業
2期			21H2153101	地域データ分析法	亀井 啓一郎	A101	2年			卒業	
2期			21H2155501	地域文化論	菊池 建太	A301	2年			卒業	
3時限			2期	21F1208500	【熊谷】憲法[人権] (週2回:水曜2・3限)	岩元 恵	1305	1年			資格

2019年度時間割 地球環境科学部 地理学科 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考
水曜日	3時限	2期	21F1219600	【熊谷】スポーツと法	村本 宗太郎	A301	2年			卒業
		2期	21H0123801	測量学実践実習	島津 弘	3320	2年			卒業
		2期	21H2154301	人間活動と土地利用	内山 幸久	A202	3年			卒業
		2期	25Z0102002	社会科・地理歴史教育論Ⅱ	石出 法太	A307	3年			卒業
	4時限	2期	21F1219300	【熊谷】地方自治論/現代社会と法Ⅷ 地方自治	川本 健太郎	A202	2年			卒業
		2期	21G1208800	倫理学の基本諸問題	田上 孝一	A201	2年			卒業
		2期	21H0123801	測量学実践実習	島津 弘	3320	2年			卒業
		2期	24F1204300	【熊谷】スポーツと科学	村本 宗太郎	A301	1年			卒業
		2期	25Z0103301	教育社会学	宮崎 智絵	A418	3年			資格
	木曜日	1時限	2期	21G0201000	比較文学論	吉村 純司	A203	1年		
2期			21H0101901	地誌学概論	山下 清海	A201	1年			卒業
2期			21H0103701	近代科学の成立	鈴木パーカー 明日香	A301	1年			卒業
2期			21H2156001	地域研究3	山田 淳一	A303	3年			卒業
2期			26Z1104102	社会教育施設論	植原 孝行	A408	2年			資格
2時限		2期	21F1220400	【熊谷】仕事と法	高橋 賢司	A308	2年			卒業
		2期	21G0202200	経済学Ⅱ / 現代日本の経済と社会A	山口 忠利	A306	1年			卒業
		2期	21H2150703	地理学セミナーⅡC	松井 秀郎	A419	3年			卒業
		2期	21H2150903	地理学セミナーⅣC	松井 秀郎	A419	4年			卒業
		2期	21H3100701	博物館情報・メディア論A	阿由葉 司	A102	3年			資格
		2期	25Z0100602	生徒理解と教育相談B/生活指導の研究ⅠB	大津 悦夫	A309	1年			資格
		2期	25Z0101401	道徳教育の研究A	石本 祐二	A307	2年			資格
		2期	25Z0101921	社会科教育論ⅡA	堀内 孝	A417	3年			卒業
		2期	27Y0105201	キャリア開発基礎講座ⅡA	大山 雅嗣	A202	2年			卒業
		3時限	2期	21G0200600	歴史学Ⅱ / 史学方法論	時枝 務	A205	1年		
2期			21H0100205	学修の基礎ⅡD(地理)	土屋 衛治郎	A415(AP特別教)	1年			卒業
2期			21H0108101	臨床心理学入門	九島 紀子	A201	1年			卒業
2期			21H2150701	地理学セミナーⅡA	山田 淳一	A416	3年			卒業
2期			21H2150703	地理学セミナーⅡC	松井 秀郎	A419	3年			卒業
2期			21H2150705	地理学セミナーⅡE	片柳 勉	A401	3年			卒業
2期			21H2150901	地理学セミナーⅣA	山田 淳一	A416	4年			卒業
2期			21H2150903	地理学セミナーⅣC	松井 秀郎	A419	4年			卒業
2期			21H3100202	博物館教育論B	林 勉	3107	1年			資格
2期			21H3100401	博物館経営論A	阿由葉 司	A102	2年			資格
2期			25Z0100603	生徒理解と教育相談C/生活指導の研究ⅠC	大津 悦夫	A309	1年			資格
2期		25Z0100701	生活指導の研究ⅡA	石本 祐二	A307	2年			資格	

2019年度時間割 地球環境科学部 地理学科 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考
木曜日	3時限	2期	27Y0105202	キャリア開発基礎講座ⅡB	大山 雅嗣	A202	2年			卒業
	4時限	2期	16Z1104302	社会教育演習Ⅱ	大島 英樹	93A	2年			資格
		2期	21H0100204	学修の基礎ⅡC(地理)	土屋 衛治郎	A415(AP特別教)	1年			卒業
		2期	21H0101601	日本史概論/日本史概説(教職)	岡村 治	A205	2年			卒業
		2期	21H2150701	地理学セミナーⅡA	山田 淳一	A416	3年			卒業
		2期	21H2150702	地理学セミナーⅡB	山下 清海	A414	3年			卒業
		2期	21H2150705	地理学セミナーⅡE	片柳 勉	A401	3年			卒業
		2期	21H2150901	地理学セミナーⅣA	山田 淳一	A416	4年			卒業
		2期	21H2150902	地理学セミナーⅣB	山下 清海	A414	4年			卒業
		2期	25Z0100102	教職概論B/教育職の研究B	石本 祐二	A307	1年			資格
		2期	26Z1103902	社会教育計画Ⅱ	片岡 了	A410	2年			資格
	2期	27Y0105203	キャリア開発基礎講座ⅡC	大山 雅嗣	A202	2年			卒業	
	5時限	2期	21H0100309	情報処理の基礎RB(地理)	土屋 衛治郎	A103	1年			卒業
		2期	21H2150702	地理学セミナーⅡB	山下 清海	A414	3年			卒業
		2期	21H2150902	地理学セミナーⅣB	山下 清海	A414	4年			卒業
2期		21H3100402	博物館経営論B	阿由葉 司	A102	2年			資格	
2期		26Z1104402	社会教育課題研究Ⅱ	片岡 了	A410	2年			資格	
6時限	2期	16Z1104002	社会教育行政論	齋藤 尚久	513	2年			資格	
金曜日	1時限	2期	21H2150712	地理学セミナーⅡS	岡村 治	3426	3年			卒業
		2期	21H2150912	地理学セミナーⅣS	岡村 治	3426	4年			卒業
	2時限	2期	21H0104301	ドイツの言語と文化Ⅱ	竹村 恭一郎	A308	1年			卒業
		2期	21H2150712	地理学セミナーⅡS	岡村 治	3426	3年			卒業
		2期	21H2150912	地理学セミナーⅣS	岡村 治	3426	4年			卒業
		2期	21H3100601	博物館展示論A	阿由葉 司	A103	3年			資格
		2期	25Z0100101	教職概論A/教育職の研究A	岡田 愛	A418	1年			資格
		2期	25Z0103702	生涯学習概論ⅡB	永澤 義弘	A203	2年			資格
		2期	25Z0103802	教職実践演習[中・高]B	村上 美奈子	A419	4年			資格
	3時限	2期	21H0102401	法律学概説	岡崎 まゆみ	A203	1年			卒業
		2期	21H2150709	地理学セミナーⅡI	鈴木 厚志	A419	3年			卒業
		2期	21H2150909	地理学セミナーⅣI	鈴木 厚志	A419	4年			卒業
		2期	25Z0100502	特別活動の研究B	渡辺 真也	A310	2年			資格
		2期	25Z0101202	教育法学	岡田 愛	A305	2年			資格
		2期	25Z0101302	教育方法論ⅡB	村上 美奈子	A202	2年			資格
2期		26Z1104002	社会教育行政論	永澤 義弘	A302	2年			資格	
4時限	2期	21F1220300	【熊谷】メディアと法	一戸 信哉	A310	2年			卒業	

2019年度時間割 地球環境科学部 地理学科 2016年度入学

曜日	時限	開講期	講義コード	講義名	教員	教室	学年	事前	前提	備考
金曜日	4時限	2期	21H0101301	民俗調査法	阿由葉 司	A305	2年			卒業
		2期	21H0101701	外国史概論 / 外国史概説	平 伊佐雄	A203	2年			卒業
		2期	21H2150709	地理学セミナーⅡⅠ	鈴木 厚志	A419	3年			卒業
		2期	21H2150909	地理学セミナーⅣⅠ	鈴木 厚志	A419	4年			卒業
		2期	24F1202000	【熊谷】現代日本の政治と社会 / 政治学Ⅱ	井之口 智亮	A303	1年			卒業
		2期	25Z0101922	社会科教育論ⅡB	青木 茂雄	A306	3年			卒業
	5時限	2期	21H2154101	地域景観の保全と復原	松尾 忠直	3214	3年			卒業
土曜日	1時限	2期	21H0104501	フランスの言語と文化Ⅱ	岡本 健	A305	1年			卒業
	2時限	2期	21H0100509	基礎英語Ⅱ(再履修)	A.M.マイヤー	A418	1年			卒業
		2期	21H0100701	哲学の基本諸問題B	永野 潤	A301	1年			卒業
		2期	21H2152801	測量数学	三澤 博	A304	1年			卒業
		2期	21H3100602	博物館展示論B	阿由葉 司	A102	3年			資格
	3時限	2期	21H2156601	地図表現と地図作成	前島 勝憲	A104	2年			卒業
	4時限	2期	21H0101101	文化財保存論	大澤 伸啓	A309	2年			卒業
2期		21H3100702	博物館情報・メディア論B	阿由葉 司	A102	3年			資格	

データサイエンス学部に係る施設

建物	階数	区分	室数
19号館	5階	実習室	5
		研究室	29
		演習室	2
		学部長室	1
		会議室	2
	1階	学事課	1
		事務室	1
2号館	1階	研究室	2
		演習室	1
合計		実習室	5
		研究室	31
		演習室	3
		学部長室	1
		会議室	2
		学事課	1
		事務室	1

表1 立正大学におけるデータサイエンス学部関連既存蔵書の分野別冊数

分類	名称	熊谷		品川		合計(冊)
		和図書(冊)	洋図書(冊)	和図書(冊)	洋図書(冊)	
007	情報科学	388	237	568	21	1,214
333	経済政策、国際経済	547	114	1,076	544	2,281
334	人口、土地、資源	317	126	390	68	901
335	企業、経営	1,760	227	3,850	1,369	7,206
336	経営管理	2,442	203	5,766	2,570	10,981
337	貨幣、通貨	199	61	926	143	1,329
338	金融、銀行、信託	610	177	2,066	522	3,375
343	財政政策、財政行政	21	14	34	24	93
344	予算、決算	32	0	244	7	283
350	統計	311	85	277	45	718
351	日本	146	0	34	0	180
352	アジア	1	1	52	0	54
353	ヨーロッパ	1	62	8	126	197
355	北アメリカ	2	2	4	12	20
358	人口統計、国勢調査	1,975	7	3,172	53	5,207
359	各種の統計書	1	23	0	0	24
360	社会	137	16	117	13	283
361	社会学	1,987	619	3,589	820	7,015
365	生活・消費者問題	514	68	504	21	1,107
366	労働経済、労働問題	1,968	429	2,649	600	5,646
367	家族問題、男性・女性問題、老人問題	1,289	378	1,050	191	2,908
373	教育政策、教育制度、教育行財政	597	42	815	24	1,478
401	科学理論、科学哲学	92	1	41	1	135
402	科学史・事情	201	33	235	24	493
403	参考図書	74	9	15	2	100
404	論文集、評論集、講演集	28	1	11	0	40
406	団体	10	0	2	0	12
407	研究法、指導法、科学教育	19	3	1	1	24
409	科学技術政策、科学技術行政	6	0	3	0	9
410	数学	538	43	211	20	812
411	代数学	53	11	20	1	85
412	数論[整数論]	8	1	1	1	11
413	解析学	90	34	32	9	165
414	幾何学	19	24	7	0	50
415	位相数学	14	10	7	1	32
417	確率論、数理統計学	108	13	136	29	286
418	計算法	27	7	24	0	58
419	和算、中国算数	7	0	11	1	19
601	産業政策・行政、総合開発	99	3	143	4	249
602	産業史・事情、物産誌	156	23	282	26	487
605	逐次刊行物	105	0	68	1	174
606	団体	5	0	15	0	20
609	度量衡、計量法	6	0	4	0	10
670	商業	207	26	284	41	558
671	商業政策・行政	13	1	32	0	46
672	商業史・事情	147	15	139	49	350
673	商業経営、商店	126	24	382	77	609
674	広告、宣伝	80	14	137	22	253
675	マーケティング	255	23	563	267	1,108
678	貿易	224	69	592	85	970
680	運輸、交通	48	3	80	5	136
681	交通政策・行政・経営	78	12	102	12	204
682	交通史・事情	83	4	335	14	436
683	海運	33	4	132	19	188
685	陸運、自動車運送	32	6	94	5	137
686	鉄道	144	10	302	69	525
687	航空運送	14	9	37	11	71
688	倉庫業	103	7	32	13	155
689	観光事業	55	0	101	1	157
690	通信事業	26	0	18	1	45
692	通信事業史・事情	6	0	17	1	24
694	電気通信事業	18	3	58	8	87
699	放送事業	84	12	186	13	295
780	スポーツ、体育	448	24	282	13	767
781	体操、遊戯	48	1	21	0	70
782	陸上競技	28	2	2	0	32
783	球技	110	38	21	1	170
784	冬季競技	12	7	2	2	23
785	水上競技	17	7	2	0	26
786	戸外レクリエーション	74	7	10	0	91
788	相撲、拳闘、競馬	23	2	20	0	45
789	武術	54	10	27	0	91
799	ダンス	3	4	0	0	7
		19,503	3,451	32,470	8,023	
	合計		22,954		40,493	63,447

表2 立正大学データサイエンス学部関連新規購入図書の分野別冊数

分類	名称	2020	2021	2022	3年合計
002	知識. 学問. 学術	1	0	0	1
007	情報科学	467	278	280	1,025
021	著作. 編集	2	0	0	2
141	普通心理学. 心理各論	0	0	1	1
289	個人伝記	1	0	0	1
318	地方自治. 地方行政	1	0	0	1
331	経済学. 経済思想	1	1	3	5
332	経済史・事情. 経済体制	1	1	1	3
334	人口. 土地. 資源	0	1	0	1
335	企業. 経営	2			2
336	経営管理	31	29	19	79
338	金融. 銀行. 信託	4	5	4	13
350	統計	0	0	4	4
364	社会保障	1	0	0	1
366	労働経済. 労働問題	3	0	1	4
410	数学	3	0	2	5
415	位相数学	1	0	0	1
417	確率論. 数理統計学	206	178	173	557
418	計算法	5	1	4	10
461	理論生物学. 生命論	0	0	1	1
491	基礎医学	0	0	1	1
501	工業基礎学	3	1	2	6
507	研究法. 指導法. 技術教育	1	0	0	1
509	工業. 工業経済	5	3	1	9
525	建築計画・施工	1	0	0	1
537	自動車工学	2	0	0	2
547	通信工学. 電気通信	49	15	16	80
548	情報工学	9	5	2	16
549	電子工学	1	0	0	1
581	金属製品	0	1	0	1
582	事務機器. 家庭機器. 楽器	0	1	0	1
673	商業経営. 商店	2	3	0	5
675	マーケティング	7	22	5	34
689	観光事業	24	34	29	87
692	通信事業史・事情	0	0	1	1
694	電気通信事業	4	5	0	9
727	グラフィックデザイン. 図案	0	0	2	2
780	スポーツ. 体育	77	39	15	131
782	陸上競技	0	2	1	3
783	球技	6	8	8	22
785	水上競技	0	0	1	1
788	相撲. 拳闘. 競馬	1	3	1	5
789	武術	1	0	1	2
795	囲碁	1	1	0	2
796	将棋	1	0	0	1
798	室内娯楽	14	3	1	18
913	小説. 物語	1	0	0	1
	外国書、内外国誌	103	73	73	249
	計	1,043	713	653	2,409

入試選抜区分および募集定員

入試区分		募集定員
一般選抜	R方式	10
	2月前期	65
	2月後期	10
	3月	10
大学共通テスト 利用選抜	前期	25
	後期	10
総合型選抜	総合評価型	50
学校推薦型選抜	公募制推薦選抜	30
	指定校推薦選抜	30
特別選抜	専門学校（学科）・総合学科生徒対象選抜	若干名
	社会人対象選抜	若干名
	外国人留学生対象選抜	若干名
	海外帰国生徒対象選抜	若干名
総計		240

立正大学データサイエンス学部教授会規程（案）

令和3年4月1日

第1条 データサイエンス学部教授会（以下「教授会」という。）は、データサイエンス学部に所属する専任の教授、准教授および講師をもって構成する。ただし、学則第94条第3号ウに定める専任教員の人事に関する教授会の構成員は、人事対象者が教授または准教授の場合は教授、講師の場合は教授・准教授、助教・助手の場合は教授・准教授・講師とする。

2 学部長が必要と認め、かつ、教授会がこれを承認したときは、前項に規定する教員以外の教員および職員を出席させることができる。

第2条 教授会の招集は、原則として毎月1回学部長がこれを行う。ただし、学部長が必要と認めたときは臨時に招集することができる。

2 学部長は、教授会構成員の3分の1以上の要求があったときは、臨時教授会を招集しなければならない。

3 学部長が教授会を招集する場合には、主な議題を明示して、教授会の構成員全員に対し通知しなければならない。

4 招集の通知は、特に緊急を要する場合のほか、招集の日から1週間前までに発しなければならない。

第3条 学部長は、教授会の議長をつとめる。

2 学部長が出席できないときは、学部長が指定した教授がこれを代行する。

第4条 教授会は、構成員の過半数の出席がなければ開会できない。

第5条 教授会の議決には、次項に定める場合を除き出席構成員の過半数の賛成を要する。ただし、賛否同数の場合は議長がこれを決する。

2 教員の任免に関する事項および重要事項の議決は、原則として無記名投票によることとし、第1条に定める構成員の3分の2以上の出席により出席者の3分の2以上の賛成を要する。

第6条 教授会は、次の事項を審議する。

- (1) 学則第94条に定められた審議事項
- (2) 学長候補者の選出に関する事項
- (3) 全学協議員・評議員候補者の選出に関する事項
- (4) 各種委員選出に関する事項
- (5) その他必要な事項

第7条 教員の人事については、別に定める「データサイエンス学部教員人事規程」による。

第8条 学部長は、教授会の議を経て、教授会内に委員会をおくことができる。

2 委員会規程は別に定める。

第9条 学部長は、教授会の議事録を作成し、これを保存する。ただし記録の作成は、これを他に委任することができる。

第10条 本規程の改正は、出席構成員の3分の2以上の賛成を要する。

附 則

本規程は、令和3年4月1日より施行する。

立正大学自己点検・評価の実施に関する規程（平成5年4月1日規程第9号）

立正大学自己点検・評価の実施に関する規程

平成5年4月1日
規程第9号

（目的）

第1条 この規程は、本学学則第1条第2項に規定する自己点検・評価の実施に関する基本的事項を定める。

（委員会の設置）

第2条 本学に自己点検・評価を行うための組織として、自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）をおく。

（委員会の構成）

第3条 委員会の委員は、以下の各号にかかげるものとし、学長が委員長を務める。

- （1） 学長、担当副学長、学部長、事務局長、事務局副局長
- （2） 削除
- （3） 学長が推薦するもの若干名

ただし、委員長が必要と認めた場合は、委員以外のものにも出席を求めることができる。

（委員会の任務）

第4条 委員会は、大学の研究・教育水準の向上に資するため、以下の各号にかかわる基本的事項を審議・策定する。

- （1） 自己点検・評価の実施等の体制
- （2） 自己点検・評価の項目
- （3） 自己点検・評価の結果の取り扱い
- （4） その他自己点検・評価にかかわる必要な事項

（小委員会の設置と構成および小委員の任期）

第5条 委員会のもとに自己点検・評価小委員会（以下「小委員会」という。）をおく。

2 小委員会は第4条の各号にかかわる具体的事項を審議・策定し、委員会に報告する。

3 小委員会は、次の委員（以下「小委員」という。）により構成する。小委員長は、担当副学長が務める。

- （1） 担当副学長
- （2） 各学部より選出された専任教員1名
- （3） 事務局長、事務局副局長、学長室部長、学長室総合経営企画課長
- （4） 学長が推薦するもの若干名

ただし、小委員長が必要と認めた場合は、小委員以外のものにも出席を求めることができる。

4 小委員の任期は、原則2年とし、再任を妨げない。

（部会および部会長）

第5条の2 小委員会には、立正大学大学院自己点検・評価小委員会と合同で、以下の部会を設置する。各部会は、担当内容についての審議・策定および具体的な作業を行う。

- （1） 年次報告書部会
- （2） アンケート部会
- （3） 複合部会

2 前項各号の部会には、部会長をおく。各部会の部会長は、部会委員より、小委員長が指名する。部会長は、部会をとりまとめ、決定した内容を小委員長へ報告する。

3 年次報告書部会には前項に規定するもののほか、事務職員からなる部会員をおく。部会員については別に定める「立正大学自己点検・評価小委員会年次報告書部会員に関する申し合わせ」による。

（外部評価委員会の設置）

第6条 自己点検・評価の妥当性と客観性を高めるため、立正大学外部評価委員会をおく。

2 外部評価委員会に関しては別に定める。

（他の委員会等との連携）

【資料 15. 立正大学自己点検・評価の実施に関する規程】

第7条 委員会は、自己点検・評価の実施のために、必要に応じて他の委員会等に協力を求め、また、実施にかかわる事項をこれらの委員会等に委託することができる。

(結果の活用と公表)

第8条 委員会は、自己点検・評価の実施体制・実施方法・結果の活用等について定期的に見直しを行う。

2 委員会は、自己点検・評価の結果を、定期的に公表する。

(事務)

第9条 自己点検・評価にかかわる事務は、学長室総合経営企画課が行う。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、委員会および全学協議会の議を経て、学長が決定する。

2 前項に規定するもののほか、この規程の改廃の最終決定は、立正大学学園規約類の制定に関する規程第6条の規定による。

附 則

この規程は、平成5年4月1日から施行する。

平成7年3月24日改正、平成7年4月1日施行

平成10年5月18日改正、平成10年9月19日施行

平成14年3月22日改正、平成14年4月1日施行

平成22年3月26日改正、平成22年3月26日施行

平成22年5月26日改正、平成22年4月1日施行

平成23年3月25日改正、平成23年4月1日施行

平成25年11月30日改正、平成26年4月1日施行

平成28年2月24日改正、平成28年4月1日施行

平成28年4月27日改正、平成28年4月27日施行

平成28年11月30日改正、平成29年4月1日施行

平成29年3月24日改正、平成29年4月1日施行

立正大学外部評価委員会細則（平成23年4月1日細則第259号）

立正大学外部評価委員会細則

平成23年4月1日
細則第259号

（目的）

第1条 この細則は、立正大学自己点検・評価の実施に関する規程第6条ならびに立正大学大学院自己点検・評価の実施に関する規程第6条に規定する、立正大学外部評価委員会（以下「委員会」という）に関する基本的事項について定める。

（任務）

第2条 委員会は、本学が実施する自己点検・評価について、検証および評価を行い、本学の教育・研究等の質の向上に資する提言を学長に行う。

（組織）

第3条 委員会は、7名以内の委員をもって組織する。

2 委員は、学外の学識経験者・有識者等の中から、立正大学ならびに立正大学大学院自己点検・評価委員会で選考し、学長が委嘱する。

（任期）

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、再任をさまたげない。

（委員長）

第5条 委員会には、委員長を置く。

2 委員長は、委員のうちから学長が指名する。

3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

（守秘義務）

第6条 委員会の委員は、この細則に基づく評価を行う際に知り得た事項のうち、秘すべきとされた事項は、他に漏らしてはならない。

（事務）

第7条 委員会の事務は、学長室総合経営企画課が行う。

（細則の改正）

第8条 この細則の改正は、立正大学自己点検・評価委員会ならびに立正大学大学院自己点検・評価委員会の承認を必要とする。

附 則

この細則は、平成23年4月1日より施行する。

平成28年3月25日改正、平成27年10月1日施行

平成29年3月22日改正、平成29年4月1日施行

立正大学自己点検・評価の実施に関する細則（平成6年4月1日細則第10号）

立正大学自己点検・評価の実施に関する細則

平成6年4月1日
細則第10号

（趣旨）

第1条 この細則は、立正大学学則第1条第2項、および立正大学自己点検・評価の実施に関する規程に基づき、自己点検・評価の実施方法について定める。

（点検・評価の項目）

第2条 自己点検・評価は、次の項目について行う。ただし、自己点検・評価委員会の議に基づき、対象項目を拡大または縮小することができる。

- (1) 理念・目的
- (2) 内部質保証
- (3) 教育研究組織
- (4) 教育課程・学習成果
- (5) 学生の受け入れ
- (6) 教員・教員組織
- (7) 学生支援
- (8) 教育研究等環境
- (9) 社会連携・社会貢献
- (10) 大学運営・財務

（各年度の実施項目）

第3条 各年度の自己点検・評価の実施項目は、前条の項目の中から自己点検・評価委員会が適宜選択した項目について行うものとする。委員会は、必要と認めた場合には前条の項目以外の項目を点検・評価の実施項目に指定することができる。

（責任主体）

第4条 自己点検・評価の責任主体は、原則として次のとおりとする。

- (1) 立正大学学則第4条に定める学部・学科
- (2) 立正大学学則第9条に定める教育研究機関
- (3) 立正大学学園事務組織規程第3条(1)に定める大学事務局のうち、学長室、総務部、管財部、経理部、学事部、学生部、熊谷総務部
- (4) その他、自己点検・評価委員会が指定する組織

2 学部等の事務室の自己点検・評価は、所属の学部等において行うものとする。

3 自己点検・評価の各責任主体の責任者は各責任主体の長とし、自己点検・評価の実施のための適切な体制を整えなければならない。

（点検・評価の実施手順）

第5条 自己点検・評価は、継続的に実施するものとし、以下の手順で行う。

- (1) 自己点検・評価委員会における実施方針の決定、項目の指定
- (2) 各責任主体への実施方針、実施項目の通知
- (3) 各責任主体における点検・評価の実施
- (4) 各責任主体からの実施結果の報告
- (5) 実施結果の集約と総括
- (6) 点検・評価の報告書作成
- (7) 実施結果にもとづく課題事項への対処

（点検・評価の実施と報告）

第6条 第4条に掲げる自己点検・評価の各責任主体は、各年度の指定された項目について自己点検・評価を実施し、その結果を所定の期日までに自己点検・評価委員会に報告しなければならない。

（自己点検・評価報告書）

第7条 自己点検・評価の大学全体としての実施結果は、原則として各年度毎に報告書にとりまとめ、

【資料 17. 立正大学自己点検・評価の実施に関する細則】

公表するものとする。

2 前項の報告書作成に関する事務は、自己点検・評価小委員会の協力のもとに事務局（学長室総合経営企画課）が担当する。

（結果の活用）

第8条 自己点検・評価委員会の委員長は、自己点検・評価の実施の結果から改善すべき課題が提起された場合には、適切な機関に当該課題事項の検討を指示し、改善のために必要な措置をすみやかに講じなければならない。

（細則の改正）

第9条 この細則の改正は、自己点検・評価委員会の承認を必要とする。

附 則

この細則は、平成6年4月1日より実施する。

平成7年3月23日改正、平成7年4月1日施行

平成9年3月10日改正、平成9年4月1日施行

平成10年5月18日改正、平成10年9月19日施行

平成14年3月13日改正、平成14年4月1日施行

平成19年9月22日改正、平成19年9月22日施行

平成21年7月29日改正、平成20年11月26日施行

平成22年4月22日改正、平成22年3月26日施行

平成22年12月18日改正、平成23年1月1日施行

平成23年2月25日改正、平成23年4月1日施行

平成28年1月28日改正、平成28年4月1日施行

平成29年3月22日改正、平成29年4月1日施行

平成30年11月15日改正、平成31年4月1日施行

立正大学学園情報公開規程（平成24年4月1日規程第262号）

立正大学学園情報公開規程

平成24年4月1日
規程第262号

（目的）

第1条 この規程は、学校法人立正大学学園（以下「本法人」という。）が有する情報の公開に関して必要な事項を定め、学校法人としての公共性に鑑み、社会に対する説明責任を果たし、教育研究の質向上に資することを目的とする。

（情報の公開）

第2条 本法人は、次の情報について公式ホームページ等を通じて、広く社会に公開する。

（1）学校法人および学校の基本情報

- ア 寄附行為
- イ 建学の精神、および理念
- ウ 学園の沿革
- エ 教学組織、事務組織
- オ 役員・役職者（理事長・副理事長・常任理事・理事・評議員・監事・学長・副学長・学部長・研究科長・中学高等学校長）の人数および氏名
- カ 教職員の人数
- キ 大学等の学生等納付金額
- ク 設置認可申請書および設置届出書、ならびに設置計画履行状況報告書

（2）経営および財務に関する情報

- ア 学園中長期計画の概要
- イ 事業計画書
- ウ 事業報告書
- エ 財産目録
- オ 貸借対照表
- カ 収支計算書
- キ 監査報告書

（3）教育研究活動に関する情報

- ア 大学等の学則
- イ 大学の教育研究上の目的
- ウ 大学の教育方針（3つの方針）
- エ 大学の教育研究上の基本組織
- オ 大学の教員組織、教員の数ならびに各教員が有する学位及び業績
- カ 大学・学部・大学院研究科の入学者に関する受入方針、受験者の数、合格者の数、入学者の数、収容定員および在学する学生の数、卒業または修了した者の数、ならびに進学者数および就職者数その他進学および就職等の状況
- キ 大学の授業科目、授業の方法ならびに年間の授業の計画
- ク 大学の学修の成果に係る評価および卒業または修了の認定に当たっての基準
- ケ 校地、校舎等の施設および設備その他の学生の教育研究環境
- コ 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用
- サ 大学が行う学生の修学、進路選択および心身の健康等に係る支援の状況
- シ 大学の教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力
- ス 大学のファカルティ・ディベロップメントの状況
- セ 大学の国際交流の制度と状況

（4）評価に関する情報

- ア 大学の自己点検・評価報告書
- イ 大学の授業アンケート報告書

【資料 18. 立正大学学園情報公開規程】

ウ 認証評価の結果およびその対応についての報告書

(5) コンプライアンス等に関する情報

ア 情報公開の取り組み

イ ハラスメント防止の取り組み

ウ 公的研究費の適正管理に関する取り組み

(6) 学生生活の活動に関する情報

(7) 附属中学・高等学校の活動に関する情報

2 前項の情報以外の情報についても、必要に応じ公開に努めるものとする。

(情報の閲覧)

第3条 私立学校法第47条第2項の規定にもとづく情報の閲覧は、立正大学学園財務情報閲覧規程による。

(その他必要な事項)

第4条 情報の公開及び開示について、この規程に特に定めのない場合であっても、法令又は学園もしくは大学等の規定に定めのある場合は、当該法令または規定の定めによるものとする。

2 この規程に定めるもののほか、情報の公開および開示の実施に関し必要な事項は、その都度役員会でこれを決定する。

(事務所管)

第5条 この規程の所管部署は、総務部総務課とする。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、理事会の議を経て行うものとする。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。